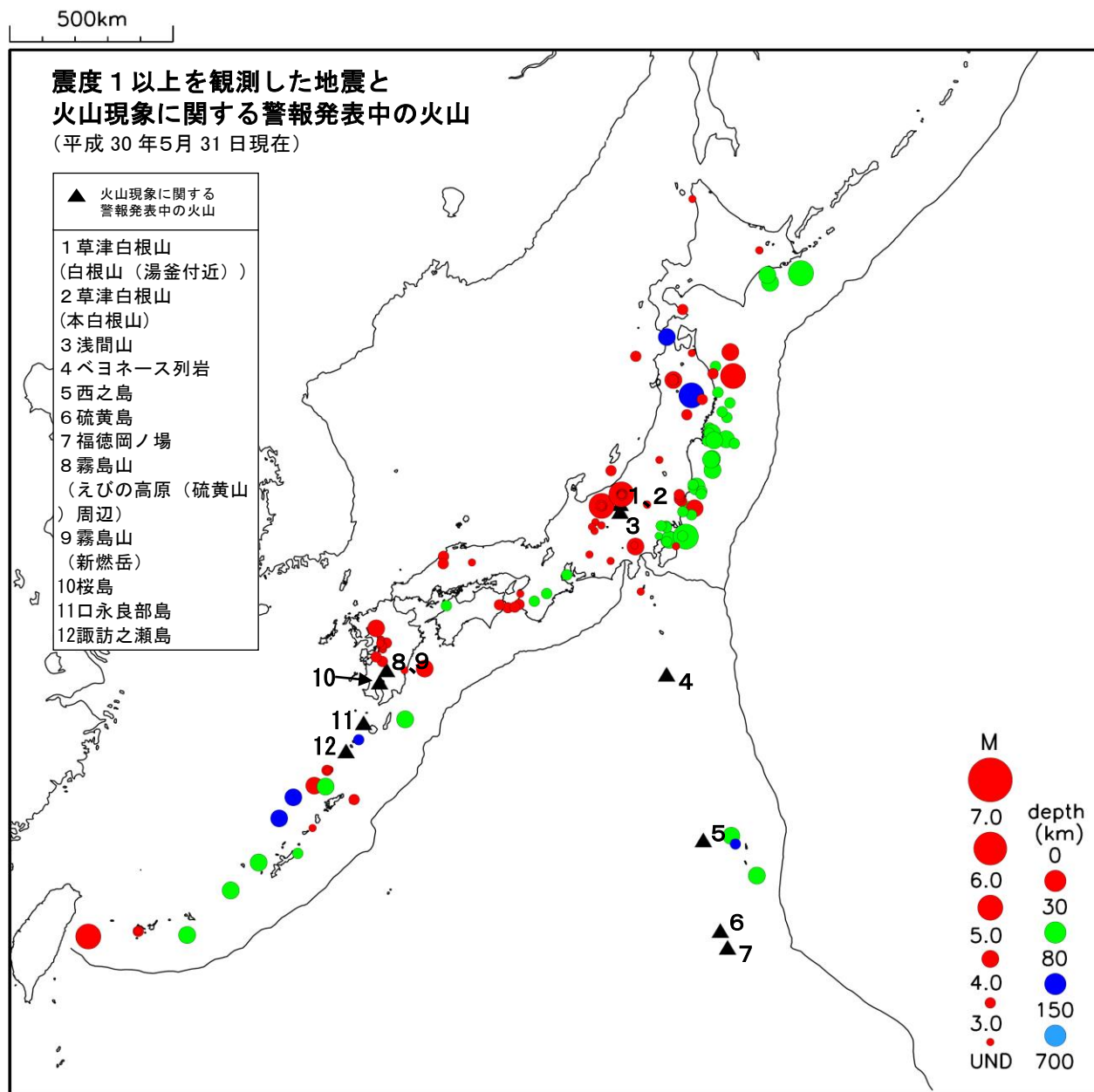


平成 30 年5月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

May 2018



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 平成30年5月31日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 平成30年5月31日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	8
東北地方の地震活動	10
関東・中部地方の地震活動	14
近畿・中国・四国地方の地震活動	18
九州地方の地震活動	19
沖縄地方の地震活動	21
その他の地域の地震活動	22
● 南海トラフ周辺の地殻活動	24
● 日本の主な火山活動	41
北海道地方の火山活動	52
東北地方の火山活動	54
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	56
近畿・中国・四国地方の火山活動	60
九州地方の火山活動	61
沖縄地方の火山活動	65
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	66
● 世界の主な地震	68
● 世界の主な火山活動	70
● 付録	71
1. 震度1以上を観測した地震の表	71
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	93
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	94
4. 緊急地震速報の提供状況	95
5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	97

●日本及びその周辺での主な地震活動

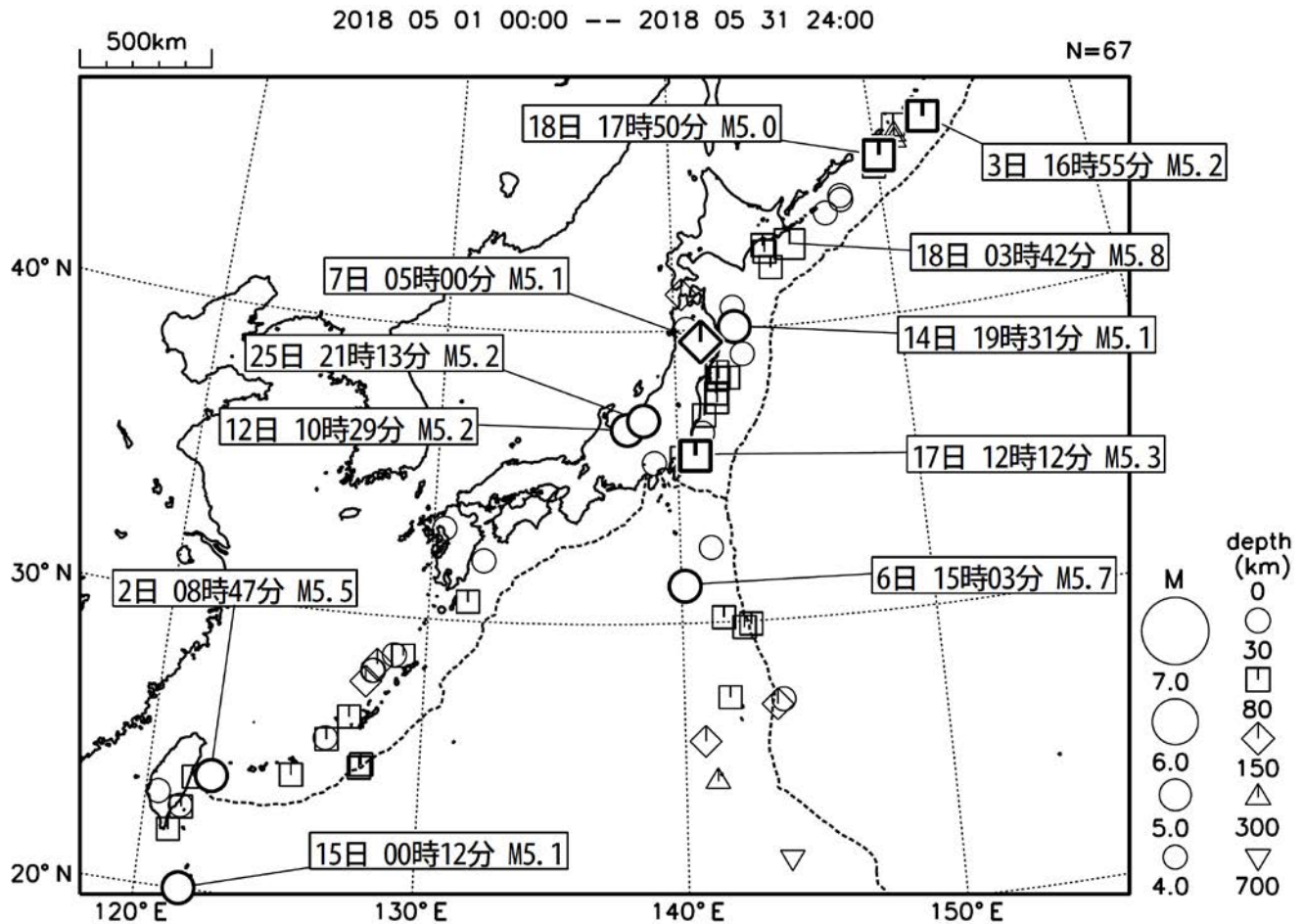


図1 平成30年5月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である)

5月6日15時03分に鳥島近海でM5.7の地震が発生し、気象庁は津波予報(若干の海面変動)を発表した。この地震により、東京都の八丈島八重根で0.3mの津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測した。情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である。

5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報(警報)を発表した。この地震により、長野県長野市、大町市、小川村で震度5弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度4～1を観測した。

5月25日21時13分に長野県北部の深さ6kmでM5.2の地震が発生した。この地震により、長野県栄村で震度5強を観測したほか、東北地方南部から関東・中部地方にかけて震度4～1を観測した。

平成30年(2018年)5月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は7回(4月は8回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は67回(4月は84回)であった(図1)。5月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。5月中に震度5弱以上を観測した地震は2回、津波を観測した地震は1回であった(4月は震度5弱以上を観測した地震が2回、津波を観測した地震はなかった)。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

表 1 平成 30 年 5 月に日本及びその周辺で発生した主な地震 (注 1) (注 2) (注 3)

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等 (注 6)	掲載 ページ
1	5 6 15 3	鳥島近海 (注 7)	5.7	5.3	・ ・ ・ T	津波予報 (若干の海面変動) を発表 津波観測: 八丈島八重根で 0.3m の津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測	23
2	5 6 21 13	熊本県熊本地方	3.9	—	・ ・ S ・	4: 熊本県 宇城市不知火町* 宇城市豊野町*	20
3	5 7 5 0	岩手県内陸北部	5.1	5.1	・ ・ S ・	4: 岩手県 盛岡市藪川*	11
4	5 12 10 29	長野県北部	5.2	5.0	・ ・ S ・	5 弱: 長野県 長野市信州新町新町* 長野市中条* 大町市美麻* 小川村高府*	15
5	5 13 1 49	宮城県沖	4.8	4.7	・ ・ S ・	4: 宮城県 南三陸町志津川	12
6	5 14 19 31	岩手県沖	5.1	5.0	・ ・ ・ ・	3: 岩手県 盛岡市藪川*	13
7	5 17 12 12	千葉県北東部 (注 8)	5.3	5.4	・ ・ S ・	4: 千葉県 旭市南堀之内* 多古町多古 横芝光町宮川* 横芝光町栗山*	16
8	5 18 3 42	釧路沖	5.8	5.8	・ ・ S ・	4: 北海道 根室市厚床*	9
9	5 25 21 13	長野県北部	5.2	5.0	・ ・ S ・	5 強: 長野県 栄村北信*	17

- (注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注 4) M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。
- (注 5) M H S T の各項目について、M: M6.0 以上の地震、H: 被害を伴った地震、S: 震度 4 以上を観測した地震、T: 津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注 6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注 7) 情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である。
- (注 8) 情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。

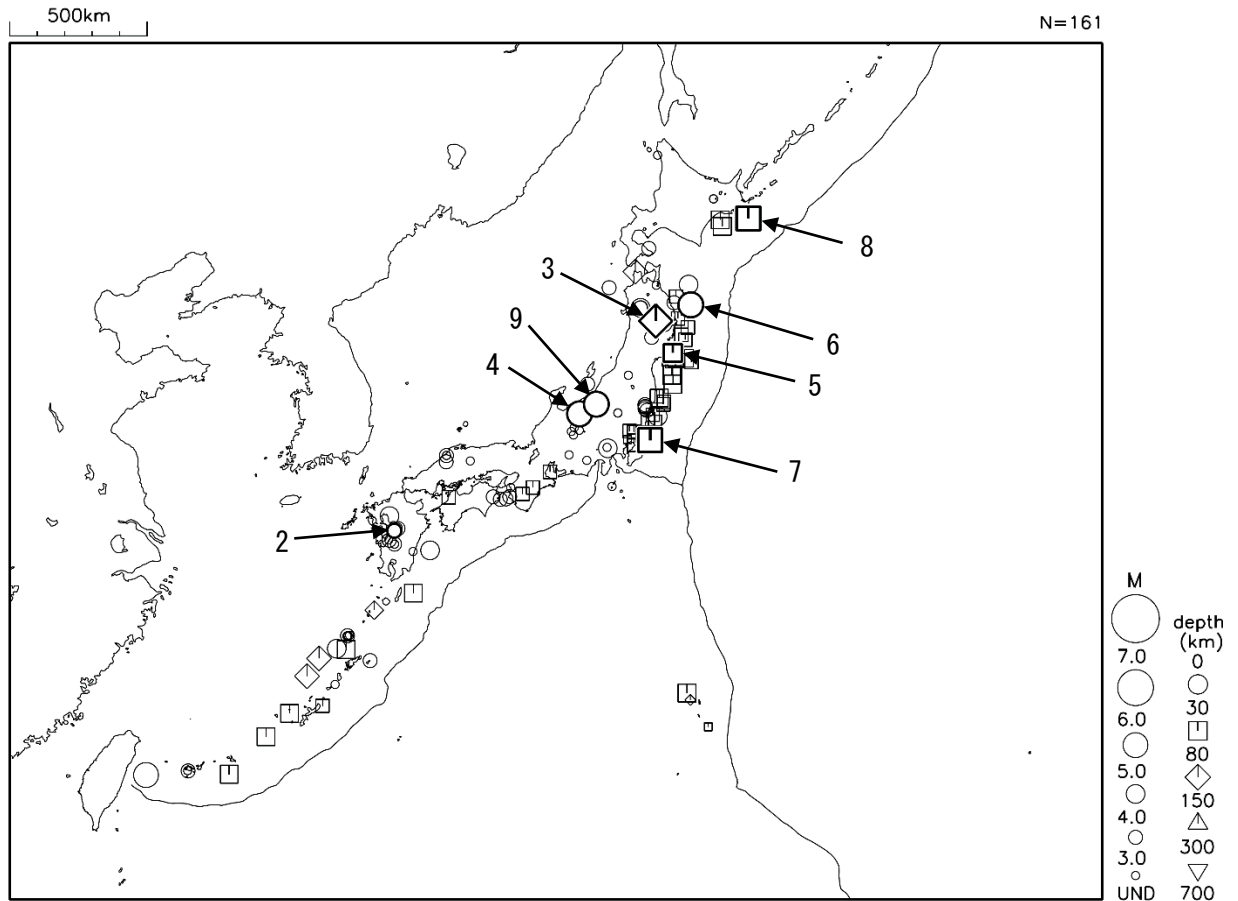


図2 平成30年5月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

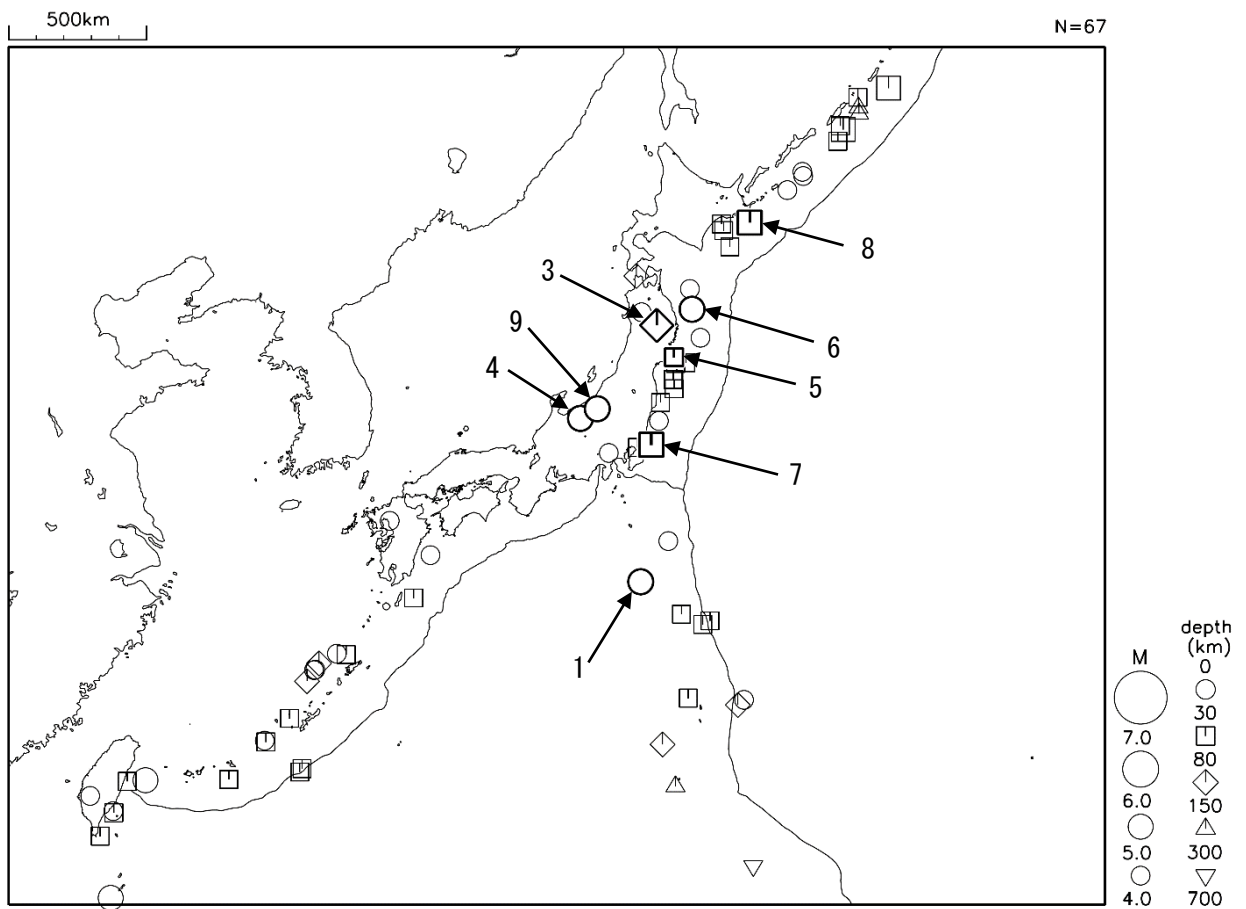
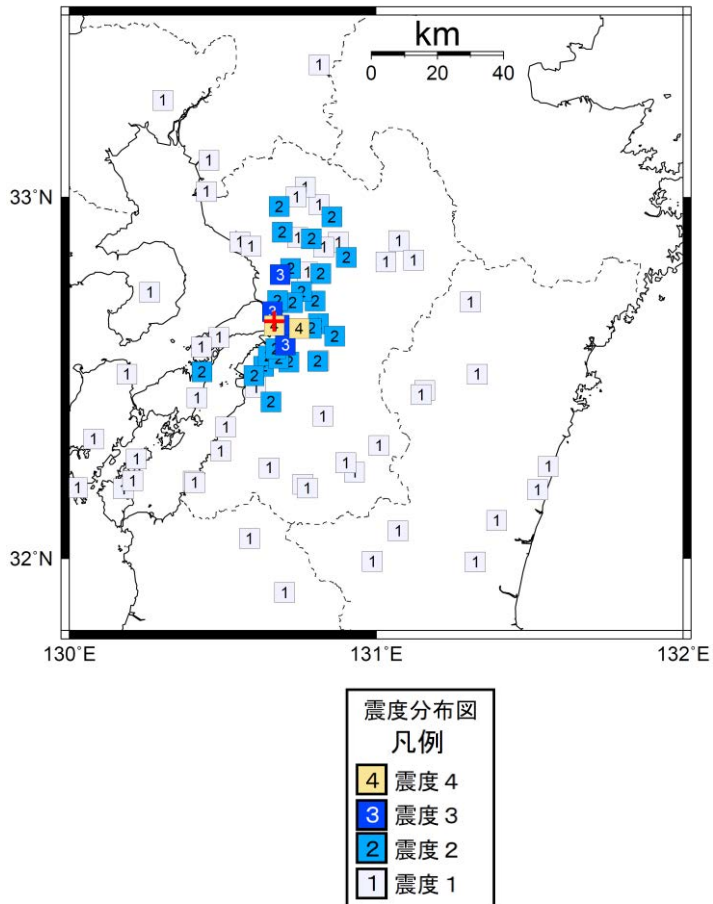


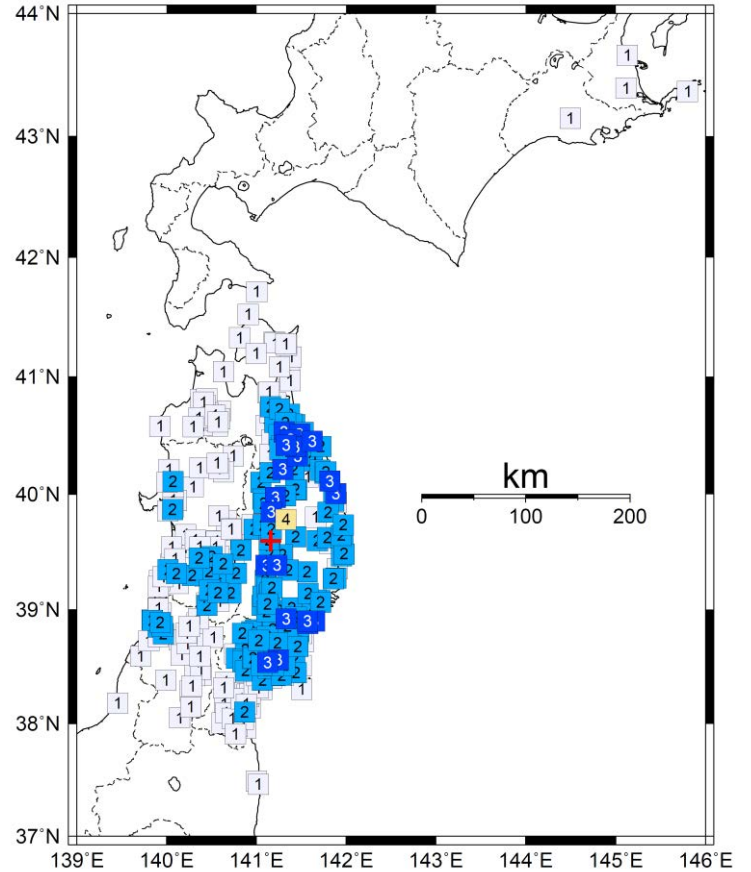
図3 平成30年5月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表1の番号に対応）

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

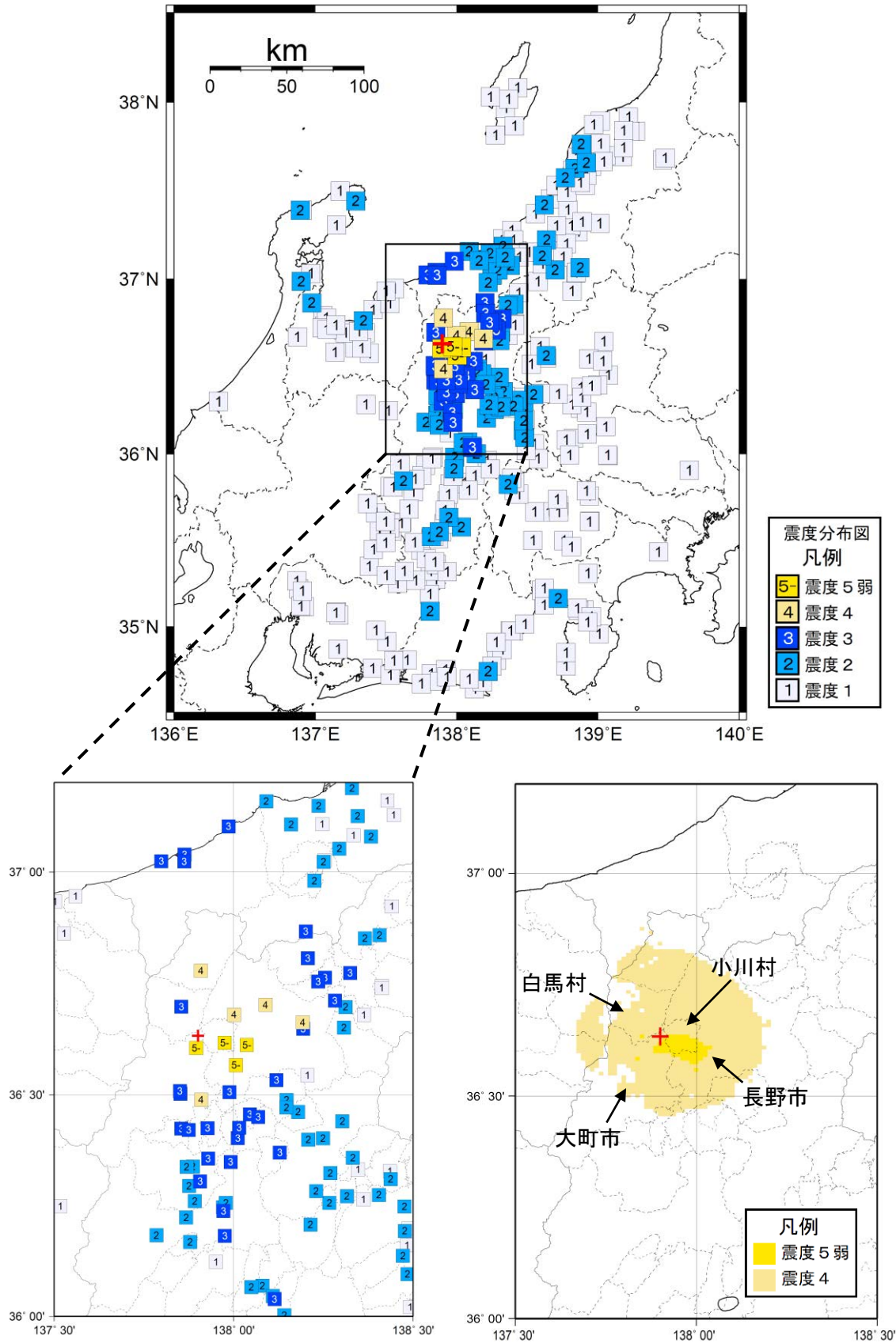
2 5月6日21時13分 熊本県熊本地方
(M3.9、深さ11km、最大震度4)



3 5月7日05時00分 岩手県内陸北部
(M5.1、深さ98km、最大震度4)



4 5月12日10時29分 長野県北部
(M5.2、深さ11km、最大震度5弱)



(表示範囲は震度分布図の拡大図 (左図) と同じ)

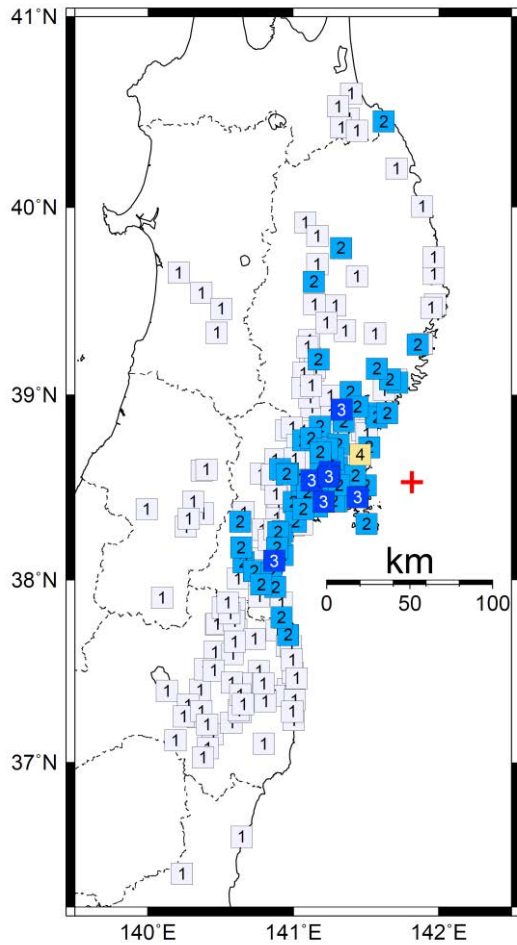
<推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。

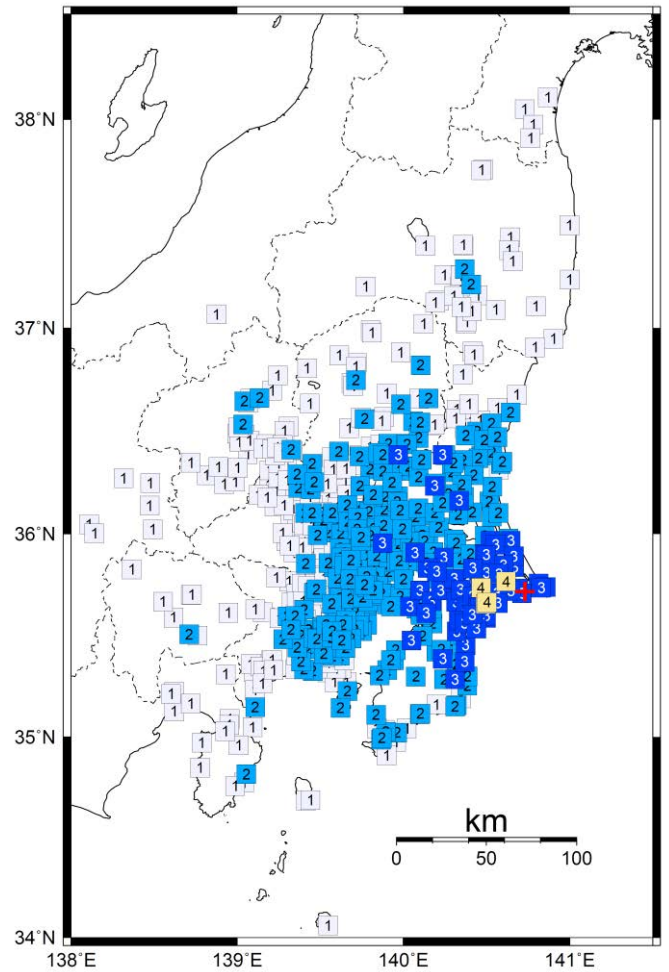
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

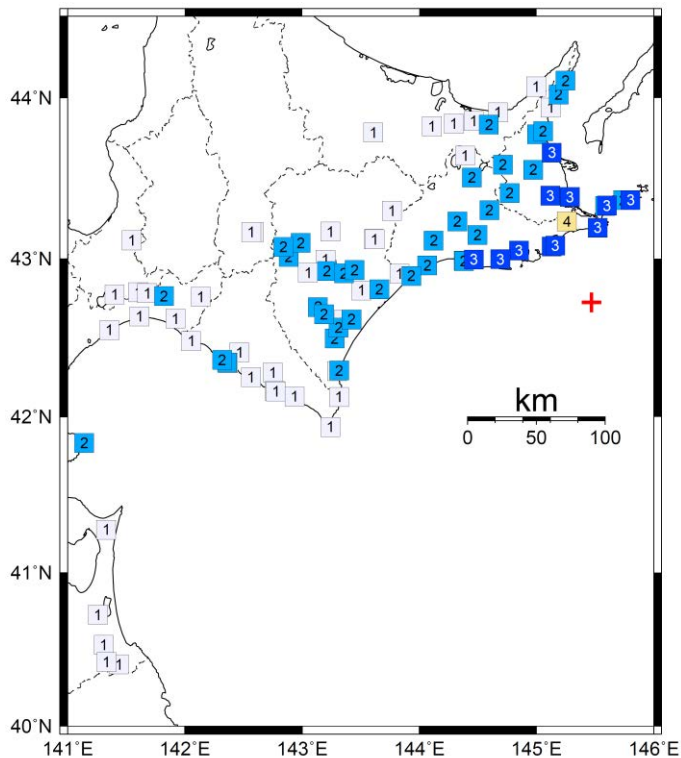
5 5月13日01時49分 宮城県沖
(M4.8、深さ50km、最大震度4)



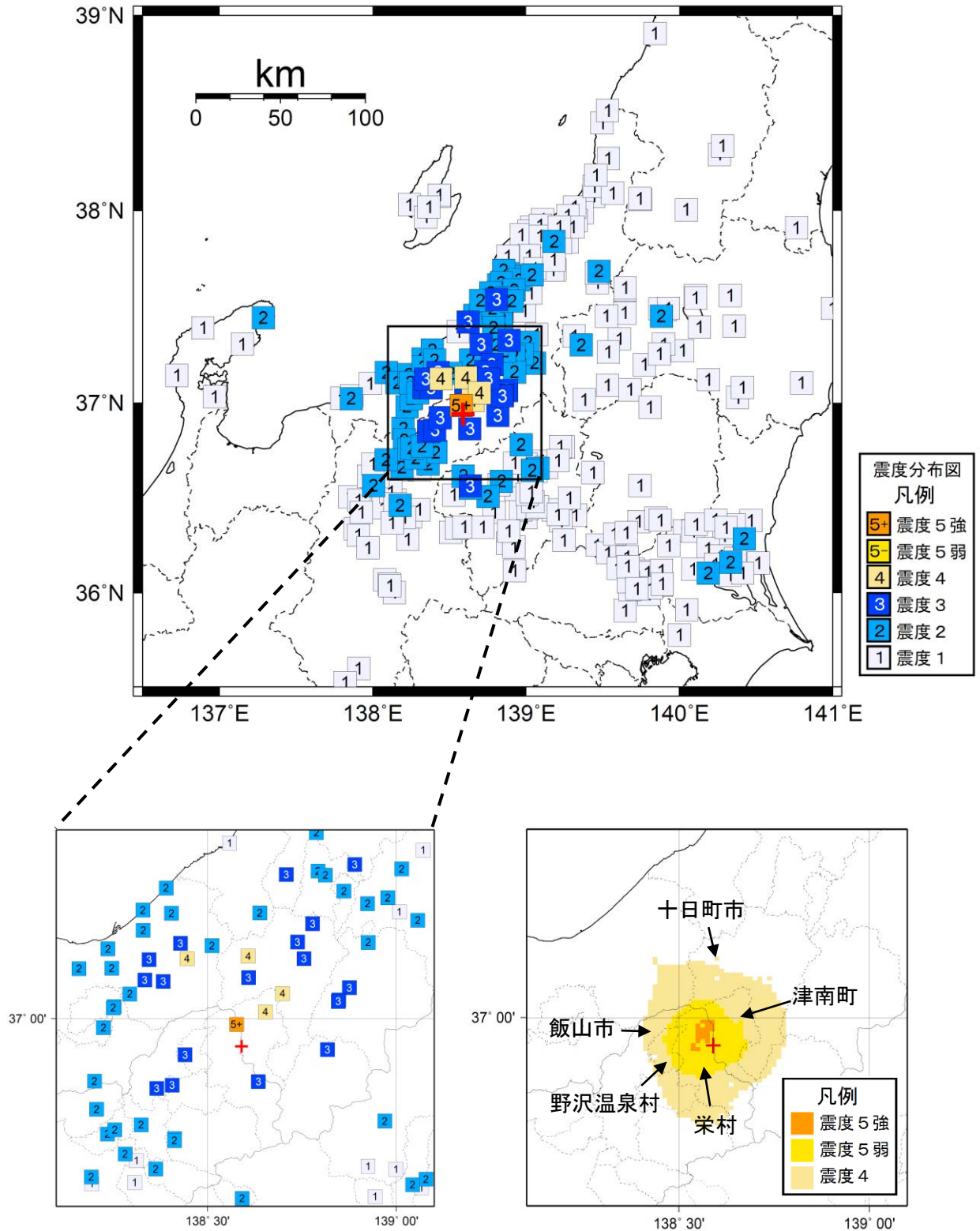
7 5月17日12時12分 千葉県北東部
(M5.3、深さ52km、最大震度4)



8 5月18日03時42分 釧路沖
(M5.8、深さ47km、最大震度4)



9 5月25日21時13分 長野県北部
(M6.0、深さ6km、最大震度5強)



(表示範囲は震度分布図の拡大図(左図)と同じ)

図4 震度分布図及び推計震度分布図
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>)をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

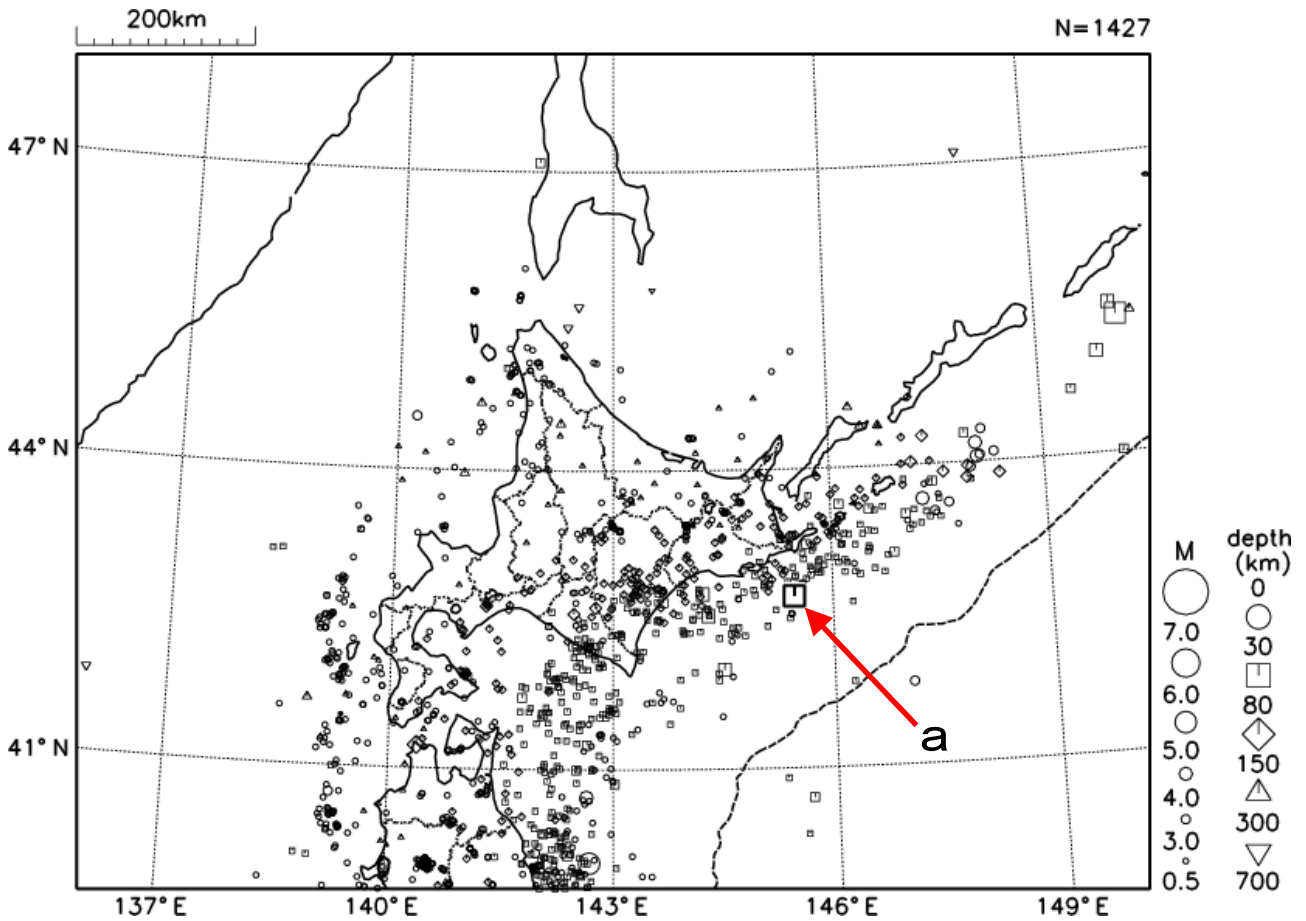


図5 北海道地方の震央分布図 (2018年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

5月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は9回（4月は15回）であった。
5月中の主な地震活動は次のとおりである。

18日03時42分に釧路沖の深さ47kmでM5.8の地震（図5中のa）が発生し、北海道根室市で震度4を観測したほか、北海道と青森県で震度3～1を観測した（p 6、9参照）。

5月18日 釧路沖の地震

図中の発震機構は CMT 解

50km

44°N

43°N

144°E 145°E 146°E

2004年11月29日
48km M7.1

今回の地震
2018年5月18日
47km M5.8

M
7.0
6.0
5.0
4.0
3.0
2.5

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、M7.0 以上の地震が 3 回発生しており、最大規模の地震は「1973 年 6 月 17 日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度 5）で、負傷者 28 人、住家被害 5,153 棟などの被害が生じた。また、根室市花咲で 280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した（「気象庁技術報告第 087 号、1947」による）。

Figure 1 is a stem plot showing the distribution of the number of species (M) in the genus *C*. The x-axis represents years from 1930 to 2010, and the y-axis represents the number of species (M) from 6 to 8. The plot shows several peaks, with the highest peak reaching $M=7.5$ around 1975. The total number of species is $N=23$.

○東北地方の地震活動

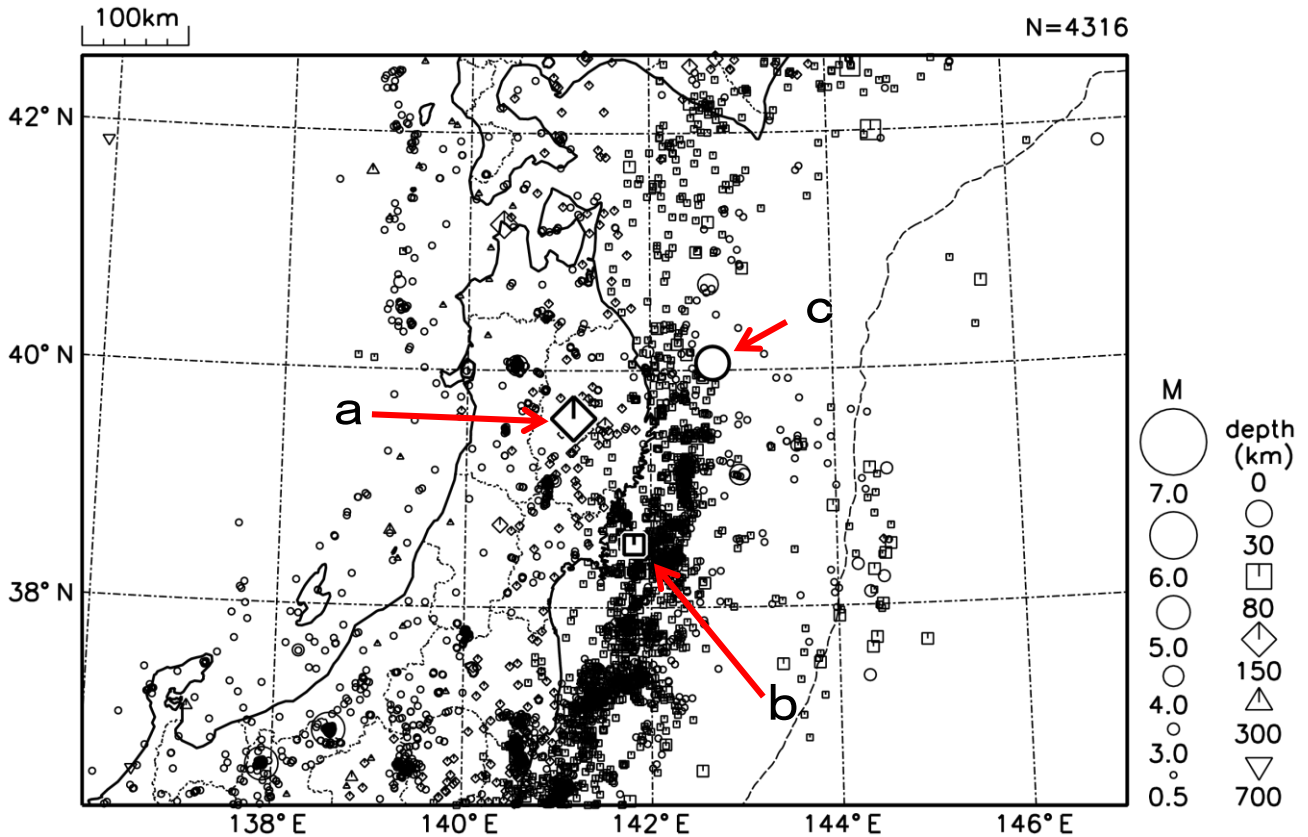


図6 東北地方の震央分布図（2018年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

5月に東北地方で震度1以上を観測した地震は42回（4月は34回）であった。
5月中の主な地震活動は次のとおりである。

7日05時00分に岩手県内陸北部の深さ98kmで $M5.1$ の地震（図6中のa）が発生し、岩手県盛岡市で震度4を観測したほか、北海道、東北地方、新潟県で震度3～1を観測した（p4、11参照）。

13日01時49分に宮城県沖の深さ50kmで $M4.8$ の地震（図6中のb）が発生し、宮城県南三陸町で震度4を観測したほか、東北地方と茨城県で震度3～1を観測した（p6、12参照）。

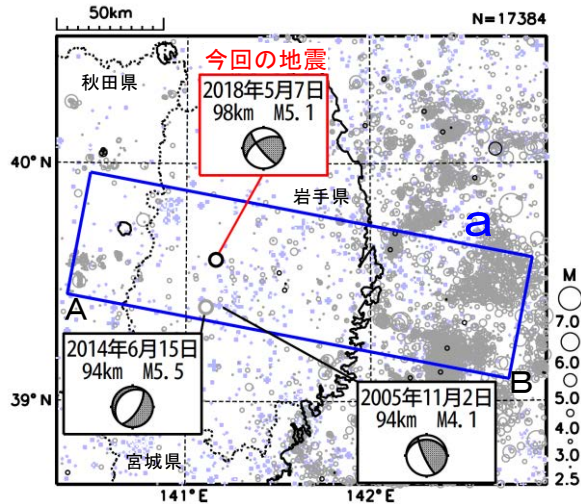
14日19時31分に岩手県沖の深さ29kmで $M5.1$ の地震（図6中のc）が発生し、岩手県盛岡市で震度3を観測したほか、北海道と東北地方で震度2～1を観測した（p13参照）。

5月7日 岩手県内陸北部の地震

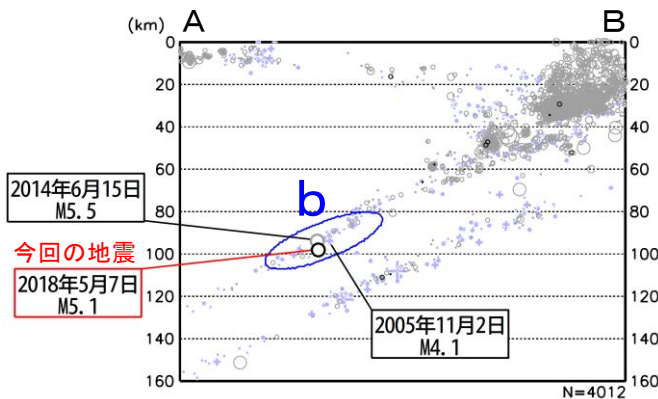
震央分布図

(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～160km、 $M \geq 2.5$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月の地震を濃い○で表示



領域a内の断面図 (A-B投影)

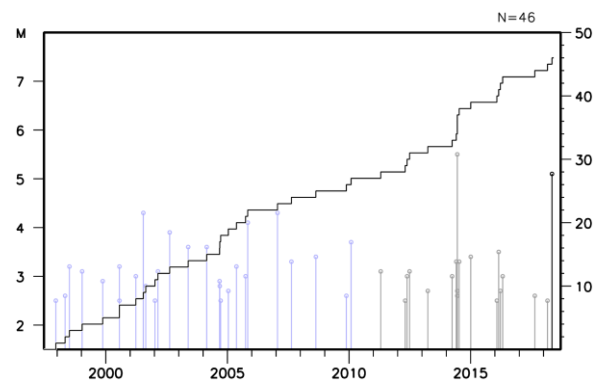


2018年5月7日05時00分に岩手県内陸北部の深さ98kmで $M 5.1$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2014年6月15日に $M 5.5$ の地震 (最大震度4) が発生している。

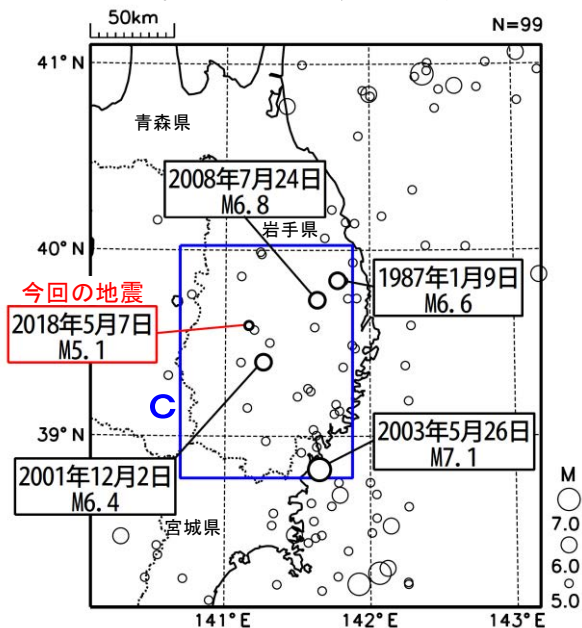
1923年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。このうち2008年7月24日に発生した $M 6.8$ の地震 (最大震度6弱) では、死者1人、負傷者211人などの被害が生じた (総務省消防庁による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

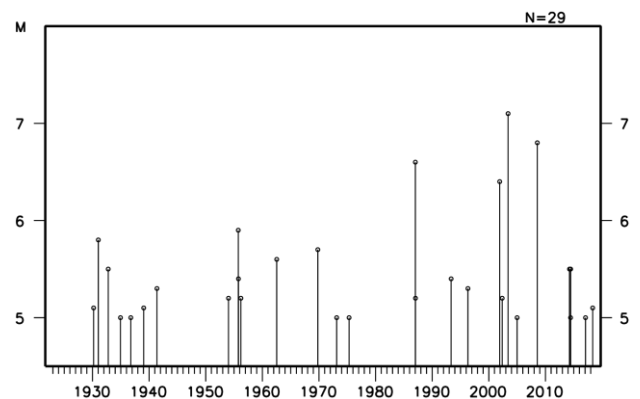


震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ60～160km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

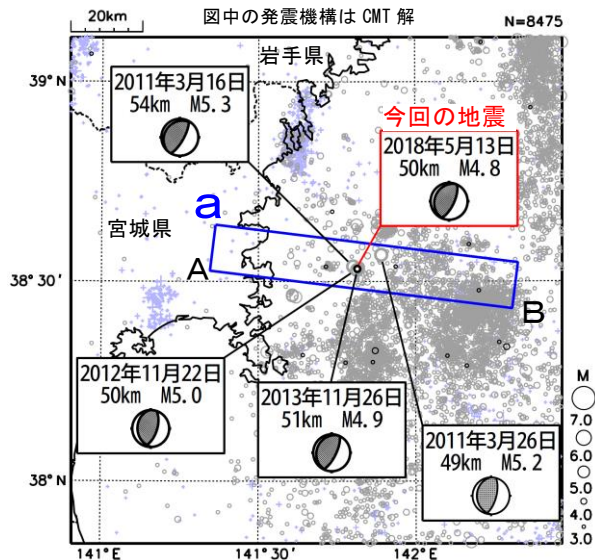


5月13日 宮城県沖の地震

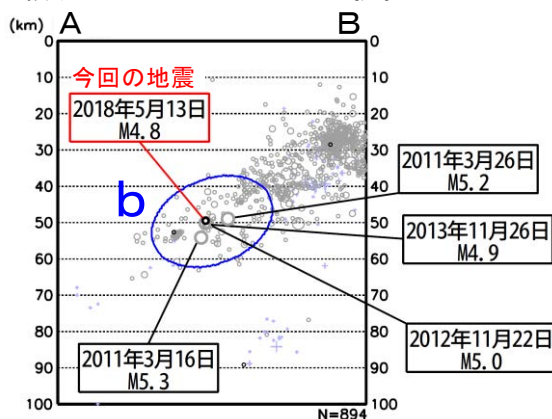
震央分布図

(1997年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を+、
2011年3月11日以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月に発生した地震を濃い○で表示



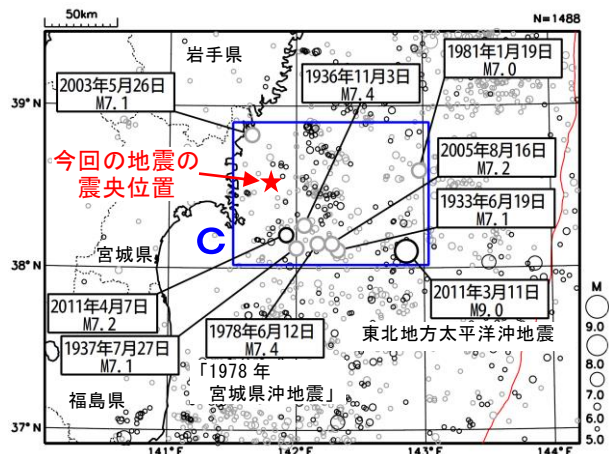
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を薄い○、
2011年3月11日以降に発生した地震を濃い○で表示

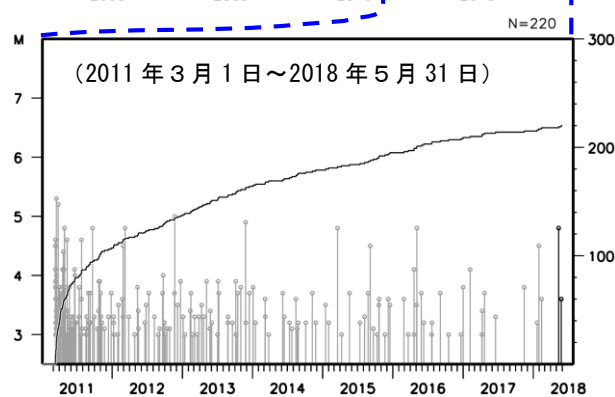
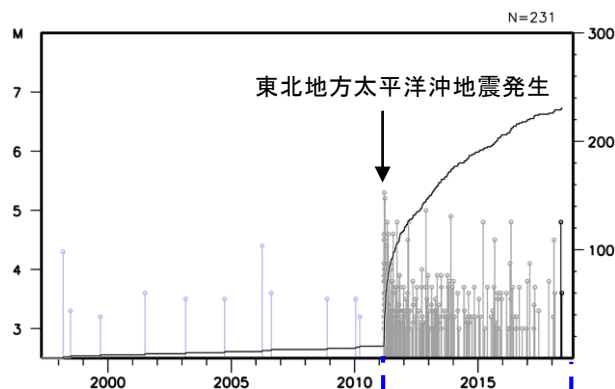


2018年5月13日01時49分に宮城県沖の深さ50kmでM4.8の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

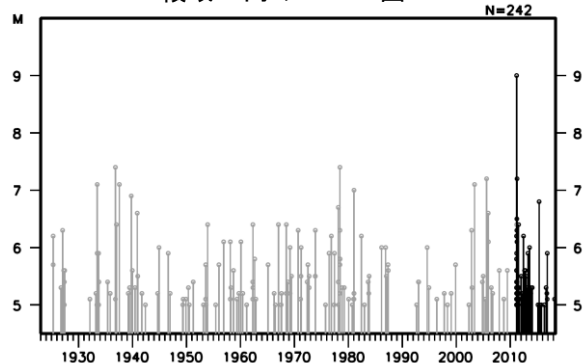
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が数回発生していたが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震 (以下、東北地方太平洋沖地震)」の発生以降に活発化し、M5程度の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M7.0以上の地震が9回発生しており、「1978年宮城県沖地震」 (M7.4、最大震度5) では、死者28人、負傷者1325人、住家全壊1183棟等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

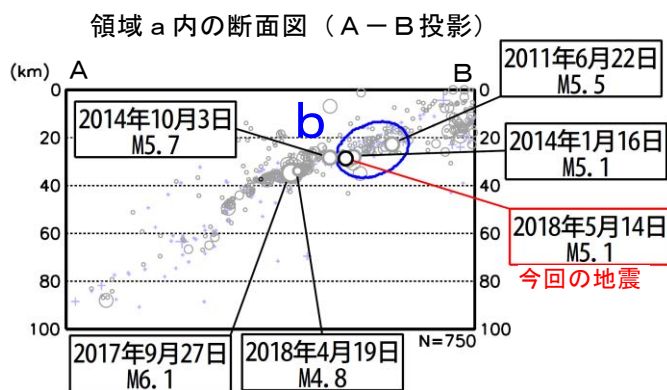
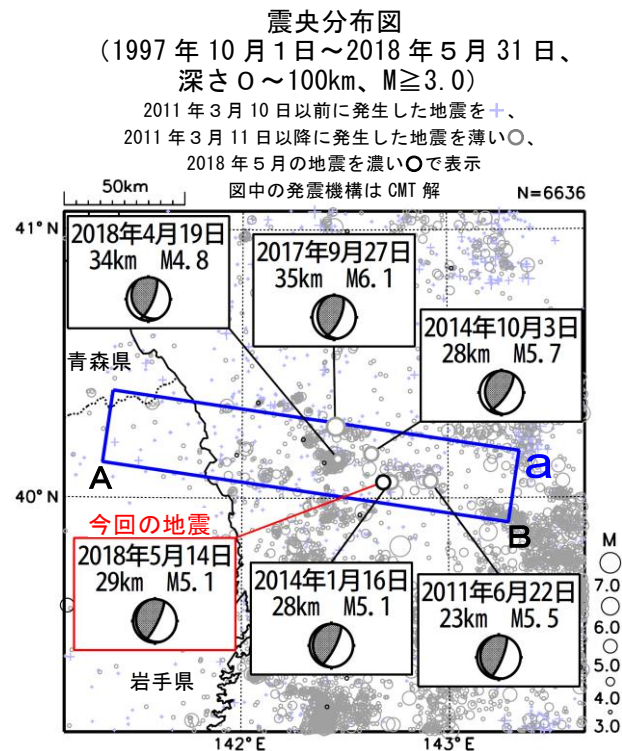
領域b内のM-T図及び回数積算図



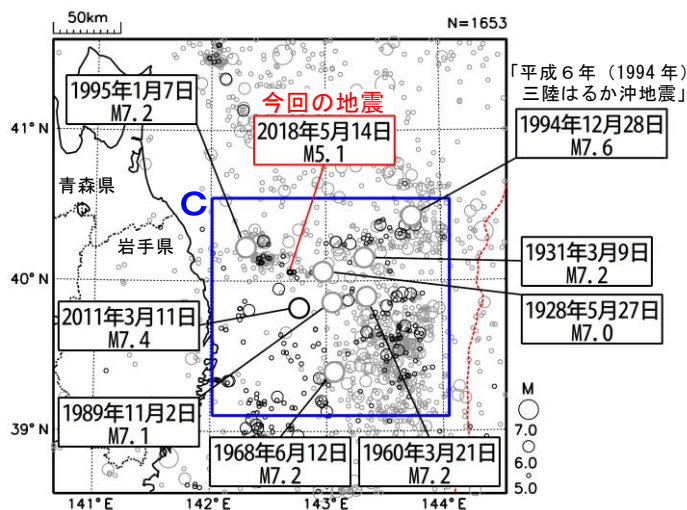
領域c内のM-T図



5月14日 岩手県沖の地震



震央分布図
(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示

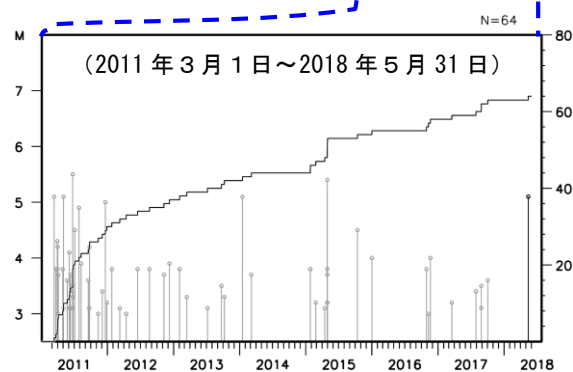
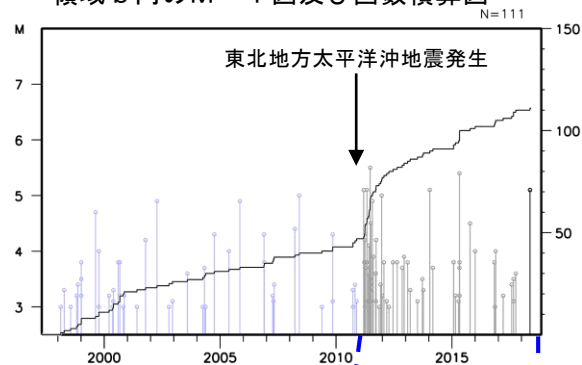


2018年5月14日19時31分に岩手県沖の深さ29kmでM5.1の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

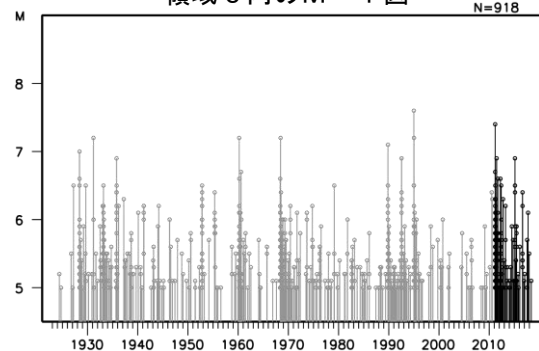
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5を超える地震が時々発生しており、東北地方太平洋沖地震発生以降は地震活動が活発化した。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、1994年12月28日に「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6、最大震度6）が発生し、青森県八戸市と岩手県宮古市で50cmの津波が観測された（「験震時報第64巻」による）。この地震により、死者3人、負傷者788人、住家被害9,522棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

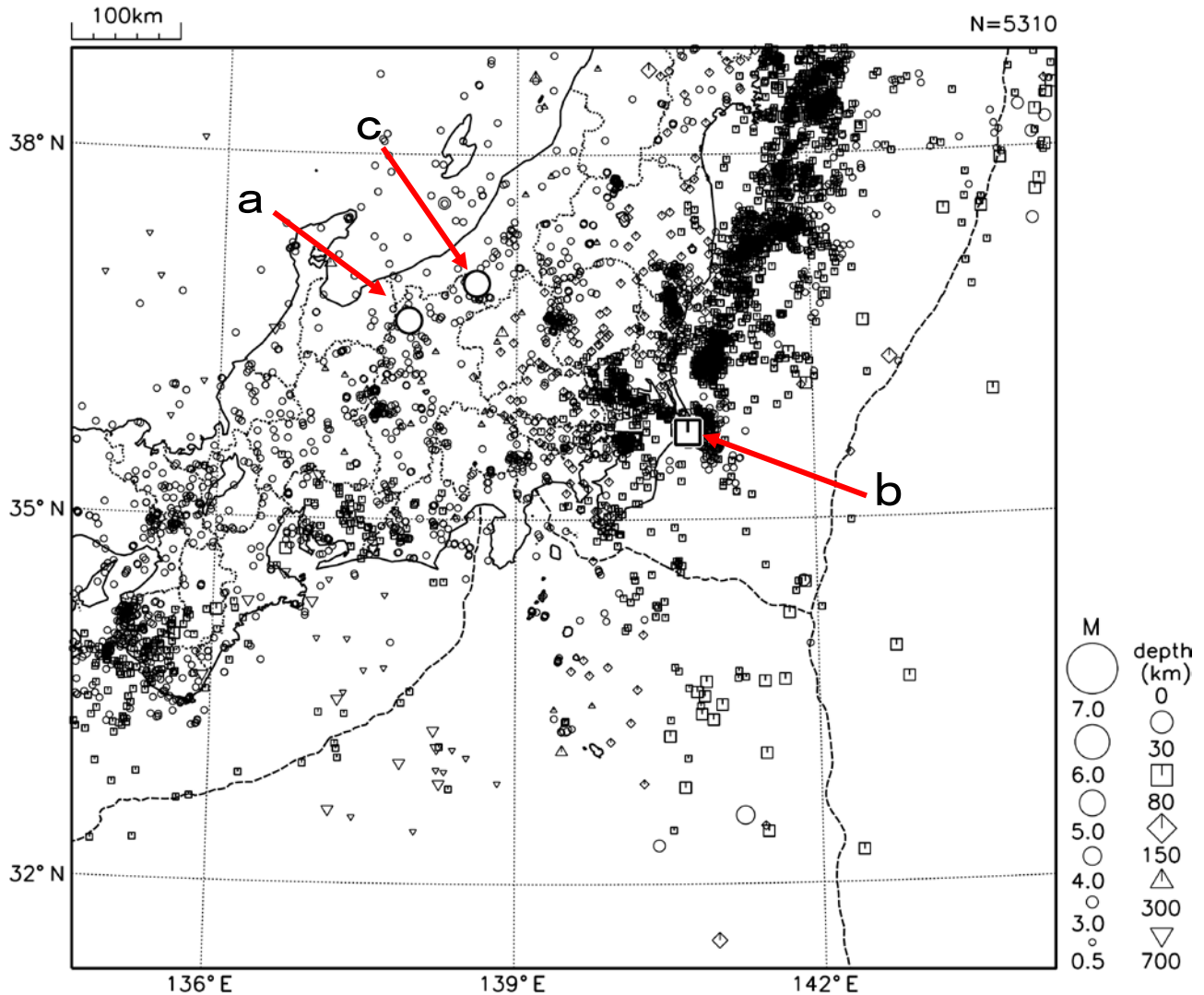
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



○関東・中部地方の地震活動

図7 関東・中部地方の震央分布図 (2018年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

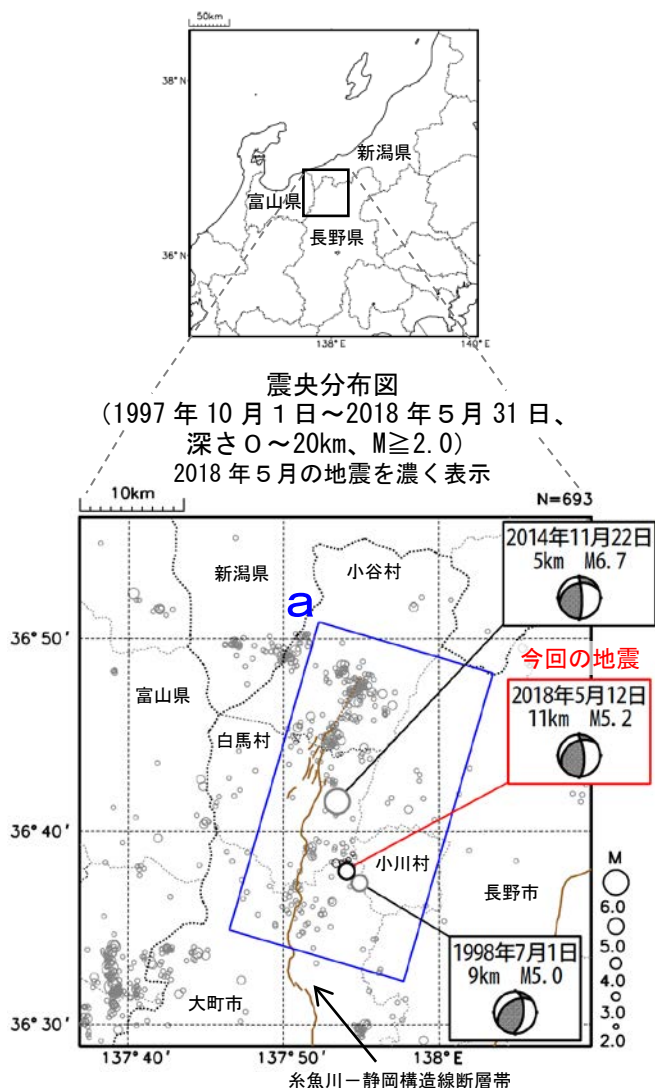
5月に関東・中部地方(三重県を含む)で震度1以上を観測した地震は73回(4月は42回)であった。5月中の主な活動は次のとおりである。

12日10時29分に長野県北部の深さ11kmでM5.2の地震(図7中のa)が発生し、長野県長野市、大町市、小川村で震度5弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度4～1を観測した(p5、15参照)。

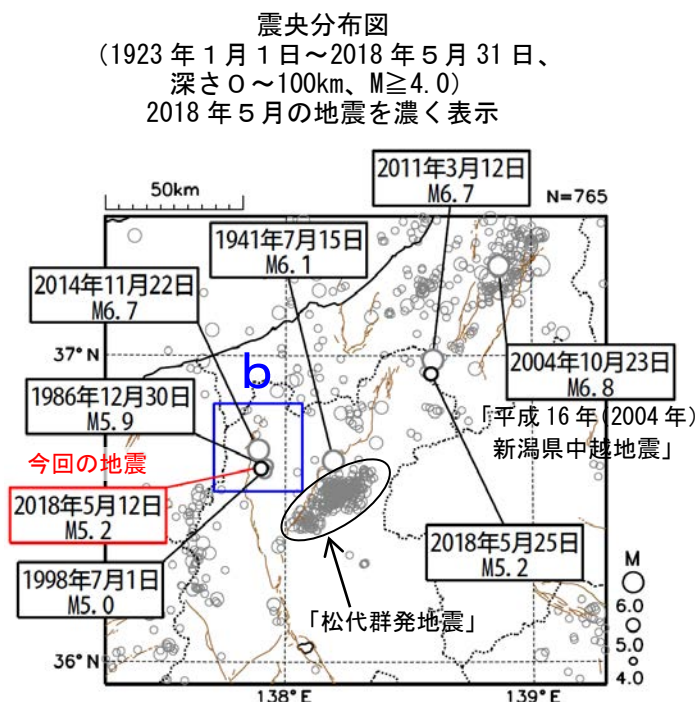
17日12時12分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.3の地震(図7中のb)が発生し、千葉県旭市、多古町、横芝光町で震度4を観測したほか、東北地方南部、静岡県、関東甲信越地方で震度3～1を観測した。情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である(p6、16参照)。

25日21時13分に長野県北部の深さ6kmでM5.2の地震(図7中のc)が発生し、長野県栄村で震度5強を観測したほか、東北地方南部から関東・中部地方にかけて震度4～1を観測した(p7、17参照)。

5月12日 長野県北部の地震



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。



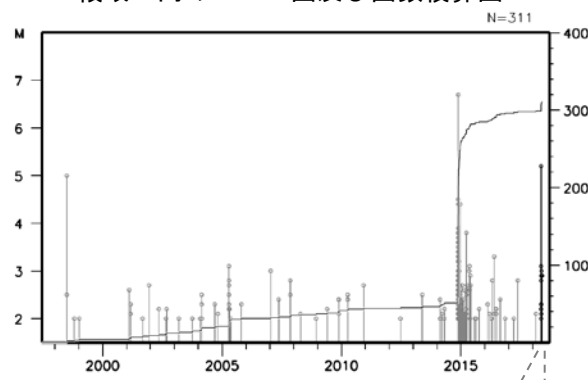
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月12日10時29分に長野県北部の深さ11kmで $M5.2$ の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西ー東南東方向に圧力軸を持つ型である。

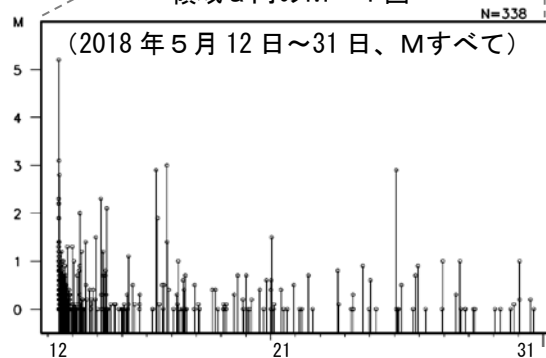
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、1998年7月1日に $M5.0$ の地震(最大震度4)の地震が発生している。また、2014年11月22日に $M6.7$ の地震(最大震度6弱)が発生し、負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた(被害は、総務省消防庁による)。この地震は、神城断層(糸魚川ー静岡構造線断層帯の構成断層のひとつ)の北部で発生した(「糸魚川ー静岡構造線断層帯の長期評価(第二版)」による)。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域b)では、1986年12月30日に $M5.9$ の地震(最大震度4)が発生している。また、領域bの周辺で1965年から発生した「松代群発地震」では、負傷者15人、住宅全壊10棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

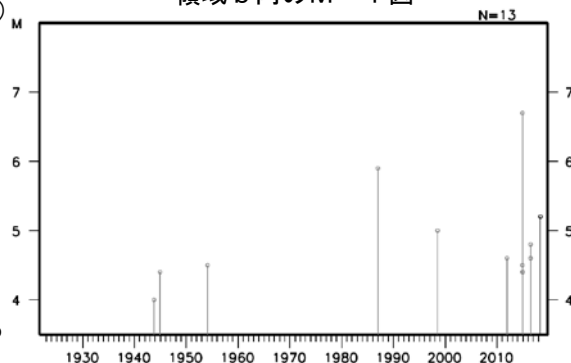
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内のM-T図

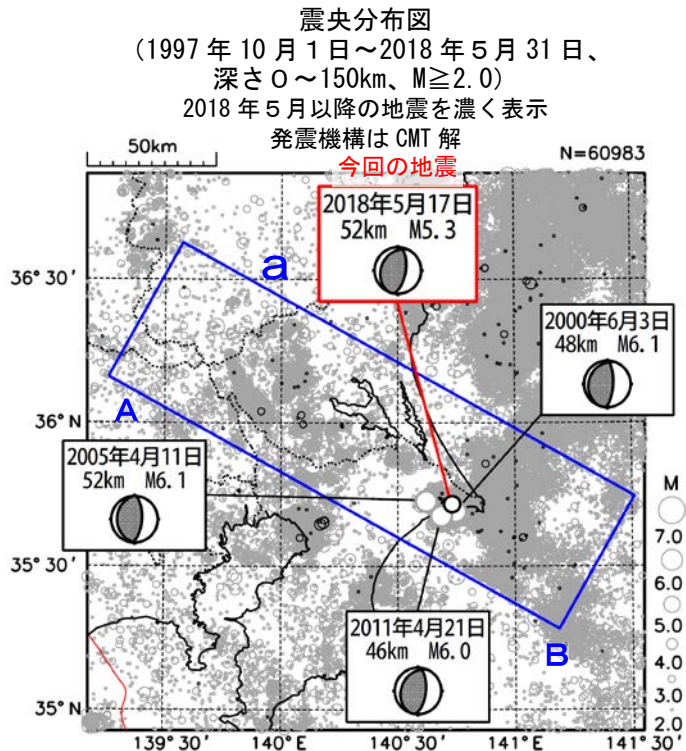


領域b内のM-T図



5月17日 千葉県北東部の地震

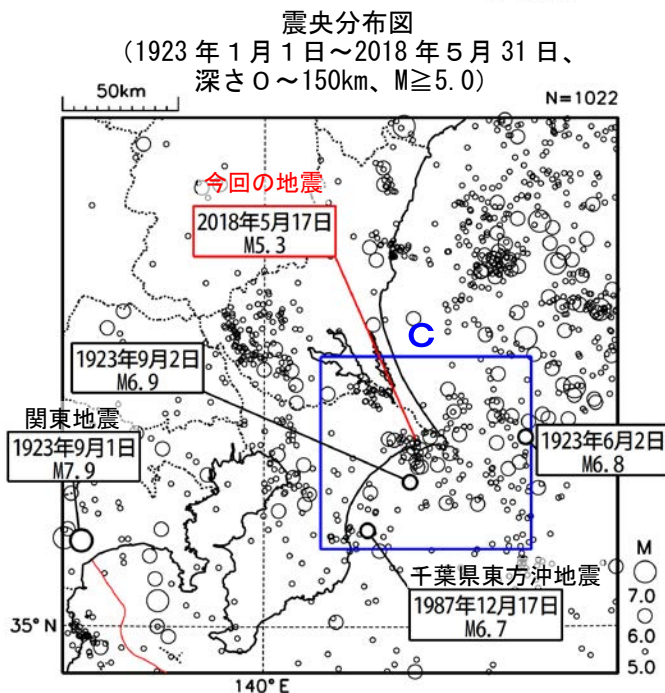
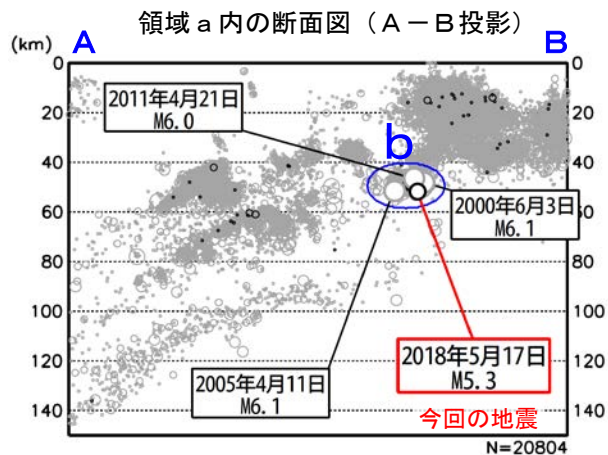
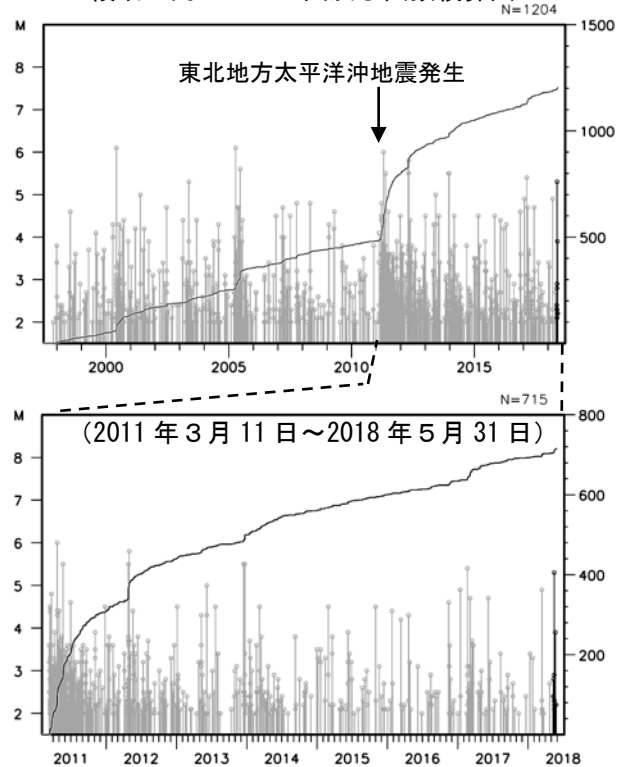
※情報発表に用いた震央地名は「千葉県東方沖」である。



2018年5月17日12時12分に千葉県北東部の深さ52kmでM5.3の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

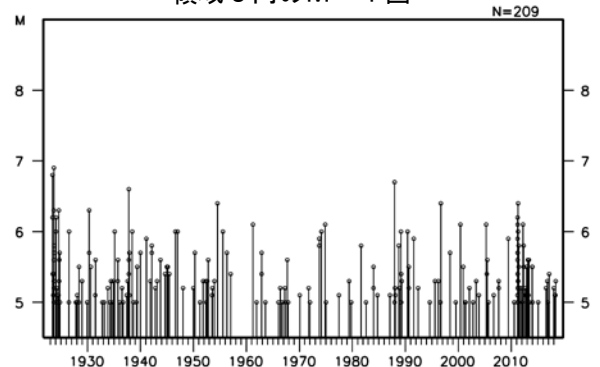
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)は、M6程度の地震が時々発生している。東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動がより活発になっている。

領域b内のM-T図及び回数積算図

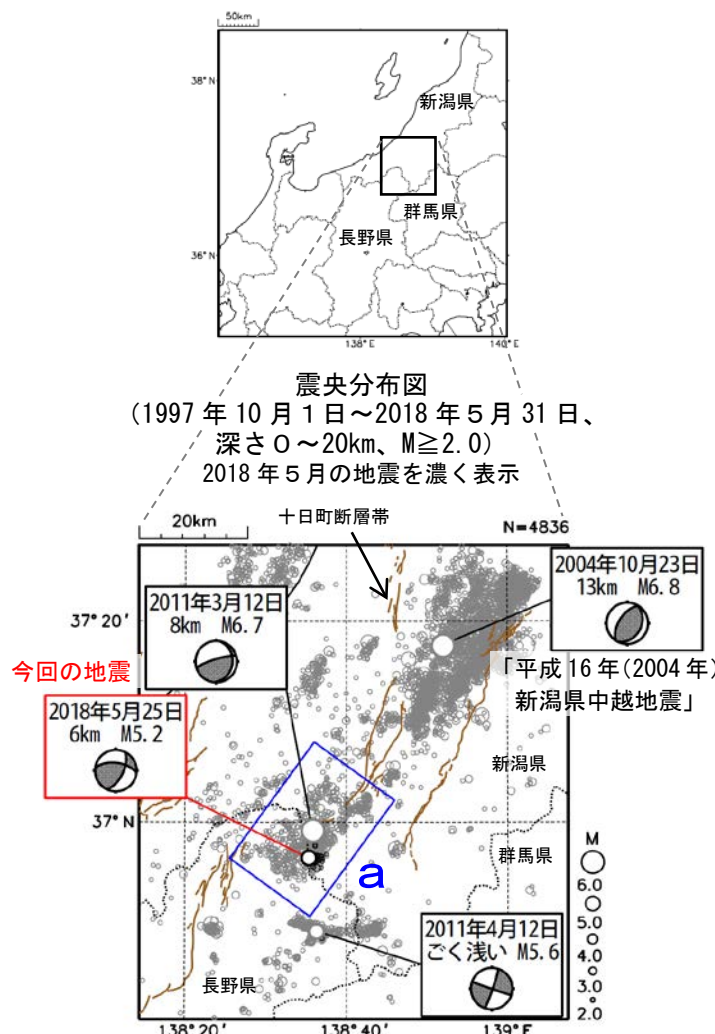


1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6程度の地震が時々発生している。1987年12月17日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖地震(M6.7、最大震度5)では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



5月25日 長野県北部（長野県・新潟県県境付近）の地震



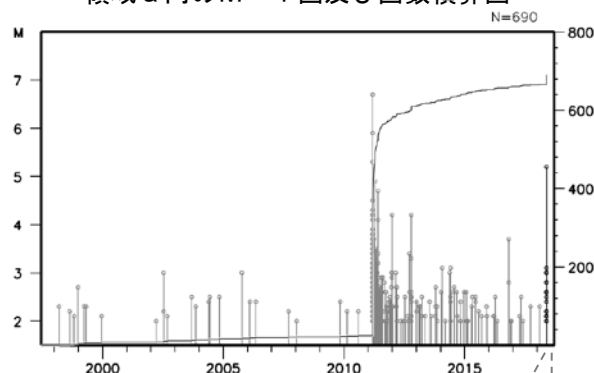
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月25日21時13分に長野県北部の深さ6kmで $M5.2$ の地震(最大震度5強)が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。震源は、十日町断層帯の南端付近に位置している。この地震の発生後、5月31日までに震度1以上を観測する地震が17回(最大震度3:1回、最大震度2:6回、最大震度1:10回)発生するなど、地震活動が活発となった。

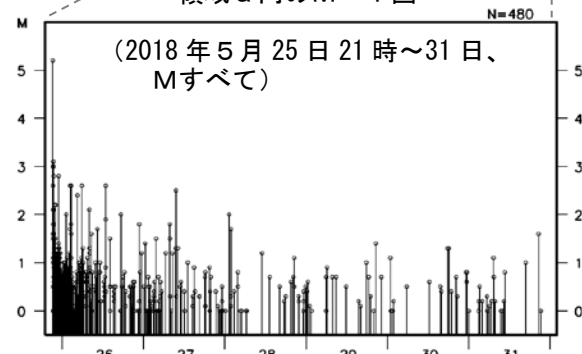
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域a)では、2011年3月12日に $M6.7$ の地震(最大震度6弱)の地震が発生し、6月頃にかけて活発な地震活動がみられた。また、今回の地震の北東では、2004年10月23日に「平成16年(2004年)新潟県中越地震」($M6.8$ 、最大震度7)が発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近(領域b)では、2011年3月12日の地震($M6.7$)が発生するまで、あまり地震活動がみられていなかった。

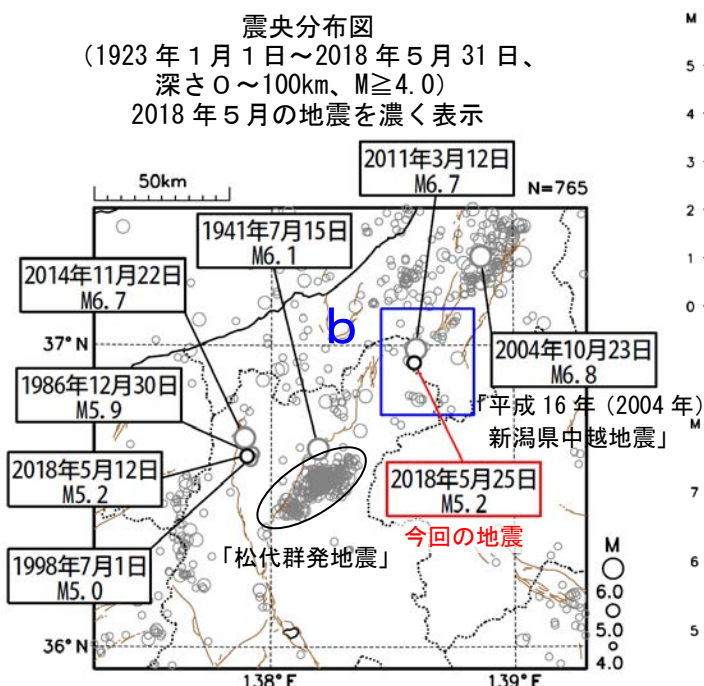
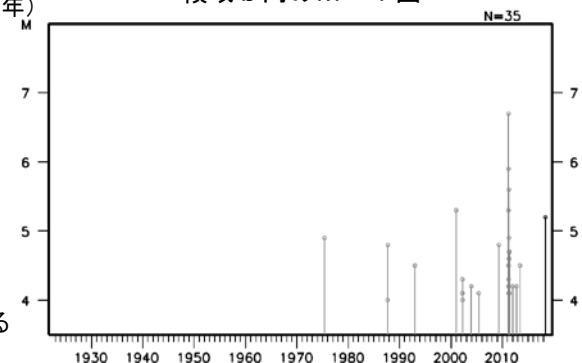
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

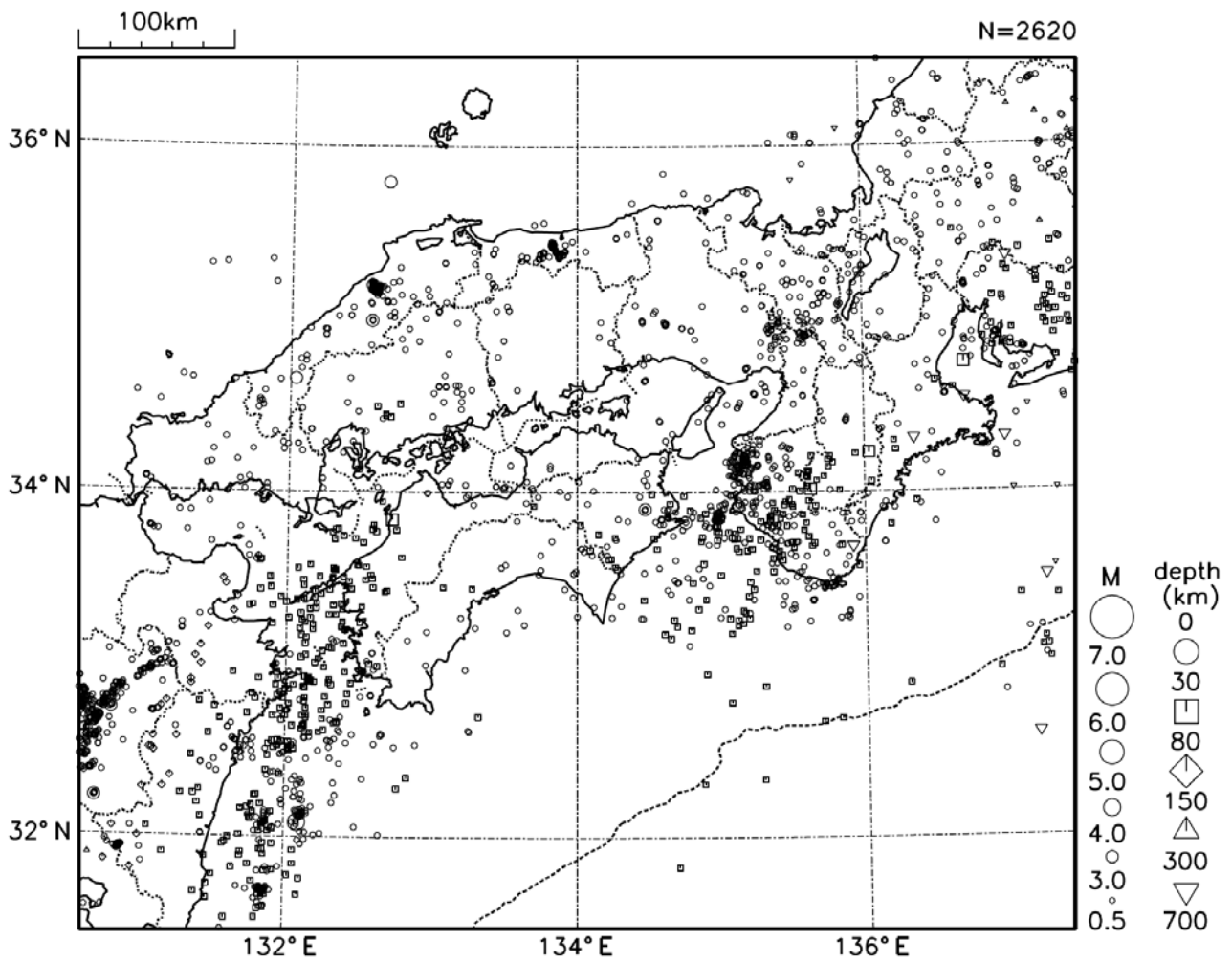


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図 (2018年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

5月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（4月は64回）であった。
5月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

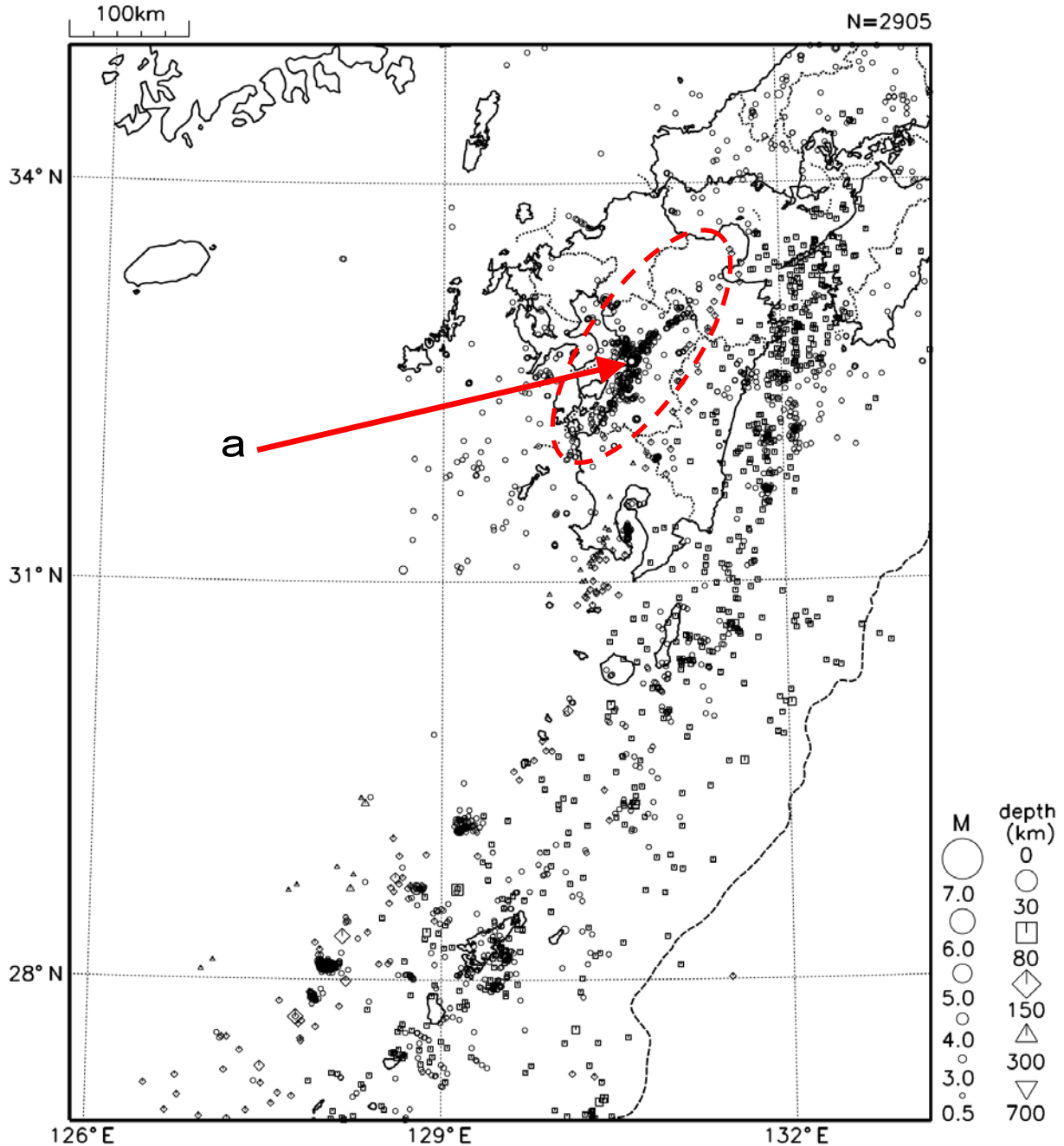


図9 九州地方の震央分布図 (2018年5月1日～5月31日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

5月に九州地方で震度1以上を観測した地震は35回（4月は38回）であった。
5月中の主な活動は次のとおりである。

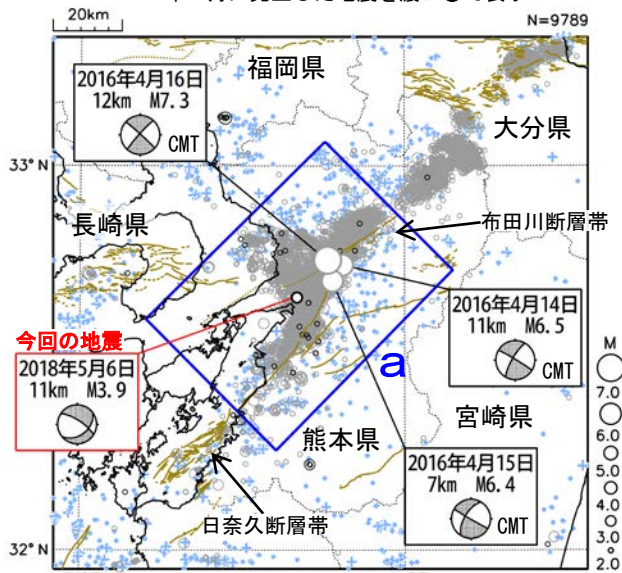
6日21時13分に熊本県熊本地方の深さ11kmでM3.9の地震（図9中のa）が発生し、熊本県宇城市で震度4を観測したほか、熊本県を中心に九州地方で震度3～1を観測した。この地震は、「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域（図9中の破線）内で発生した（p4、20参照）。

5月6日 熊本県熊本地方の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2018年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を+、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を薄い○、
2018年5月に発生した地震を濃い○で表示

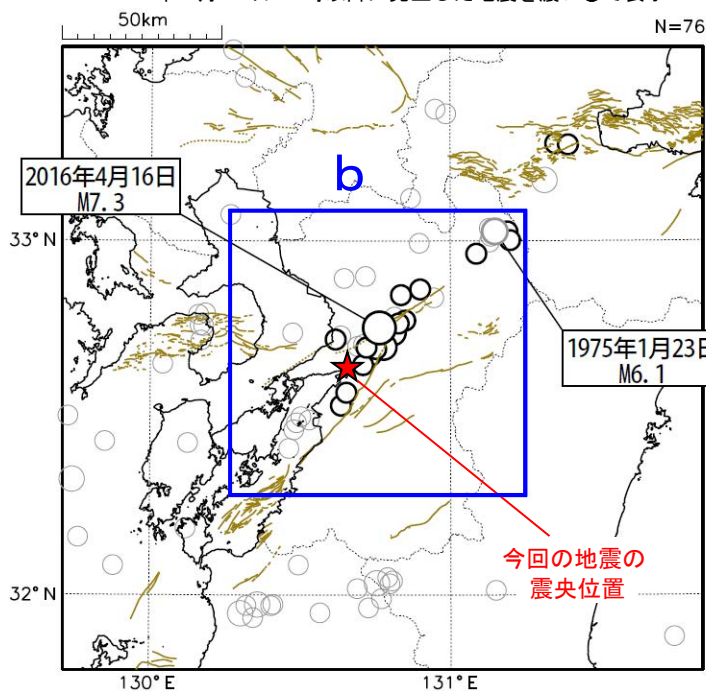


図中の細線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

震央分布図

(1923年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 5.0$)

2016年4月14日21時以前に発生した地震を薄い○、
2016年4月14日21時以降に発生した地震を濃い○で表示



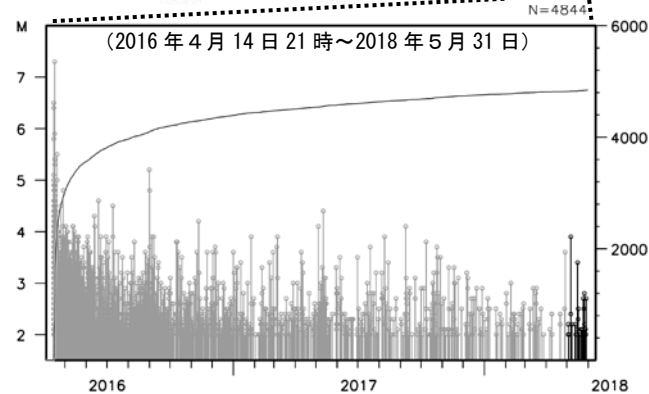
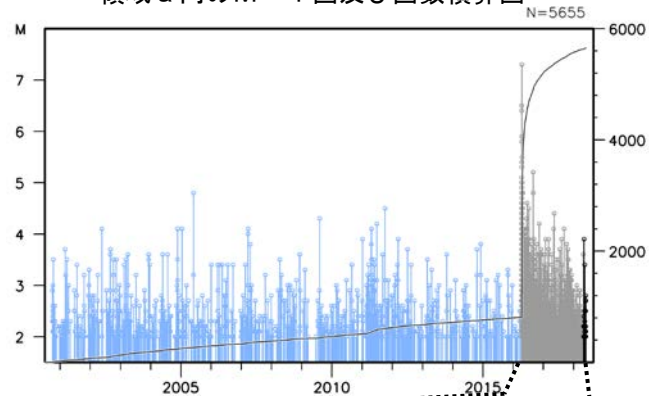
図中の細線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す

2018年5月6日21時13分に、熊本県熊本地方の深さ11kmでM3.9の地震（最大震度4）が発生した。この地震は「平成28年（2016年）熊本地震（以下、熊本地震）」の活動域内で発生した地殻内の地震である。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型である。

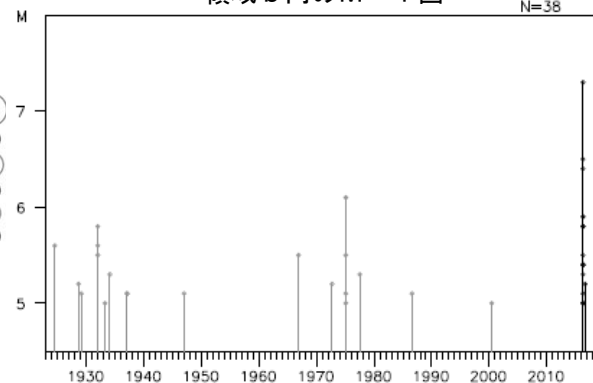
熊本県熊本地方及び阿蘇地方における熊本地震の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続している。この活動により死者267人などの被害が生じた（2018年5月14日現在、総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。1975年1月には、熊本県阿蘇地方で地震活動が活発となり、同月22日から25日にかけてM5.0以上の地震が4回発生し、負傷者10人などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

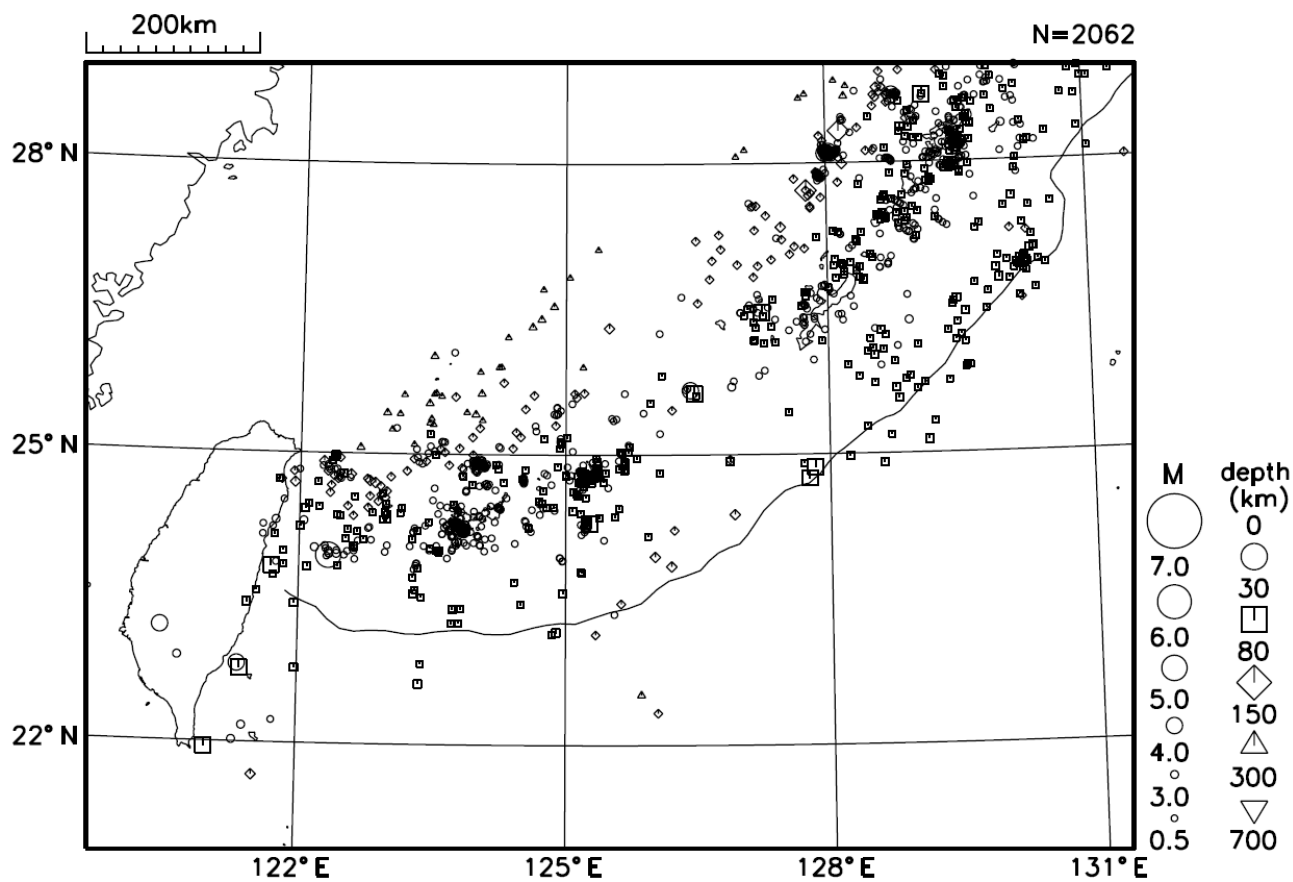


図 10 沖縄地方の震央分布図 (2018 年 5 月 1 日～5 月 31 日、 $M \geq 0.5$)

[概況]

5 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 8 回 (4 月は 8 回) であった。
5 月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

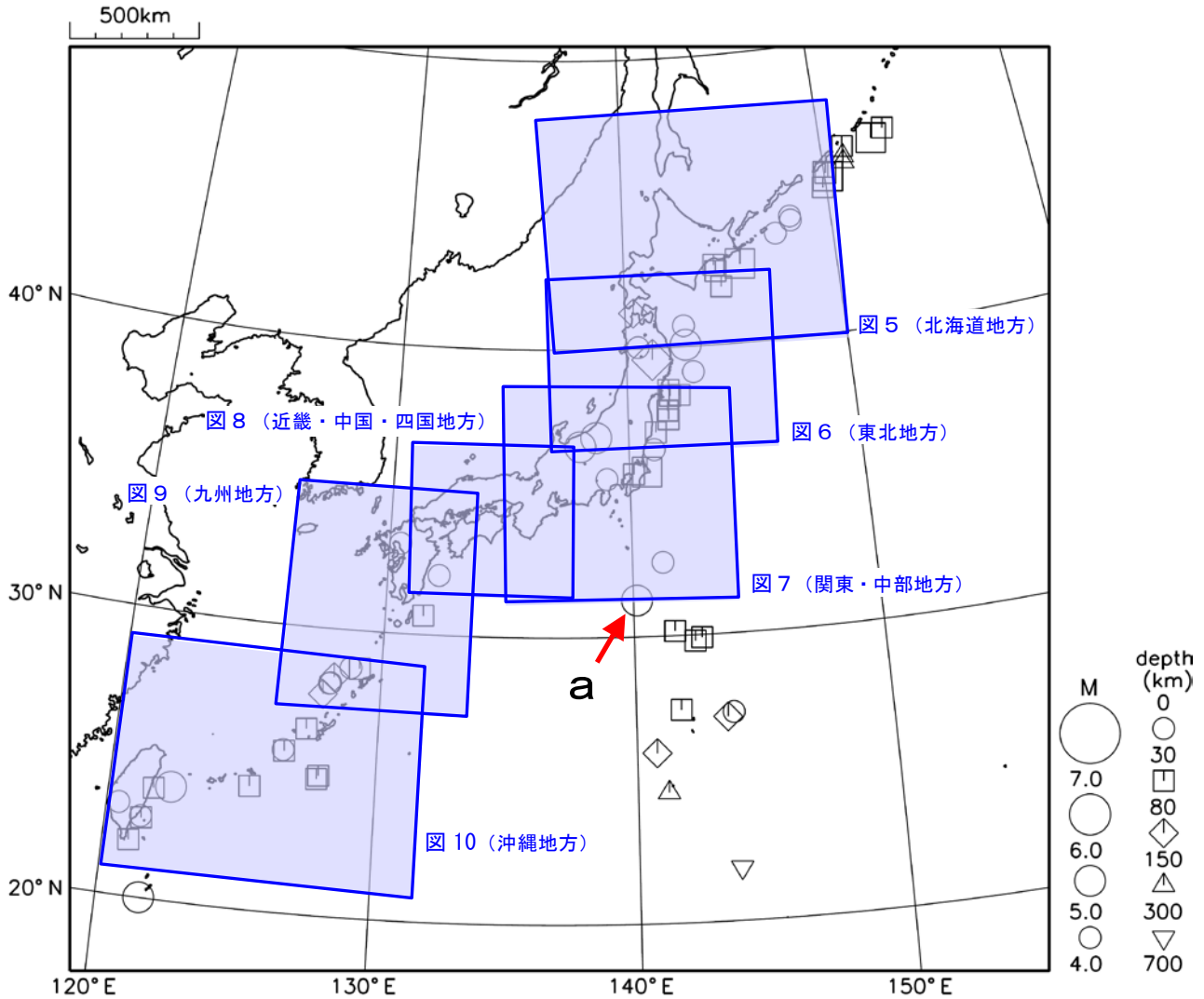


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図 (2018 年 5 月 1 日～5 月 31 日、 $M \geq 4.0$)

[概況]

5 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった (4 月は 1 回)。

5 月中に図 5～10 の領域外で発生した主な活動は次のとおりである。

5 月 6 日 15 時 03 分に鳥島近海で $M5.7$ の地震 (図 11 中の a) が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。気象庁は、津波予報 (若干の海面変動) を発表した。この地震に伴い、東京都の八丈島八重根で 0.3m の津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測した。情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である (p 23 参照)。

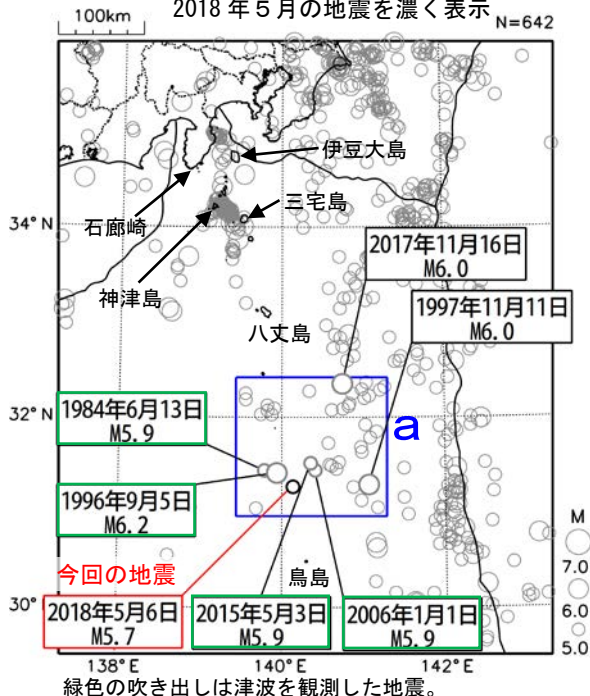
5月6日 鳥島近海の地震

※情報発表に用いた震央地名は「八丈島東方沖」である。

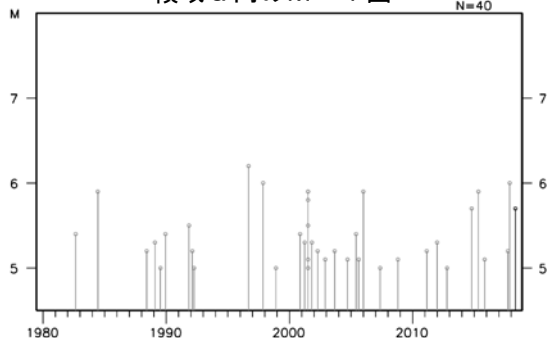
震央分布図

(1980年1月1日～2018年5月31日、
深さ0～100km、M≥5.0)

2018年5月の地震を濃く表示 N=642

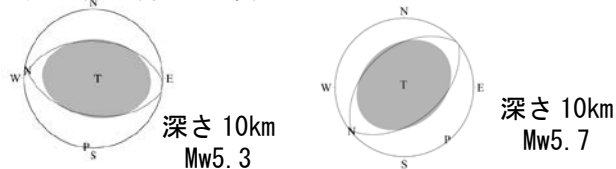


領域 a 内の M-T 図

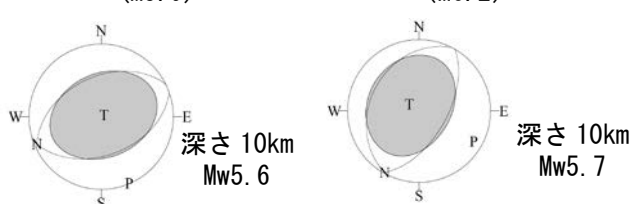


今回の地震及び今回の地震の震央周辺で津波を観測した地震の発震機構（CMT 解）

2018年5月6日の地震 (M5.7) (今回の地震) 2015年5月3日の地震 (M5.9)



2006年1月1日の地震 (M5.9) 1996年9月5日の地震 (M6.2)



※深さはセントロイド

2018年5月6日15時03分に鳥島近海でM5.7の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。気象庁はこの地震に対して、同日15時20分に津波予報（若干の海面変動）を発表した。この地震に伴い、東京都の八丈島八重根※1で0.3mの津波を観測したほか、伊豆諸島と静岡県で微弱な津波を観測した（下表）。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6程度の規模にも関わらず津波を観測した地震が時々発生しており、2015年5月3日の地震（M5.9）では八丈島八重根で0.6mなどの津波を観測した。

今回の地震の発震機構（CMT 解、下図）は、これらの津波を観測した地震の発震機構と比較的良好に似ている。

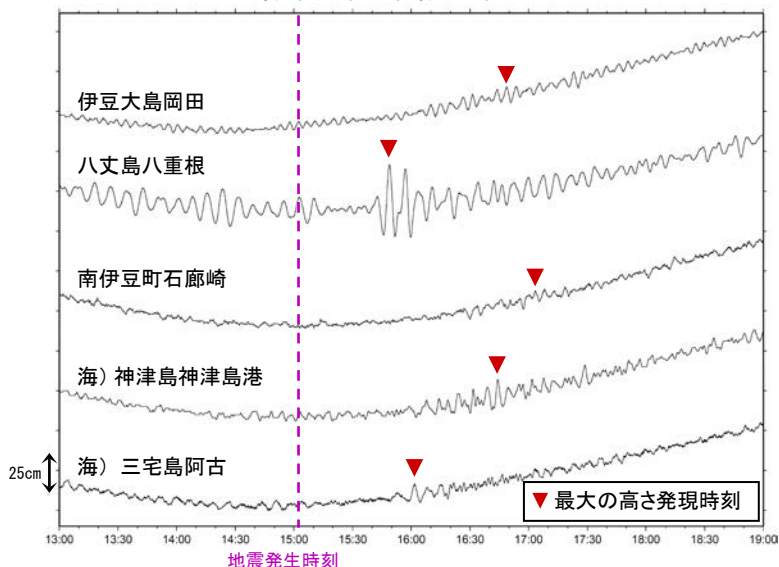
各津波観測施設における今回の地震の津波観測値

都道府県	津波観測施設名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
東京都	伊豆大島岡田	気象庁	6日 -	6日 16:48	5
	八丈島八重根 ※1	気象庁	6日 15:-	6日 15:49	0.3m
	神津島神津島港	海上保安庁	6日 -	6日 16:44	9
	三宅島阿古	海上保安庁	6日 15:-	6日 16:01	6
静岡県	南伊豆町石廊崎	気象庁	6日 -	6日 17:03	4

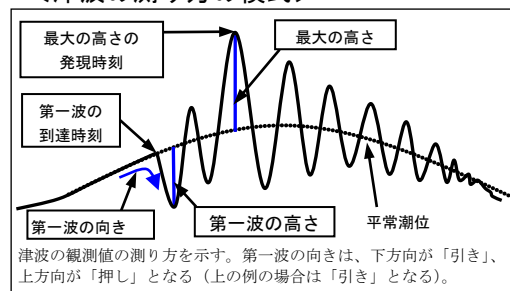
－は値が決定できないことを示す。

※1 八丈島八重根は巨大津波観測計により観測（観測単位は0.1m）。

各津波観測施設の津波波形



<津波の測り方のモード>



●南海トラフ沿いの地震活動

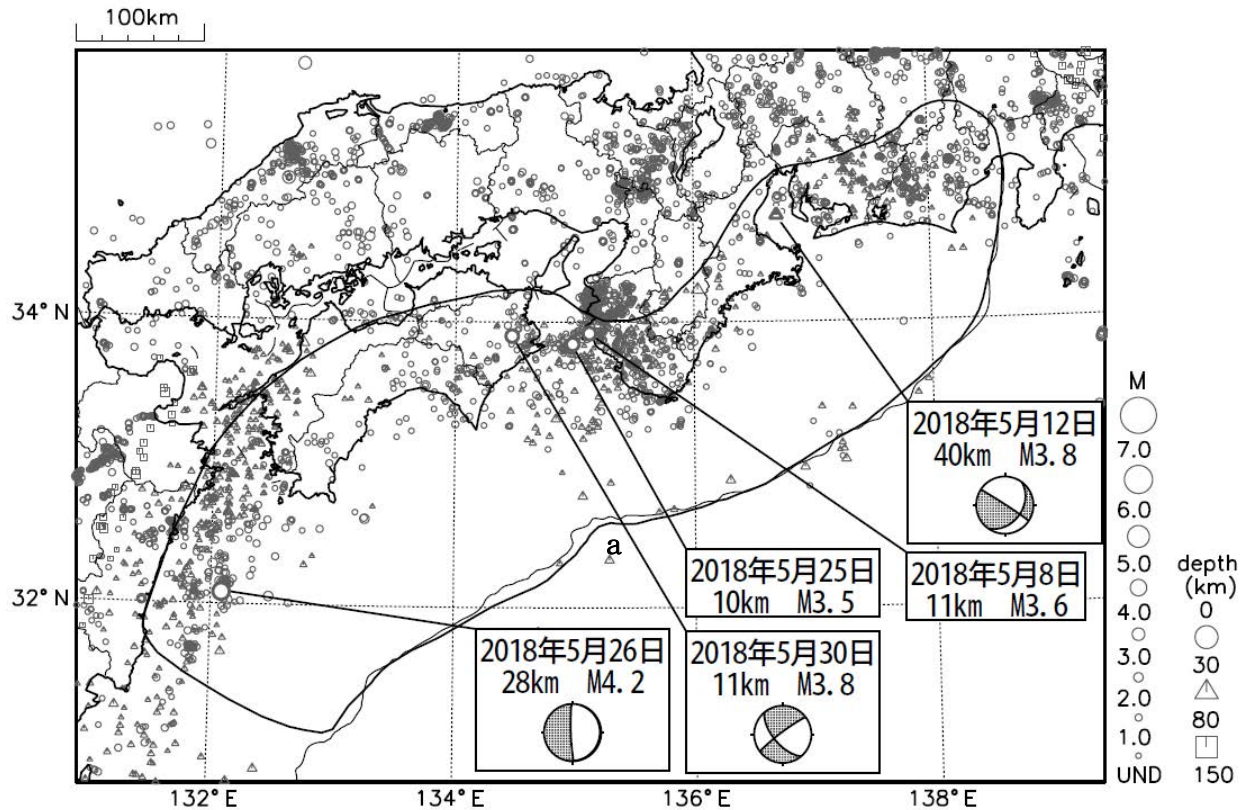


図1 震央分布図 (2018年5月1日～5月31日、深さ0～150km、Mすべて、図中の領域aは、南海トラフ巨大地震の想定震源域)

- ・図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域（領域a内）で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外（領域a内以外）の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震。
- ・震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

○南海トラフ巨大地震の想定震源域及びその周辺：M3.5以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時:分	震央地名	深さ(km)	M	最大震度	発生場所
5/8	02:00	和歌山県北部	11	3.6	2	地殻内
5/12	12:40	伊勢湾	40	3.8	2	フィリピン海プレート内部
5/25	00:54	紀伊水道	10	3.5	2	地殻内
5/26	07:02	日向灘	28	4.2	3	フィリピン海プレート内部
5/30	06:10	徳島県南部	11	3.8	2	地殻内

○深部低周波地震(微動)活動期間

四国	紀伊半島	東海
■香川県東部、香川県西部 5月21日、5月26日～27日 ■徳島県北部 5月21日～22日、5月25日～28日 ■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予 5月1日、5月13日、5月18日、 5月26日～27日、5月29日～(継続中) ■愛媛県東予、瀬戸内海中部 5月1日～2日、5月11日 ■愛媛県中予、愛媛県南予 (特段の活動はなかった) ■愛媛県南予、伊予灘 5月1日、5月6日～7日、5月12日、 5月14日～16日、5月20日～22日、 5月26日、5月28日～30日 ■愛媛県南予、豊後水道 5月26日	■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 5月12日 5月26日 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 5月2日 5月14日 ■奈良県 5月6日～7日 5月26日 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 5月12日～16日 5月30日～31日	■長野県南部 (特段の活動はなかった) ■愛知県東部、愛知県西部 (特段の活動はなかった)

※深部低周波地震(微動)活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動(継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの)について、活動した場所ごとに記載している。

※深部低周波地震(微動)活動は、次頁の震央分布図に示している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震(微動)活動を赤字で示す。

深部低周波地震 (微動) 活動 (2010年1月1日～2018年5月31日) 深部低周波地震 (微動) は、「短期的ゆっくすりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

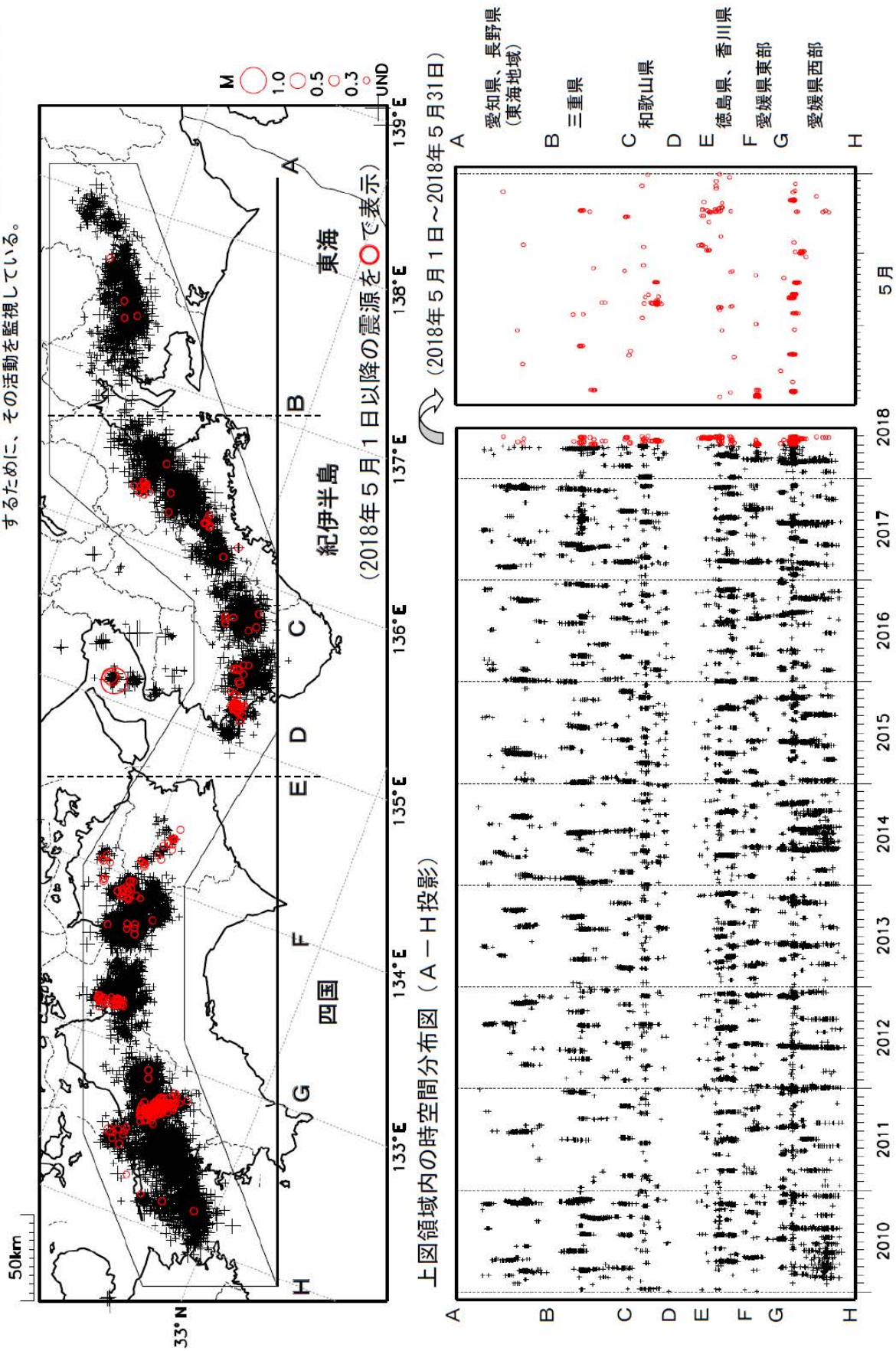


図2 深部低周波地震活動 (2010年1月1日～2018年5月31日)

気象庁作成

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」について

平成30年6月7日に気象庁において第8回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第386回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表した。これに関連する資料をp28～p40に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

1. 地震の観測状況

全般的に顕著な地震活動はありません。

2. 地殻変動の観測状況

G N S S 観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていないと考えられます。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震に関連する情報(定例)を発表している。

「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり(長期的スロースリップ)」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震(微動)」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震(微動)の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり(短期的スロースリップ)」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震(微動)活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002) によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

平成30年5月1日～平成30年6月7日09時の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
5/8	02:00	和歌山県北部	11	3.6	2	地殻内
5/12	12:40	伊勢湾	40	3.8	2	フィリピン海プレート内部
5/25	00:54	紀伊水道	10	3.5	2	地殻内
5/26	07:02	日向灘	28	4.2	3	フィリピン海プレート内部
5/30	06:10	徳島県南部	11	3.8	2	地殻内
6/6	01:21	日向灘	28	3.9	2	フィリピン海プレート内部

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■香川県東部、香川県西部 5月21日、5月26日～27日 ■徳島県北部 5月21日～22日、5月25日～28日 ■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予 5月1日、5月13日、5月18日、 5月26日～27日、5月29日～6月4日 ■愛媛県東予、瀬戸内海中部 5月1日～2日、5月11日 ■愛媛県中予、愛媛県南予 (特段の活動はなかった) ■愛媛県南予、伊予灘 5月1日、5月6日～7日、5月12日、 5月14日～16日、5月20日～22日、 5月26日、5月28日～30日、 6月1日～6月3日 6月5日～(継続中) ■愛媛県南予、豊後水道 5月26日、6月3日～6月5日	■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 5月12日 5月26日 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 5月2日 5月14日 ■奈良県 5月6日～7日 5月26日 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 5月12日～16日 5月30日～31日 6月4日～(継続中)	■長野県南部 (特段の活動はなかった) ■愛知県東部、愛知県西部 (特段の活動はなかった)

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

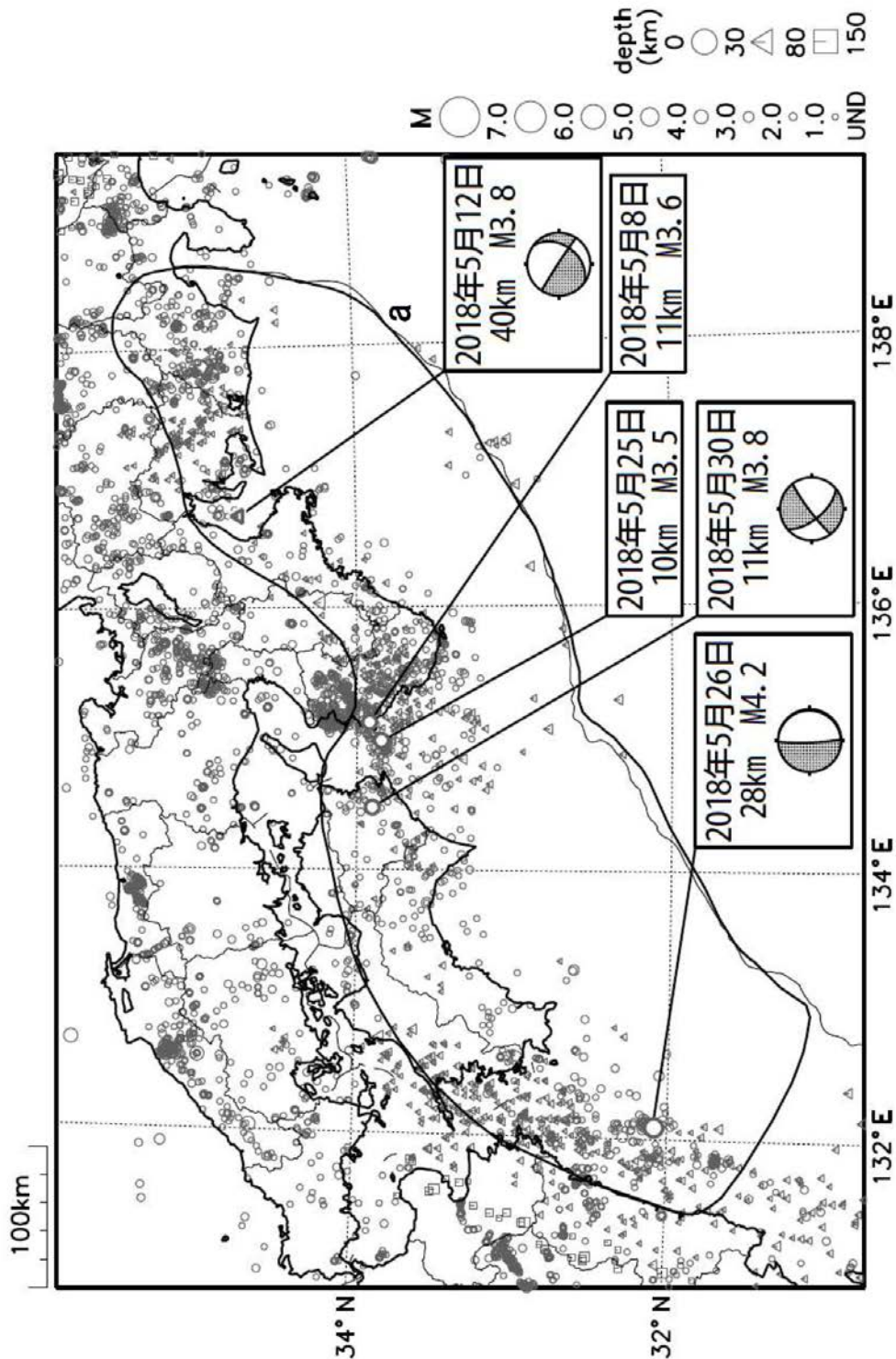
※深部低周波地震（微動）活動は、次々頁の震央分布図に示している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

※6月6日以降の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

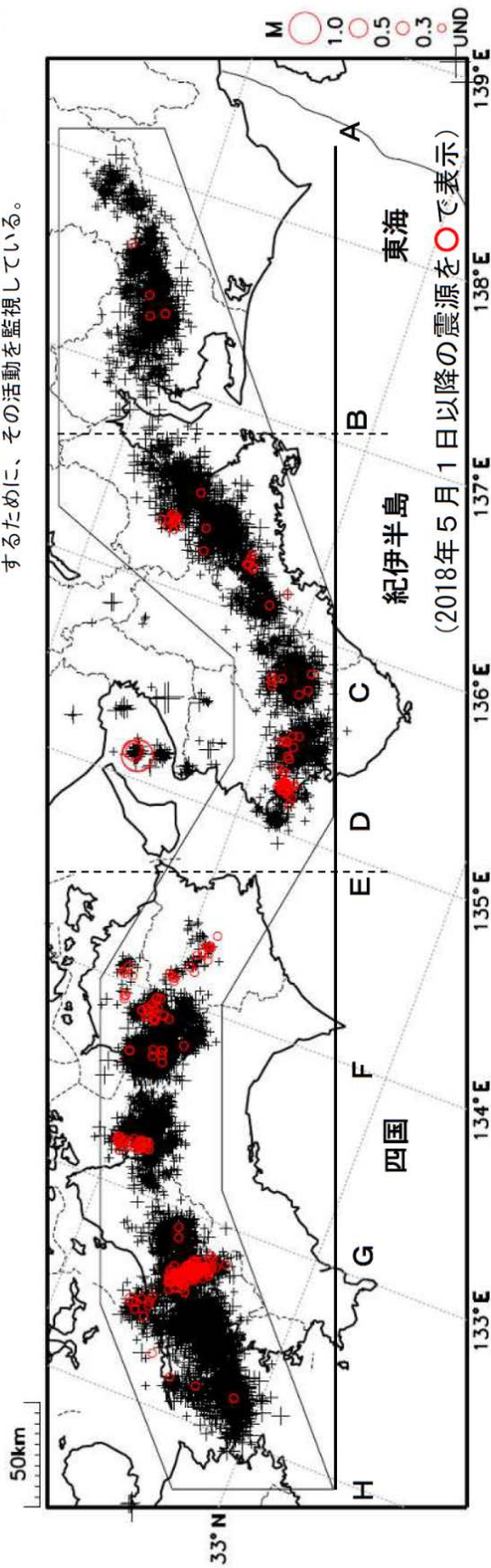
南海トラフ沿いとその周辺の広域地震活動(2018年5月1日～2018年5月31日)



・図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域(領域a内)で最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震、それ以外(領域a内以外)の陸域M5.0以上・海域M6.0以上とその他の主な地震。
 ・震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
 ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

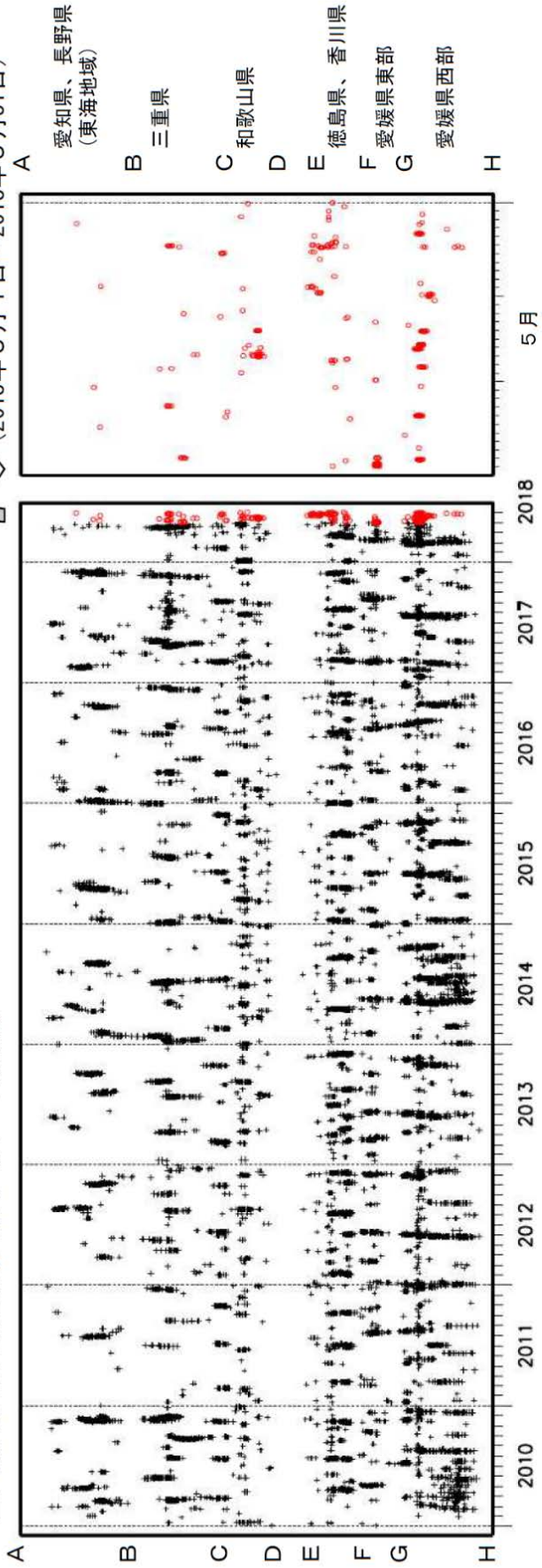
気象庁作成

深部低周波地震 (微動) 活動 (2010年1月1日～2018年5月31日) 深部低周波地震 (微動) は、「短期的ゆっくりすり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。



上図領域内の時空間分布図 (A—H 投影)

(2018年5月1日以降の震源を○で表示)
(2018年5月1日～2018年5月31日)



※2018年3月22日から、深部低周波地震 (微動) の処理方法の変更 (Matched Filter法の導入) により、それ以前と比較して検知能力が変わっている可能性がある。

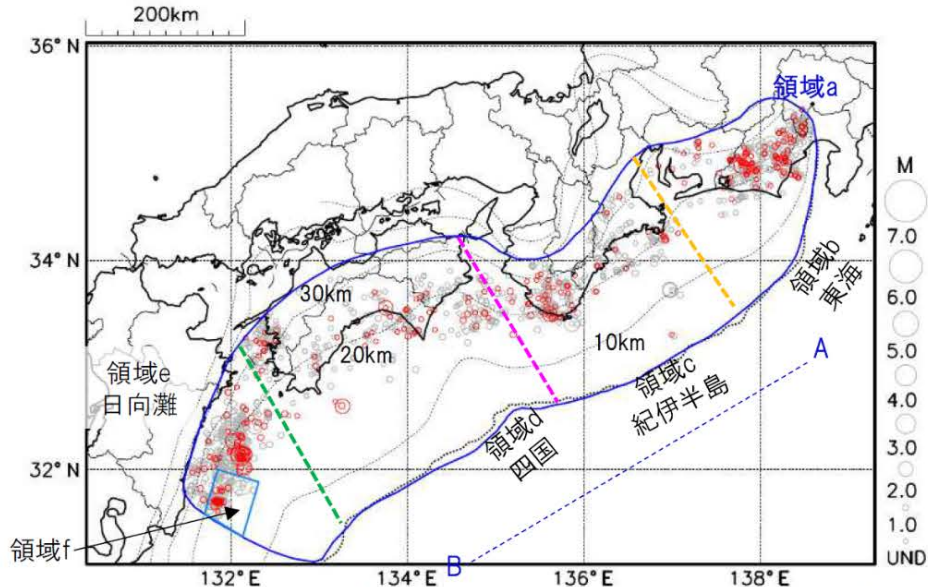
気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

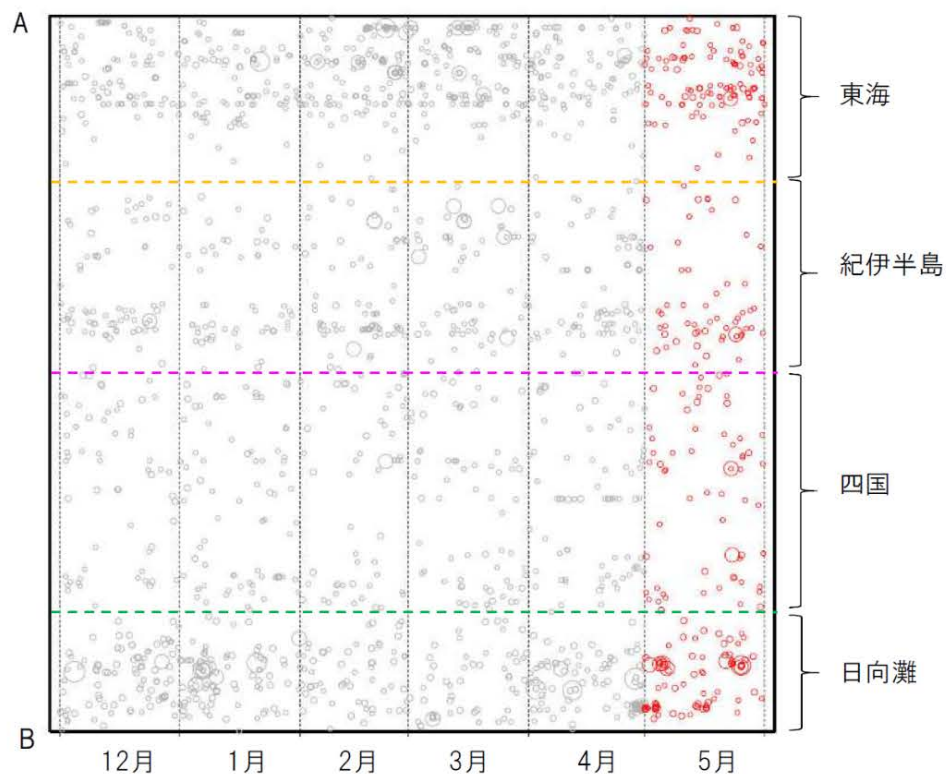
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

(2017年12月1日～2018年5月31日、M全て、2018年5月の地震を赤く表示)



領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図(A-B投影)



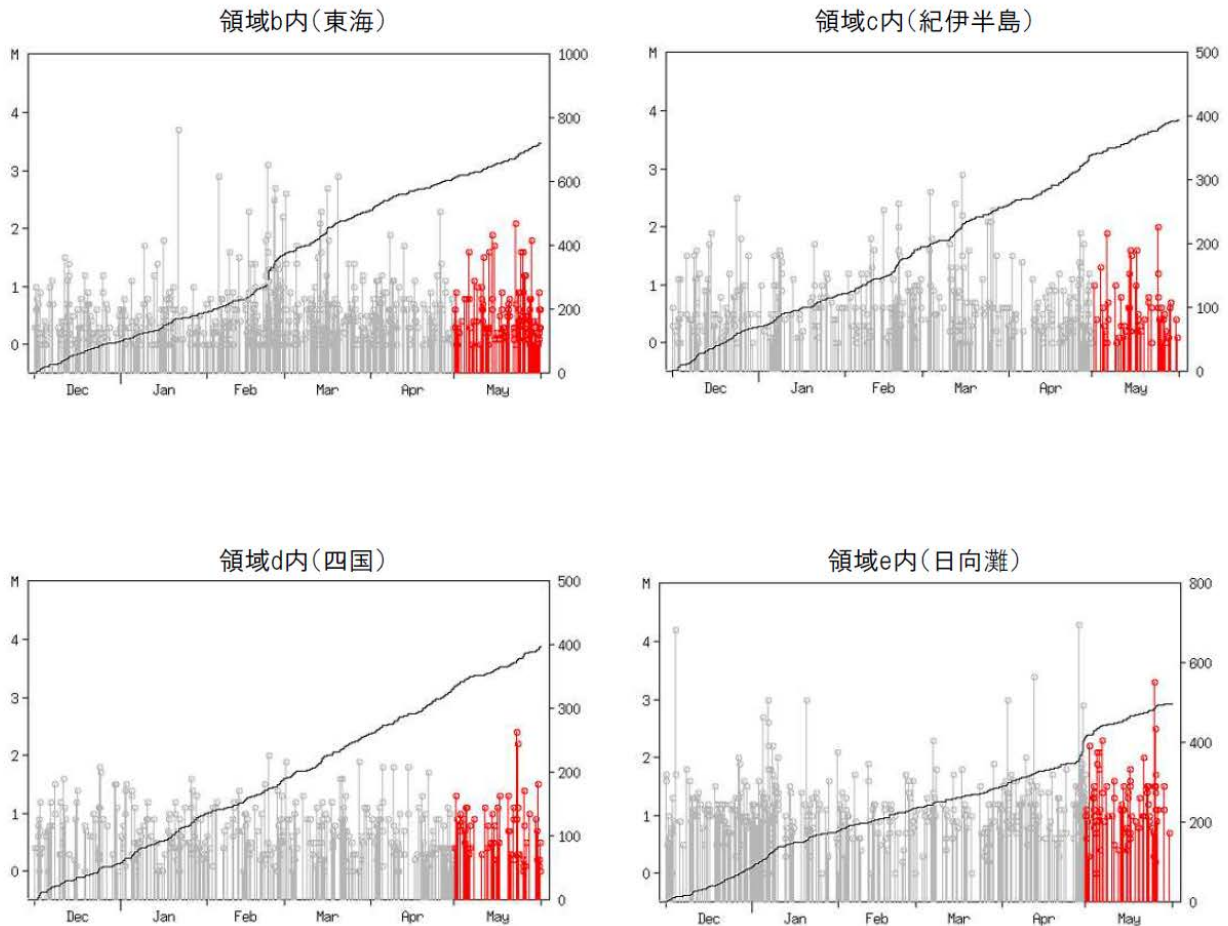
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域f内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

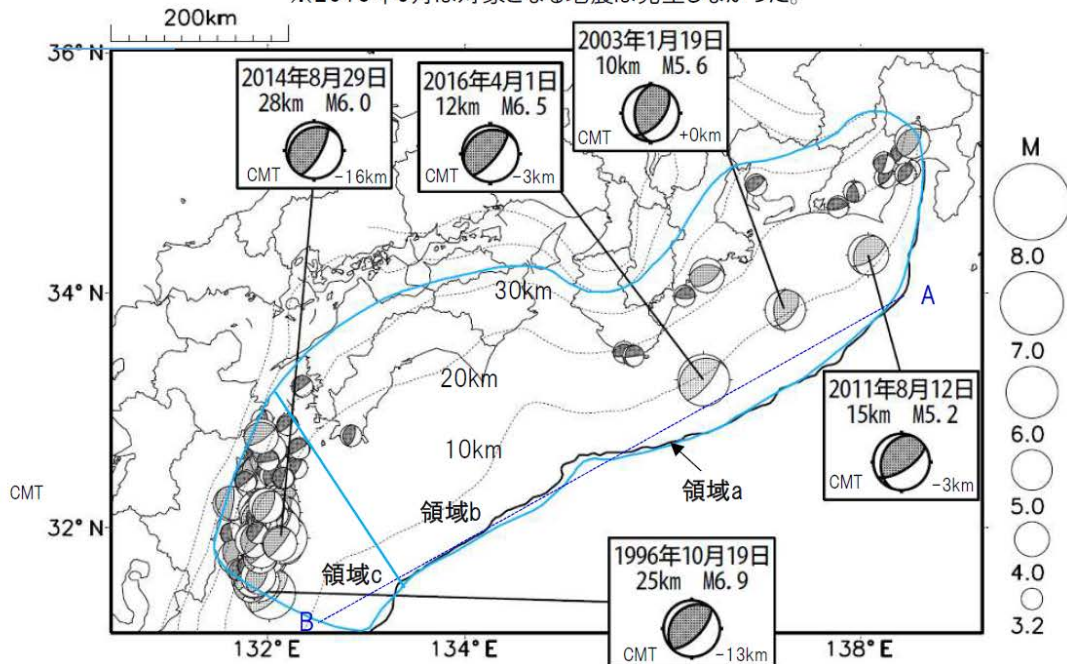


※回数積算図は参考として表記している。M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図の傾きと実際の地震活動の活発化・静穏化とは必ずしも一致しないことがある。

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2018年5月31日、 $M \geq 3.2$ 、2018年5月の地震を赤く表示)

※2018年5月は対象となる地震は発生しなかった。



・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。

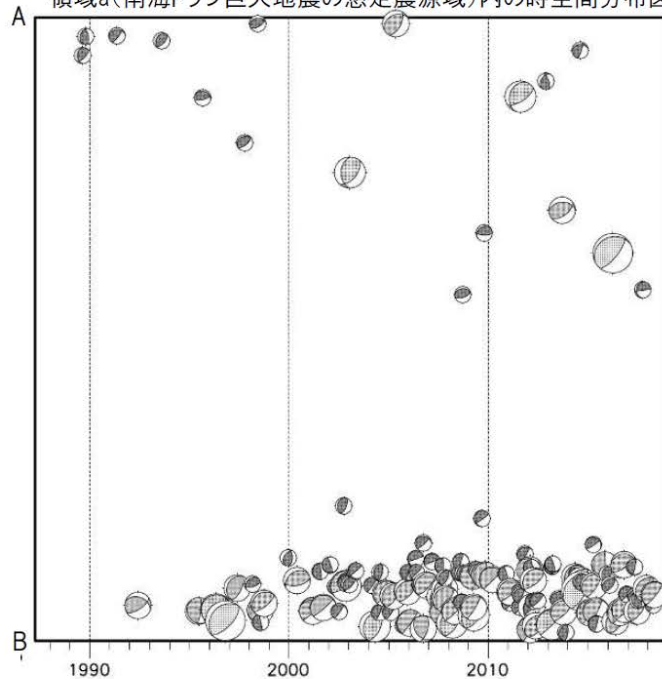
・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。

・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。

・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

領域a(南海トラフ巨大地震の想定震源域)内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。

P軸の傾斜角が45度以下

P軸の方位角が65度以上180度以下(※)

T軸の傾斜角が45度以上

N軸の傾斜角が30度以下

※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様

・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。

・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。

・東海地方から四国地方(領域b)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域c)は、+10km～-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2018年5月31日

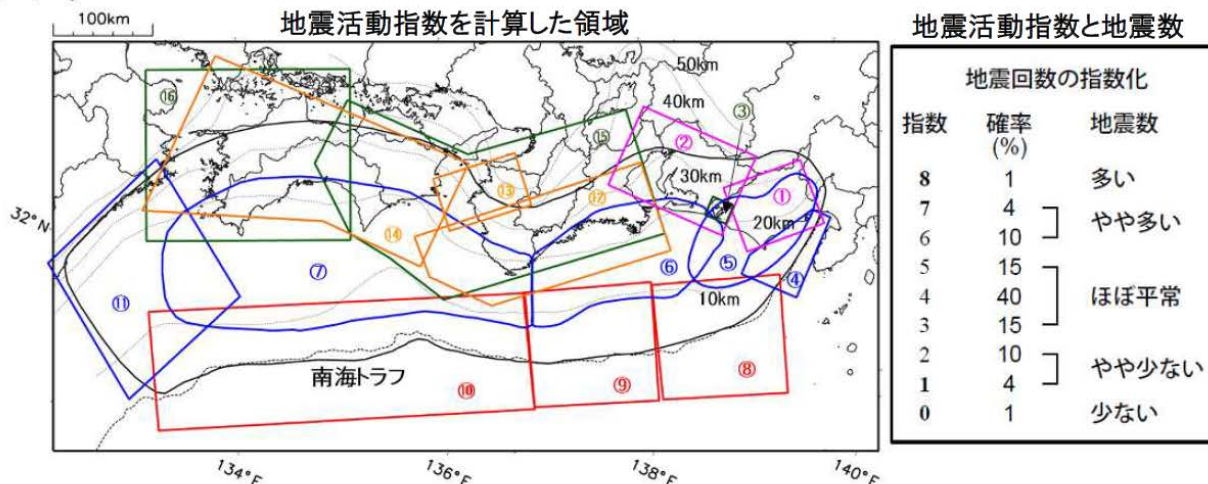
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	7	5	6	2	2	2	5	5	2
平均回数	16.2	18.4	26.4	13.6	13.0	13.4	18.2	20.0	21.5
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離	3km		3km		3km	10km	10km	10km
	日数	7日		7日		7日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側						
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	4	5	2	4	1	1	4	2
平均回数	11.5	15.1	20.6	23.1	42.4	29.9	27.5	28.0
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離	10km	10km	10km	3km	3km	3km	3km
	日数	10日	10日	10日	7日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2018年5月31日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



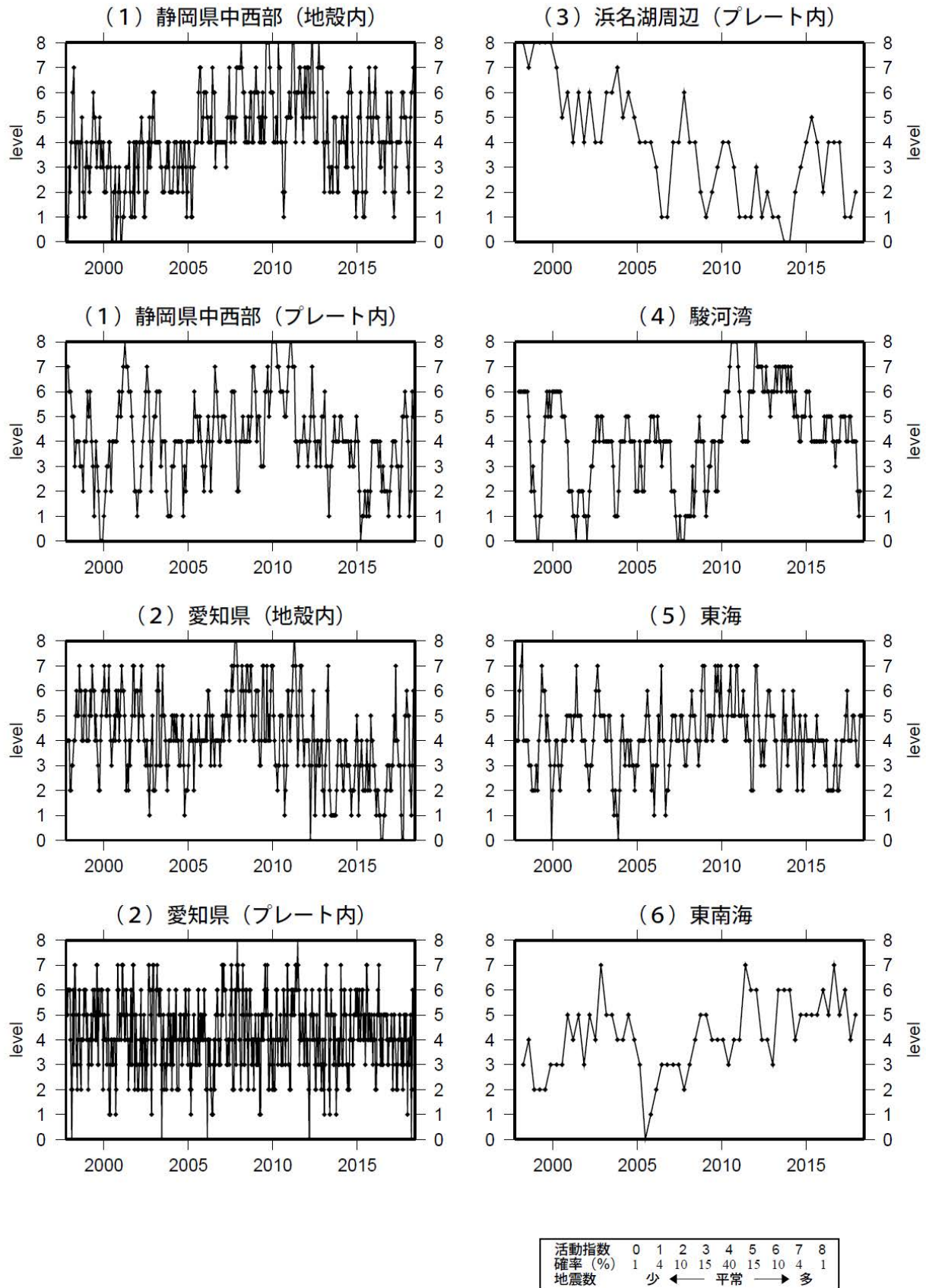
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

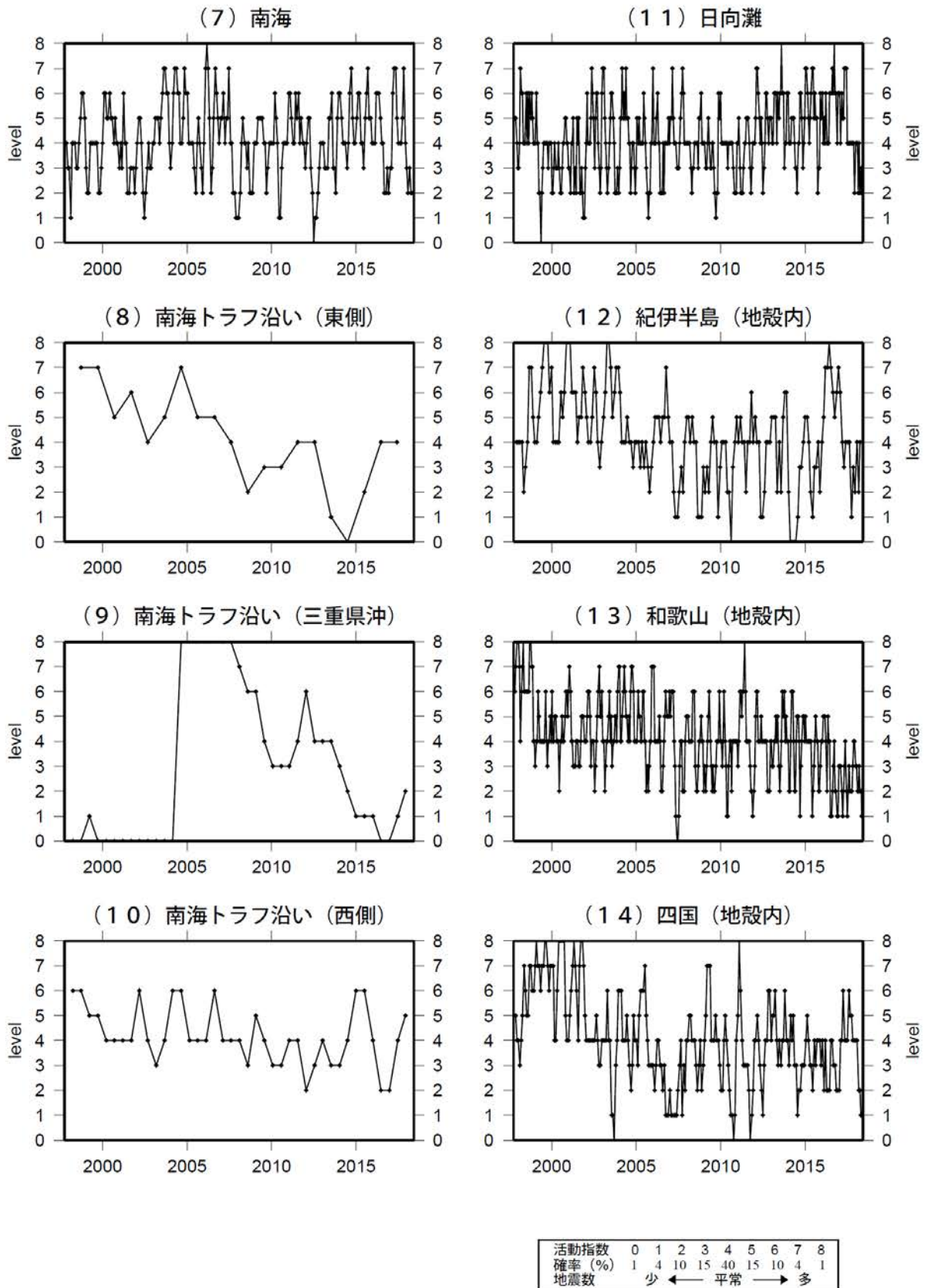
2018年05月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

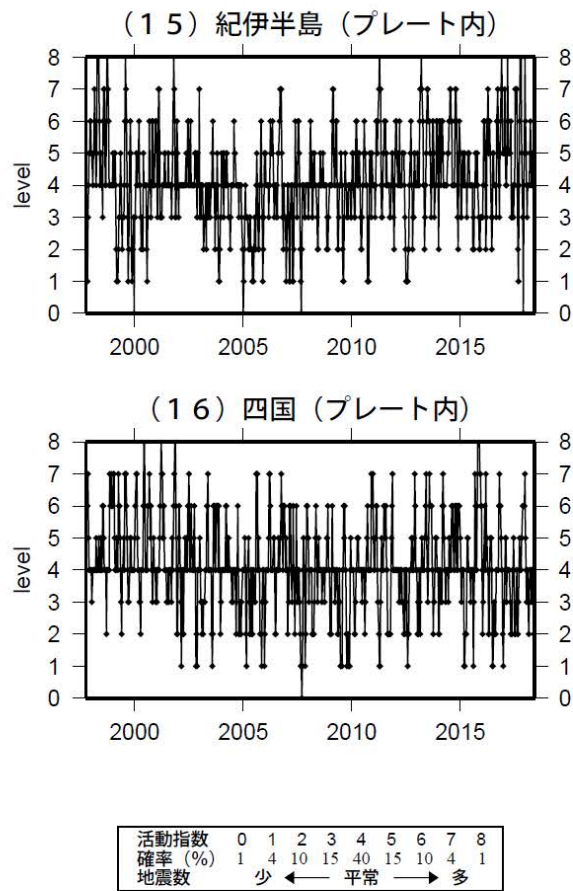
2018年05月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2018年05月31日



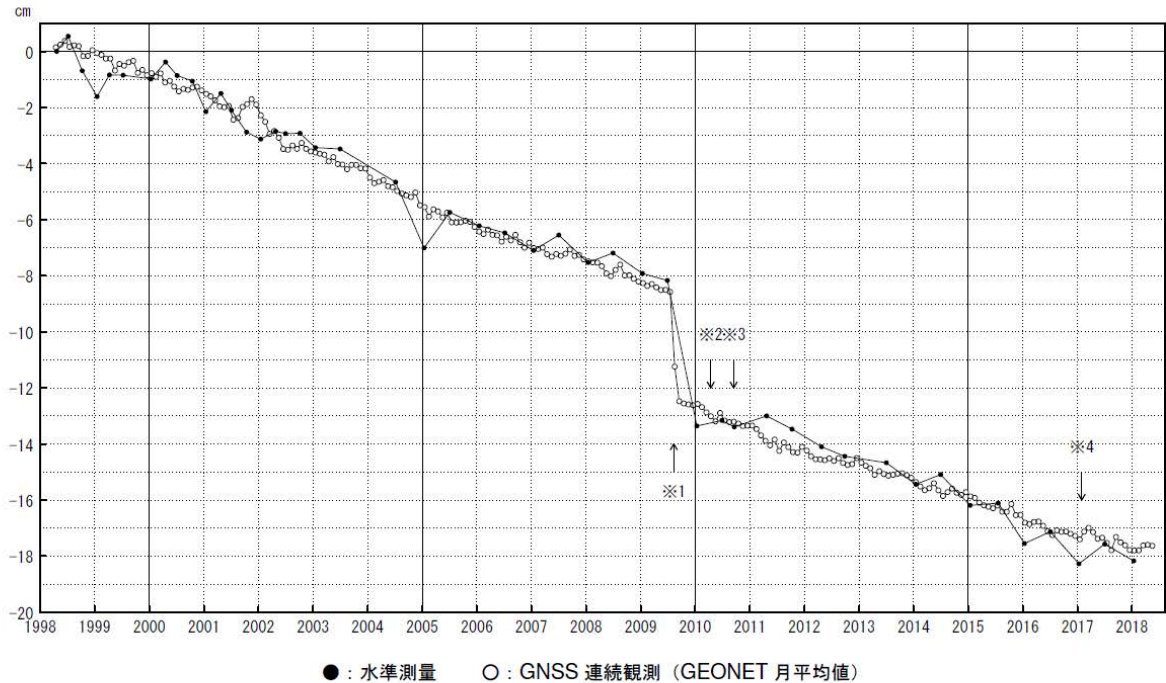
気象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

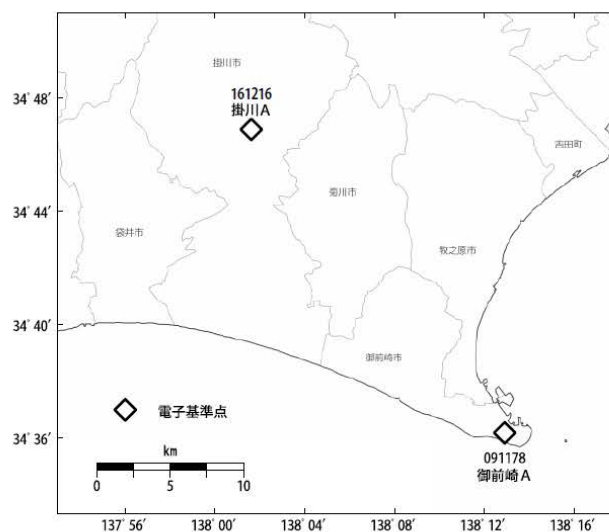
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 05/01～05/12 の平均。

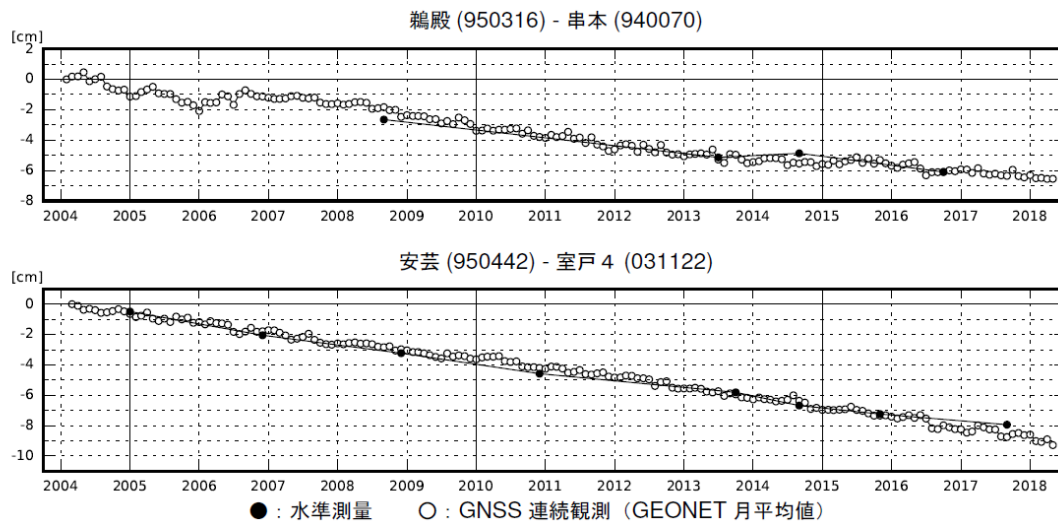
- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※ 4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



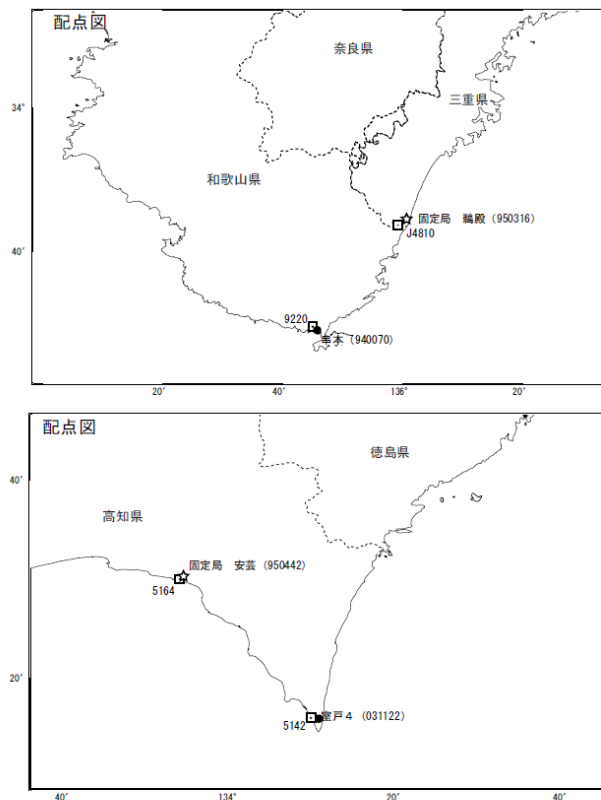
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

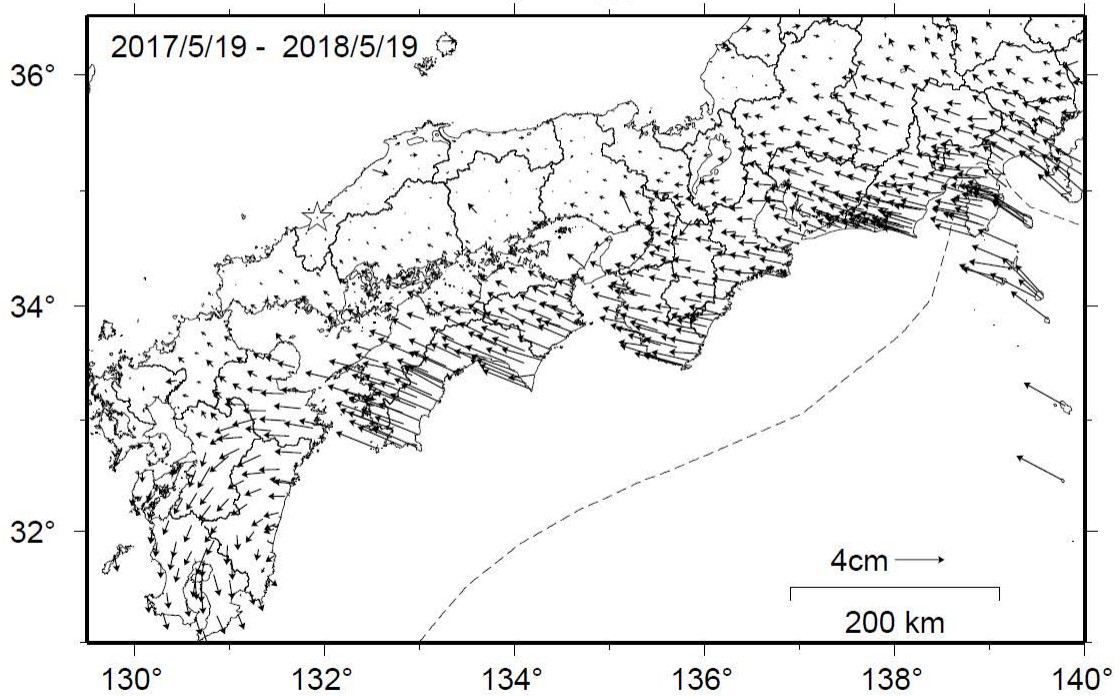


- ・ 最新のプロット点は 5/1～5/12 の平均.
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している.

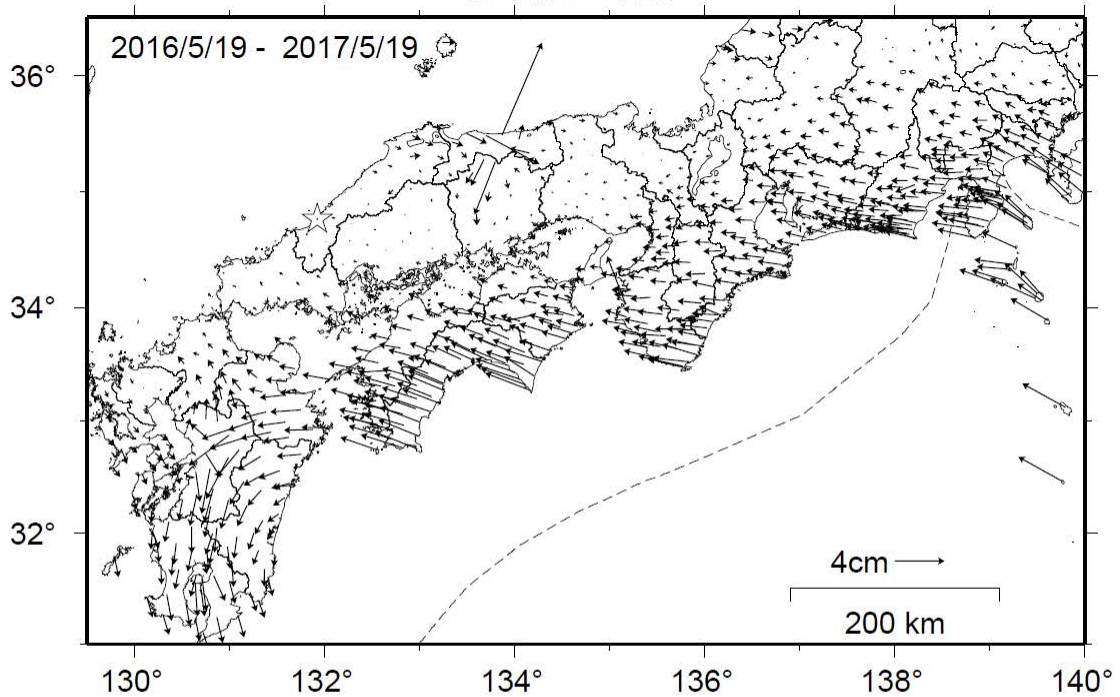


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



国土地理院

全国月間火山概況 (平成 30 年 5 月)

霧島山（新燃岳）では、14日に噴火が発生し、多量の噴煙が火口縁上4,500mまで上がりました。火口直下を震源とする火山性地震は概ね多い状態で経過し、14日の噴火発生後には一時的に急増しました。弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね3kmまで、火砕流が概ね2kmまで達する可能性があります。そのため、火口から概ね3kmの範囲では警戒してください。

桜島の南岳山頂火口では、噴火が96回発生しました。昭和火口では、噴火は観測されていません。GNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部への膨張を示す基線の伸びは2018年3月頃から鈍化しているものの、地下深部へのマグマの供給は継続していると考えられ、今後も南岳山頂火口を中心に噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

草津白根山（白根山（湯釜付近））では、4月21日頃に湯釜付近を震源とする火山性地震が増加し、その後も増減を繰り返しながら地震活動は継続しており、地震活動開始とほぼ同時期から、わずかな地殻変動が観測されています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

草津白根山（本白根山）では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山鏡池付近から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

浅間山では、山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震の活動は、やや多い状態が続いているものの、2018年3月頃から徐々に減少傾向がみられています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、4月27日以降、噴火は観測されていませんが、活発な噴気活動が続いています。今後想定される噴火の規模から警戒の必要な範囲は硫黄山から概ね1kmの範囲と判断し、1日14時00分に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

口永良部島では、火山性地震は概ね多い状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も2014年8月の噴火前の水準には低下しておらず、火山活動はやや高まった状態となっており、引き続き小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

諏訪之瀬島の御岳火口では、爆発的噴火が2回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

表1 平成30年5月31日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、白山、箱根山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆島、嶺南岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺、新燃岳及び御鉢以外）、米丸・住吉池、若草、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ペルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

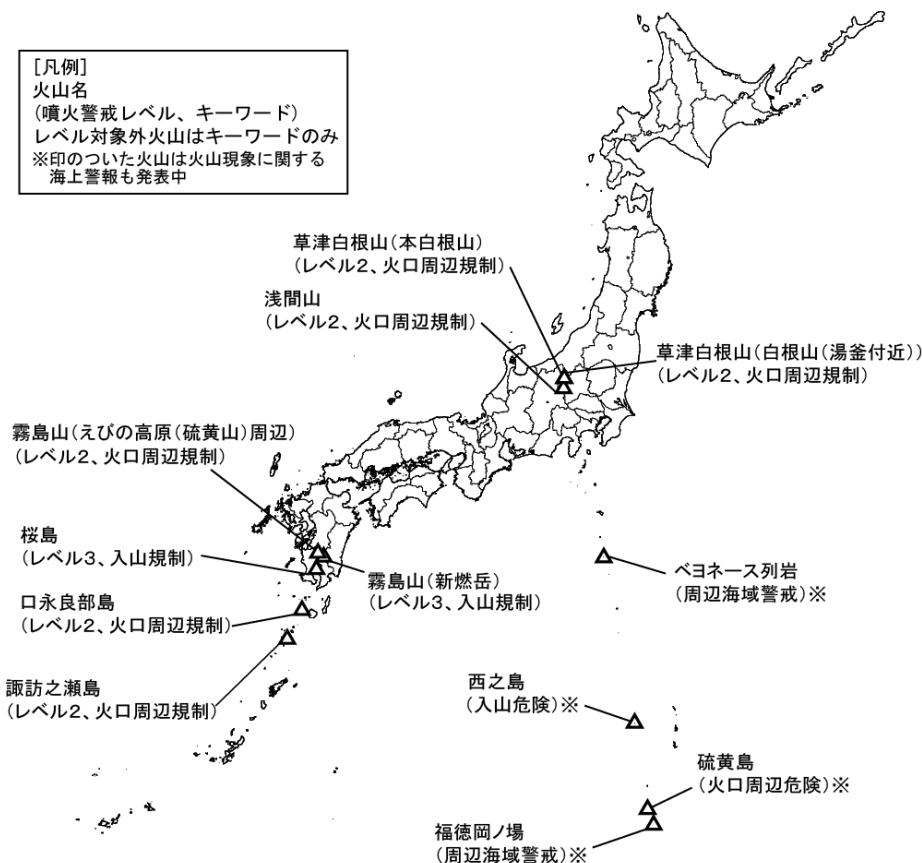


図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

4月21日頃に湯釜付近を震源とする火山性地震が増加し、その後も増減を繰り返しながら地震活動は継続しています。また、地震活動開始とほぼ同時期の4月21日頃から、わずかな地殻変動が続いています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石¹⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石¹⁾が風に流されて降るため注意してください。

草津白根山（本白根山）[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

山頂直下のごく浅い所を震源とする体に感じない火山性地震の活動は、やや多い状態が続いているものの、2018年3月頃から徐々に減少傾向がみられています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

ベヨネース列岩 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

第三管区海上保安本部が28日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島 [火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

西之島では、2017年8月11日以降山頂火口からの噴火は確認されていません。しかし、噴火活動が2013年から2015年まで継続した後、休止期間を挟んで2017年4月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS²⁾連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海

底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引下げ

えびの高原の硫黄山では4月27日以降、噴火は観測されていませんが、活発な噴気活動が続いています。えびの高原周辺で繰り返し実施した現地調査では、活発な噴気活動や周辺の沢で白濁した泥水が流れているのを確認しています。また、硫黄山の南側の領域には湯だまりがみられています。

火山性地震は概ね少ない状態で経過しましたが、浅い所を震源とする低周波地震³⁾は引き続き時々発生しています。

硫黄山火口では、4月19日の噴火と同程度あるいはやや大きな噴火が発生して、大きな噴石を飛散させるおそれがあります。また、硫黄山の西側500m付近では、4月26日と同様な噴火により火山灰を噴出する可能性があります。

えびの高原（硫黄山）周辺では、5月1日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げる火口周辺警報を発表しました。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁴⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

霧島山（新燃岳）[火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

新燃岳では、14日14時44分に噴火が発生し、16時10分まで継続しました。多量の噴煙が火口縁上4,500mまで上がりました。

同日実施した現地調査及び聞き取りによる降灰調査では、宮崎県及び鹿児島県の一部で降灰を確認しました。

2日から3日にかけて、新燃岳火口の北側2km付近を震源とする火山性地震が増加し、2日は827回、3日は288回発生しました。2日の地震増加に伴い傾斜変動が観測されましたが、同日23時頃には停滞しました。

火口直下を震源とする火山性地震は概ね多い状態で経過し、14日の噴火発生後には一時的に急増しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。火山性微動は14日の噴火に伴い発生するなど時々発生しました。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線で、3月中旬以降、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びがみられていましたが、5月上旬から一部の基線でその伸びは鈍化しています。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね3kmまで、火砕流⁵⁾が概ね2kmまで達する可能性があります。そのため、火口から概ね3kmの範囲では警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011年と同様に爆発的噴火⁶⁾に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、噴火⁷⁾が96回発生し、このうち爆発的噴火は48回でした。24日19時37分の爆発的噴火では、噴煙は火口縁上3,200mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。

また、同火口では夜間に高感度の監視カメラで火映⁸⁾を時々観測しました。

昭和火口では、噴火は観測されていません。

GNSS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部への膨張を示す基線の伸びは2018年3月頃から鈍化しているものの、地下深部へのマグマの供給は継続していると考えられます。

桜島では南岳山頂火口を中心に、引き続き噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき⁴⁾）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してく

さい。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

口永良部島では、2015年6月19日のごく小規模な噴火以降、噴火は発生していません。新岳火口の西側割れ目付近には依然として高温の熱異常域が存在するものの、温度は低下傾向が続いています。

また、新岳火口を挟むGNSSの基線では、2016年1月頃から緩やかな縮み傾向がみられています。

火山性地震は概ね多い状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量⁹⁾も2014年8月の噴火前の水準には低下しておらず、火山活動はやや高まった状態となっています。引き続き小規模な噴火の可能性あります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、爆発的噴火が2回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

(火山の順は活火山総覧（第4版）による)

- 1) 噴石は、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 3) 火山性地震のうち、P波、S波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に1～3Hzの低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 4) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 5) 火砕流とは、火山灰や岩塊、火山ガスや空気が一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十kmから時速百km以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 6) 霧島山・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。
- 7) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 8) 赤熱した溶岩や高温のガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象です。
- 9) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ (平成30年5月31日現在)

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年9月29日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日噴火予報 (平常) 2008年11月17日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2015年7月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年11月13日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	大雪山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年12月16日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月16日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2015年2月24日噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年10月1日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2008年6月9日噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年3月23日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	岩木山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
東北地方	秋田焼山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2013年7月25日噴火予報 (レベル1、平常)
	八甲田山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	十和田	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年10月27日噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2018年3月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	栗駒山	噴火予報 (活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2015年4月13日火口周辺警報 (火口周辺危険) 2015年6月16日噴火予報 (活火山であることに留意) 2016年7月26日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年1月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年3月6日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年12月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年10月18日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報 (平常) 2009年3月31日噴火予報 (レベル1、平常)

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2018年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年1月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年6月26日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2013年10月22日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年5月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2017年10月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年10月11日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2017年10月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2017年10月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2018年3月15日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2018年2月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年3月15日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報(レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報(レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

平成30年5月 地震・火山月報(防災編)

(2) その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

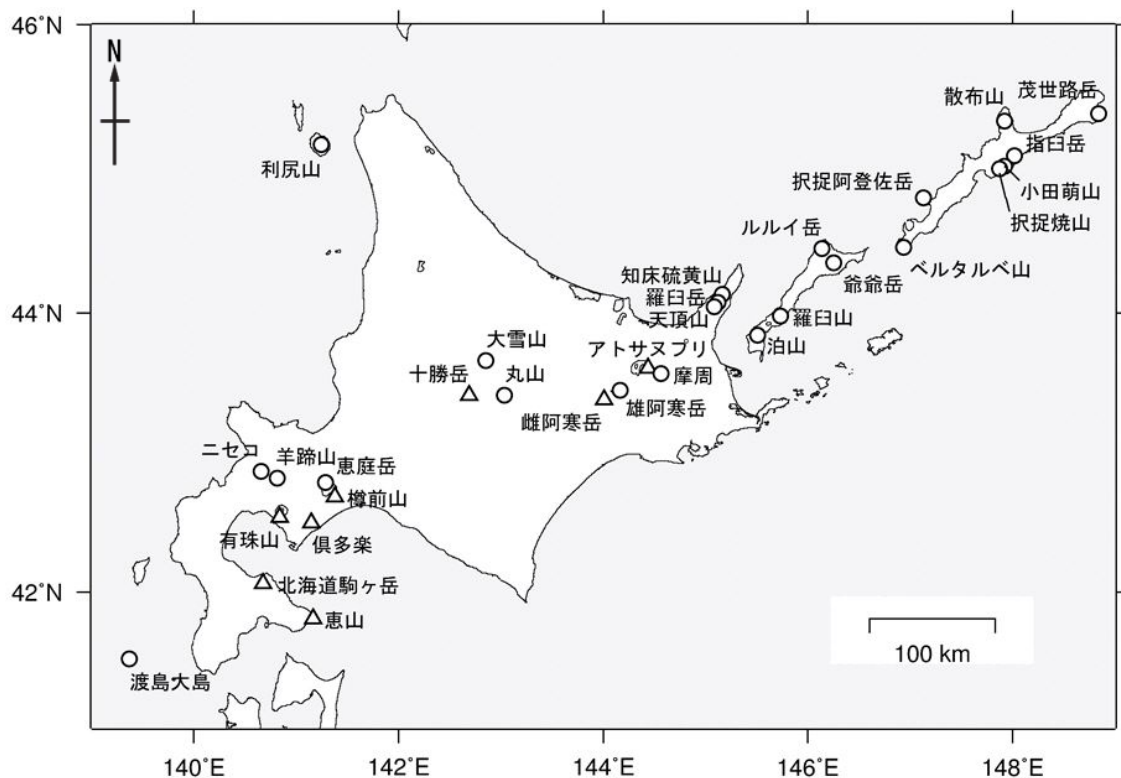
注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

管内月間火山概況 (平成30年5月)

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (5月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	アトサヌプリ、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例
 ▲：噴火警戒レベル対象火山
 ●：噴火警戒レベル対象外の火山
 △：噴火警報発表中
 ○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号 平29情使、第798号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

摩周〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

十勝岳では、2006年以降、山体浅部の膨張が継続する中で、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加等、火山活動の活発化を示唆する現象を観測していますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

管内月間火山概況（平成 30 年 5 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（5月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報事項の状況は以下のとおりで、予報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

14日に男女岳山頂付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しました。その他の観測データに特段の変化は認められませんでした。

女岳では地熱活動が続いています。また、火山性地震の増加が時々みられ、2018年2月から4月にかけて火山性微動と低周波地震¹⁾が発生したことから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



栗駒山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013 年以降、火山性地震や火山性微動が時々発生し、地殻変動に変化がみられるなど、火山活動の高まりがみられることがありますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

馬の背カルデラ内の丸山沢や振子沢では噴気や火山ガスの噴出等がみられます。異変を感じた際には速やかにカルデラから離れてください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

11 日に実施した現地調査では、大穴火口周辺で大きな変化は認められませんでした。2017 年 6 月頃から地熱域の拡大の可能性があった大穴火口外の北側で、地熱域のわずかな拡大を確認しました。その他の火山活動に特段の変化はありませんでした。

大穴火口付近での熱活動は継続していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

入山する際には、火山ガスに注意してください。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

8 日から 9 日にかけて山頂付近を震源とする火山性地震が一時的に増加しましたが、地震活動以外の火山活動に特段の変化は認められません。

山体北側火口や沼ノ平付近では、従来から噴気や火山ガスの噴出等がみられます。ヘルメットの携行や立ち入り規制等地元自治体の示す指示に従ってください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

- 1) 火山性地震のうち、P 波、S 波の相が不明瞭で、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられ、主に 1 ～ 3 Hz の低周波成分が卓越した地震です。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

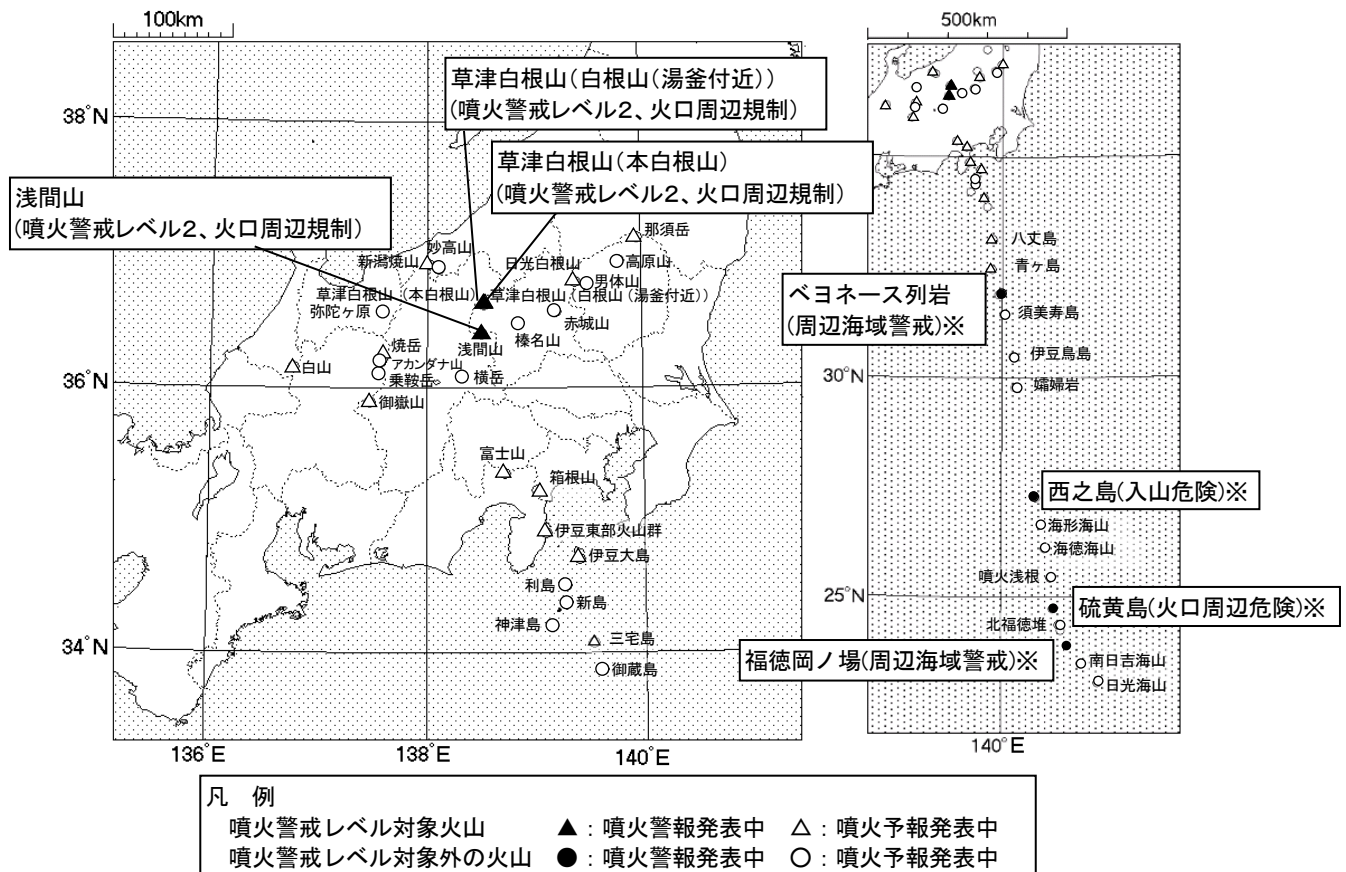
管内月間火山概況 (平成 30 年 5 月)

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (5月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2 (火口周辺規制)	草津白根山 (白根山 (湯釜付近))、草津白根山 (本白根山)、浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報 (周辺海域)	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	那須岳、日光白根山、新潟焼山、焼岳、御嶽山白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

八丈島及び青ヶ島では、30日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）を發表しました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

4月21日頃に湯釜付近を震源とする火山性地震が増加し、その後も増減を繰り返しながら地震活動は継続しています。また、地震活動開始とほぼ同時期の4月21日頃から、わずかな地殻変動が続いています。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石¹⁾に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石¹⁾が風に流されて降るため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

本白根山では、火口付近の地震活動が継続しています。

1月23日と同様な噴火が発生する可能性は否定できません。本白根山の火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山頂直下のごく浅い所を震源とする体を感じない火山性地震の活動は、やや多い状態が続いているものの、2018年3月頃から徐々に減少傾向がみられています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性がありますので、山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。登山者等は地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。また、風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移には注意してください。山頂から半径1km以内（想定火口内）では、地元自治体等により立入規制が実施されています。登山者等は地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2017年8月上旬に、規模は小さいながらも低周波地震とともに噴気が観測されました。その後、低周波地震は観測されていませんが、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

乗鞍岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

一方、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調で、顕著な地殻変動は観測されていませんが、大涌谷周辺の想定火口域では、噴気活動が活発なところがあります。大涌谷周辺の想定火口域では、噴気や火山ガスに引き続き注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量²⁾ は、2016 年 6 月以降は 1 日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火孔における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕 ←30 日に噴火警戒レベル運用開始

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30 日の噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕 ←30 日に噴火警戒レベル運用開始

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30 日の噴火警戒レベル運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

第三管区海上保安本部が 28 日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部は確認されませんでした。

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物

(軽石等) に注意してください。

西之島[火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報]

西之島では、2017年8月11日以降山頂火口からの噴火は確認されていません。しかし、噴火活動が2013年から2015年まで継続した後、休止期間を挟んで2017年4月に再開した経緯を踏まえると、今後も噴火が再開する可能性が考えられます。火口から概ね1.5kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

硫黄島[火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

火山性地震はやや少ない状態で経過しています。GNSS³⁾ 連続観測によると、地殻変動は隆起及び停滞を繰り返しています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場[噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 噴石について、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 2) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた水蒸気や二酸化硫黄、硫化水素など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマが浅部へ上昇するとその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 3) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

管内月間火山概況（平成 30 年 5 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

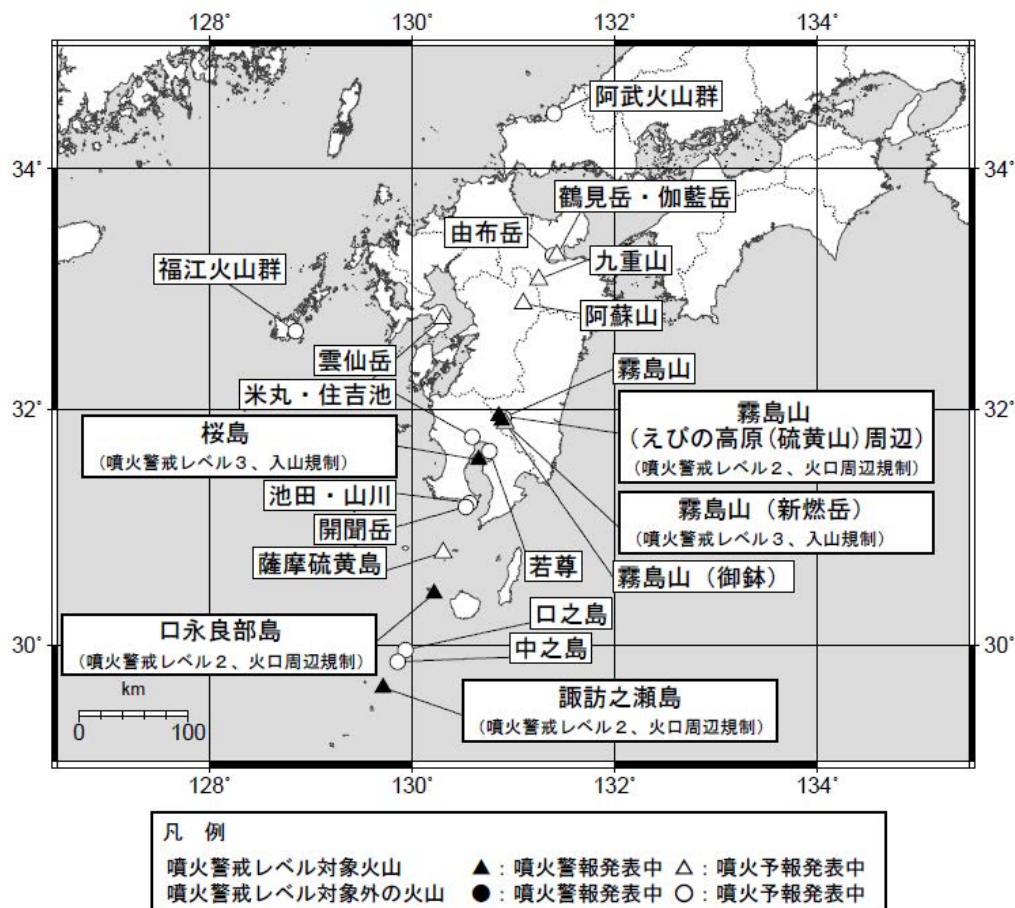
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

管内月間火山概況 (平成 30 年 5 月)

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (5月31日現在)

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3 (入山規制)	霧島山 (新燃岳)、桜島
	レベル2 (火口周辺規制)	霧島山 (えびの高原 (硫黄山) 周辺)、 口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1 (活火山であることに留意)	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、 霧島山 (御鉢)、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、 霧島山、米丸・住吉池、 若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号: 平 29 情使、第 798 号)。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）では、1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、2017年6月頃からB型地震¹⁾が時折発生しており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性微動の振幅は概ね小さい状態で経過しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量²⁾は、1日あたり400～800トンとやや少ない状態で経過しました。

引き続き中岳第一火口内に緑色の湯だまり³⁾を確認し、湯だまり量は前月同様、中岳第一火口底の10割でした。

孤立型微動⁴⁾は、概ねやや少ない状態でしたが、17日以降やや多い状態で経過しました。

火山性地震は少ない状態でしたが、15日以降多い状態で経過しました。

傾斜計⁵⁾及びGNSS⁶⁾連続観測では、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

火口内では土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

←1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引下げ

えびの高原の硫黄山では4月27日以降、噴火は観測されていませんが、活発な噴気活動が続いています。えびの高原周辺で繰り返し実施した現地調査では、活発な噴気活動や周辺の沢で白濁した泥水が流れているのを確認しています。また、硫黄山の南側の領域には湯だまりがみられています。

火山性地震は概ね少ない状態で経過しましたが、浅い所を震源とする低周波地震⁷⁾は引き続き時々発生しています。

硫黄山火口では、4月19日の噴火と同程度あるいはやや大きな噴火が発生して、大きな噴石を飛散させるおそれがあります。また、硫黄山の西側500m付近では、4月26日と同様な噴火により火山灰を噴出する可能性があります。

えびの高原（硫黄山）周辺では、5月1日に噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げる火口周辺警報を発表しました。

えびの高原の硫黄山から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石⁸⁾に警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石⁸⁾（火山れき⁹⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

新燃岳では、14日14時44分に噴火が発生し、16時10分まで継続しました。多量の噴煙が火口縁上4,500mまで上がりました。

同日実施した現地調査及び聞き取りによる降灰調査では、宮崎県及び鹿児島県の一部で降灰を確認しました。

2日から3日にかけて、新燃岳火口の北側2km付近を震源とする火山性地震が増加し、2日は

827 回、3 日は 288 回発生しました。2 日の地震増加に伴い傾斜変動が観測されましたが、同日 23 時頃には停滞しました。

火口直下を震源とする火山性地震は概ね多い状態で経過し、14 日の噴火発生後には一時的に急増しました。浅い所を震源とする低周波地震も時々発生しています。火山性微動は 14 日の噴火に伴い発生するなど時々発生しました。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む基線で、3 月中旬以降、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びがみられていましたが、5 月上旬から一部の基線でその伸びは鈍化しています。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が火口から概ね 3 km まで、火砕流¹⁰⁾ が概ね 2 km まで達する可能性があります。そのため、火口から概ね 3 km の範囲では警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011 年と同様に爆発的噴火¹¹⁾ に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。また、地元自治体等が発表する火山ガスの情報にも留意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

きりしまやま おはち
霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内で噴気や火山灰、火山ガス等の規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま
桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

桜島では、活発な噴火活動が継続しています。

南岳山頂火口では、噴火¹²⁾ が 96 回発生し、このうち爆発的噴火は 48 回でした。24 日 19 時 37 分の爆発的噴火では、噴煙は火口縁上 3,200m まで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 5 合目（南岳山頂火口より 1,000m から 1,300m）まで達しました。

また、同火口では夜間に高感度の監視カメラで火映¹³⁾ を時々観測しました。

昭和火口では、噴火は観測されていません。

GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部への膨張を示す基線の伸びは 2018 年 3 月頃から鈍化しているものの、地下深部へのマグマの供給は継続していると考えられます。

桜島では南岳山頂火口を中心に、引き続き噴火活動が継続すると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつま いおうじま
薩摩 硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

5 月 27 日に実施した現地調査では、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は 1 日あたり 1,500 トンとやや多い状態でした。

GNSS 連続観測などその他の観測データでは、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火山灰等が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体を実施している立入規制等に留意してください。

くちの えらぶじま
口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

口永良部島では、2015 年 6 月 19 日のごく小規模な噴火以降、噴火は発生していません。新岳火口の西側割れ目付近には依然として高温の熱異常域が存在するものの、温度は低下傾向が続いています。

また、新岳火口を挟む GNSS の基線では、2016 年 1 月頃から緩やかな縮み傾向がみられています。

火山性地震は概ね多い状態で経過しており、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も 2014 年 8 月の噴火前の水準には低下しておらず、火山活動はやや高まった状態となっています。引き続き小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳 火口では、爆発的噴火が 2 回発生するなど、活発な火山活動が継続しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山性地震のうち、P 波、S 波の相が不明瞭で、比較的周期が長く、火口周辺の比較的浅い場所で発生する地震と考えられています。火道内の火山ガスの移動やマグマの発泡など火山性流体の動きで発生すると考えられています。B 型地震の増加は、山体浅部の火山活動の活発化を意味していることから発生状況には注意が必要です。
- 2) 火口から放出される火山ガスには、マグマに溶けていた二酸化硫黄、硫化水素や水蒸気など様々な成分が含まれており、これらのうち、二酸化硫黄はマグマの蓄積の増加や浅部への上昇等でその放出量が増加します。気象庁では、二酸化硫黄の放出量を観測し、火山活動の評価に活用しています。
- 3) 活動静穏期の中岳第一火口には、地下水などを起源とする約 40～60℃の緑色の湯がたまっており、これを湯だまりと呼んでいます。火山活動が活発化するにつれ、湯だまり温度が上昇・噴湯して湯量の減少や濁りがみられ、その過程で土砂を噴き上げる土砂噴出現象等が起こり始めることが知られています。
- 4) 阿蘇山特有の微動で、火口直下のごく浅い場所で発生しており、周期 0.5～1.0 秒、継続時間 10 秒程度で、中岳西山腹観測点の南北動の振幅が 5 $\mu\text{m/s}$ 以上のものを孤立型微動としています。通常、一日あたり 50～100 回発生しています。
- 5) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。1 μradian （マイクロラジアン）は 1 km 先が 1 mm 上下するような変化です。
- 6) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。
- 7) 浅い場所を震源とする主に 1～3 Hz の低周波成分が卓越した火山性地震（B 型地震）です。火山によっては、過去の事例から、火山活動が活発化すると多発する傾向がある事が知られています。
- 8) 噴石については、その大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 9) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。
- 10) 火砕流とは、火山灰や岩塊、空気や水蒸気为一体となって急速に山体を流下する現象です。火砕流の速度は時速数十 km から時速百 km 以上、温度は数百℃にも達することがあります。
- 11) 新燃岳・諏訪之瀬島では、火道内の爆発による地震を伴い、火口周辺の観測点で一定基準以上の空気の振動を観測した噴火を爆発的噴火としています。桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した噴火を爆発的噴火としています。
- 12) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的な噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m 以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 13) 赤熱した溶岩や高温の火山ガス等が、噴煙や雲に映って明るく見える現象です。

管内月間火山概況（平成 30 年 5 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

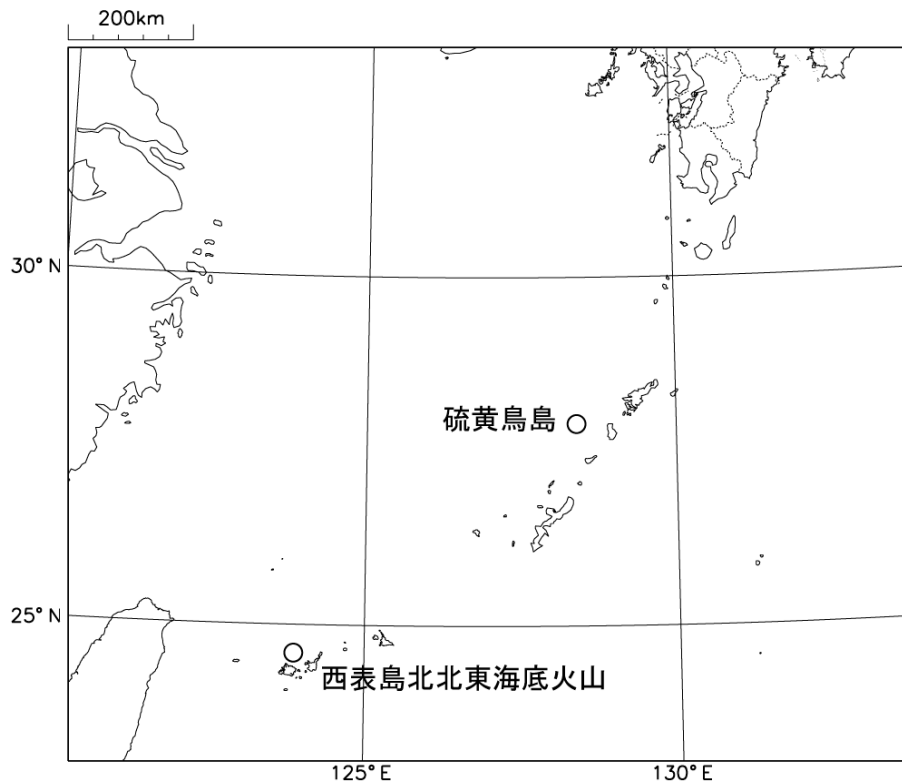
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

24 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空から観測では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

この資料は、第十一管区海上保安本部のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

表 平成30年5月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第69号～81号	2日 18時25分 2日 23時00分 3日 08時40分 3日 16時00分 4日 16時10分 7日 16時00分 11日 16時00分 14日 15時05分 14日 17時00分 18日、21日、25日、 28日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による降灰及び火山ガス等の状況。
			火山活動解説資料 14日 18時10分 15日 12時20分	
		降灰予報（速報）	14日 14時56分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	14日 15時10分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第34号～41号	1日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	4日 22時16分 10日 19時30分 12日 11時58分 14日 09時34分 15日 08時16分 15日 15時25分 16日 22時34分 24日 15時40分 24日 19時43分 24日 19時51分 25日 13時34分 25日 19時12分 25日 22時09分 29日 03時44分 30日 08時13分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	4日 22時36分 10日 19時48分 11日 15時54分 11日 18時50分 12日 12時16分 14日 09時47分 15日 08時34分 15日 15時36分 16日 22時44分 24日 16時02分 24日 20時02分 25日 13時53分 25日 19時28分 25日 22時20分 29日 04時00分 29日 07時30分 29日 09時20分 29日 12時33分 30日 08時28分 30日 08時58分 30日 11時45分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第74号～81号	4日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による地熱域等の状況。
草津白根山 (本白根山)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第74号～81号	4日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	噴気、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による地熱域等の状況。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第36号～43号	4日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	火口周辺警報	1日 14時00分	1日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)に引下げ。 噴気、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による熱異常域や泥水等の状況。
		火山活動解説資料	1日 14時00分 25日 16時30分	
		解説情報 第39号～48号	2日、4日、7日 16時00分 9日 16時15分 11日、14日、18日、 21日 16時00分 25日 16時10分 28日 16時00分	
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第34号～41号	1日、7日、11日、 14日、18日、21日、 25日、28日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
磐梯山	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	解説情報 第1号	8日 13時50分	8日から9日にかけて増加した火山性地震 の状況。
		火山活動解説資料	8日 17時00分	
八丈島	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	噴火予報	30日 14時00分	噴火警戒レベルの運用を開始。
青ヶ島	噴火予報(噴火警戒 レベル1、活火山で あることに留意)	噴火予報	30日 14時00分	噴火警戒レベルの運用を開始。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。草津白根山、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(新燃岳)、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。

●世界の主な地震

平成30年(2018年)5月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

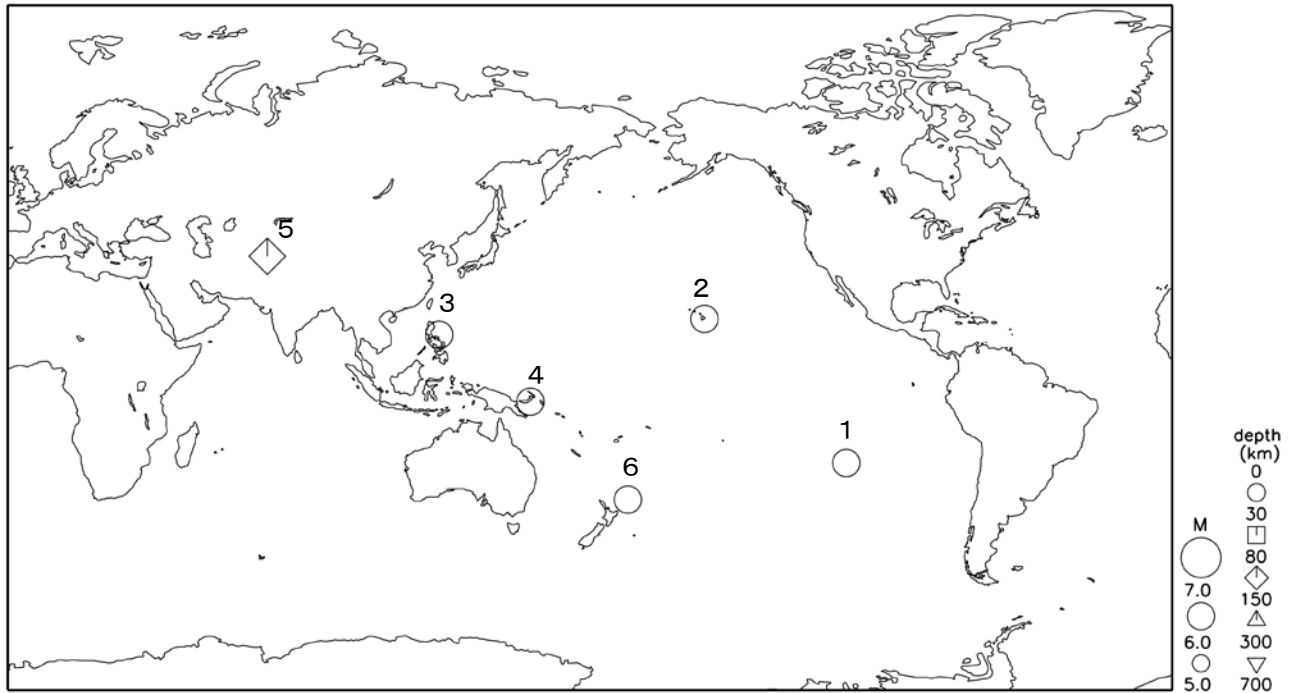


図1 平成30年(2018年)5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 平成30年(2018年)5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	02日15時32分	S24° 15.6'	W111° 39.2'	10			6.0	イースター島付近			
2	05日07時32分	N19° 18.8'	W154° 59.9'	2			(6.9)	ハワイ諸島			○
3	05日15時19分	N14° 34.2'	E123° 55.2'	18			6.1	フィリピン諸島 ルソン島			
4	09日16時57分	S05° 53.5'	E151° 47.8'	10			6.0	パプアニューギニアニューブリテン付近			
5	09日19時41分	N36° 59.4'	E071° 22.1'	112			6.2	アフガニスタンタジキスタン国境付近			
6	18日10時45分	S34° 33.1'	W178° 25.0'	11			6.2	ケルマデック諸島南方沖			

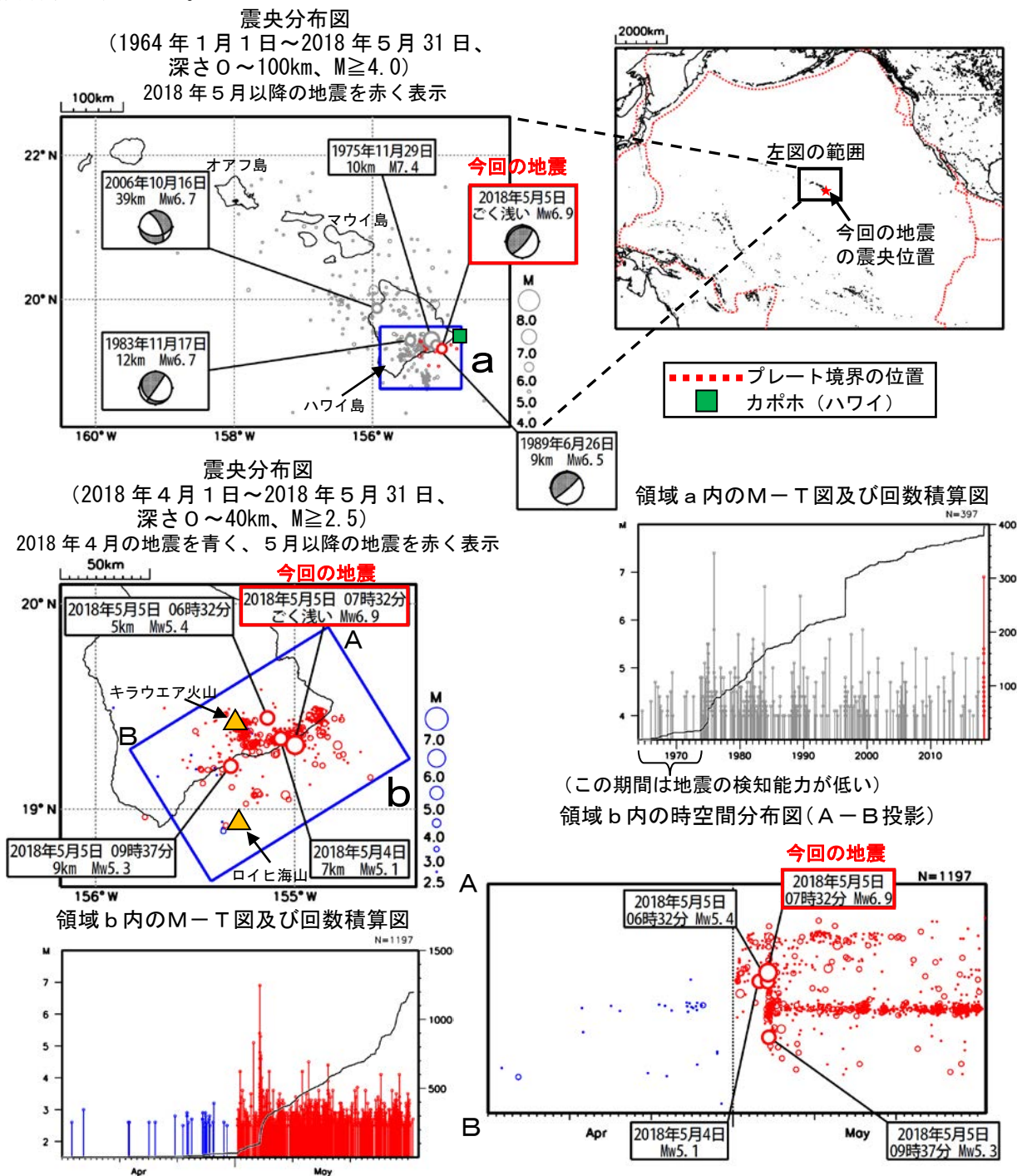
- 震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Earthquake Archive Search & URL Builder”(http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/)による(2018年6月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- 被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- 地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(地震・火山月報(防災編)2005年5月号参照)を発表したことを表す。
- 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- 深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

5月5日 ハワイ諸島の地震

2018年5月5日07時32分(日本時間、以下同じ)にハワイ諸島のごく浅い場所でMw6.9の地震が発生した。この地震は発震機構(気象庁によるCMT解)が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、キラウエア火山の火山活動に伴って発生した。同年4月頃からキラウエア火山を中心に地震活動がみられており、5月1日から31日までにM4.0以上の地震が19回発生している。この噴火活動により被害が生じている(報道による)が、地震活動による被害は報告されていない。

気象庁は、この地震に対して、同日08時35分に遠地地震に関する情報(日本への津波の影響なし)を発表した。この地震によりハワイのカポホで40cmの津波を観測した。

1964年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)は、火山活動に伴って地震活動がみられる領域で、1975年11月29日に発生したM7.4の地震により津波が発生し、死者2人、負傷者28人の被害が生じた。この地震により日本でも津波を観測しており、牡鹿町鮎川(現在の宮城県石巻市)で25cmの津波を観測した。また、1996年には、ハワイ島の南に位置するロイヒ海山の噴火活動により群発的な地震活動もみられた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMT、Mw及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2018年5月31日現在)。今回の地震の津波の高さは、米国海洋大気庁(NOAA)による(2018年5月31日現在)。1975年11月29日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」、日本での津波の高さは験震時報第41巻による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

平成30年(2018年)5月に被害を伴った噴火が報告された主な火山(日本を除く)*は以下のとおり。

キラウエア (Kilauea) アメリカ(図中A) 標高 1,222m

キラウエアでは、3日に長さ150mの割れ目火口から噴火し始めた。その後、複数の割れ目火口が開口し、溶岩が流れた。17日以降、爆発的噴火も発生し、ワシントンVAACによると17日04時15分頃の爆発的噴火では噴煙が9.1kmまで上昇し、北東に流れた。ニュース記事によると、イーストリフトゾーン下部地域での噴火は、29日までに53戸の家を含む少なくとも94戸の建物を破壊した。



図 平成30年(2018年)5月に被害を伴った噴火が発生した主な火山(日本を除く)*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報 (カタログ編) [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度 (平成25年12月 地震・火山月報 (防災編) の付録2参照) を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度 (計測震度)
1	1 01 25	トカラ列島近海 30° 01.8' N 130° 05.3' E 106km M: 3.8 鹿児島県 1 屋久島町宮之浦*=0.6
2	1 06 14	茨城県沖 36° 32.3' N 140° 52.5' E 50km M: 3.6 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.4 常陸大宮市北町*=1.1 ひたちなか市南神敷台*=1.0 笠間市石井*=0.9 常陸大宮市上小瀬*=0.9 城里町石塚*=0.8 水戸市内原町*=0.6 笠間市笠間*=0.6 日立市役所*=0.6 東海村東海*=0.5 水戸市金町=0.5 城里町小勝*=0.5
3	2 08 47	台湾付近 23° 56.5' N 122° 19.8' E 18km M: 5.5 沖縄県 2 与那国町久部良=2.1 与那国町役場*=2.1 1 与那国町祖納=1.3 竹富町船浮=0.5
4	3 10 06	静岡県中部 35° 06.6' N 138° 10.3' E 12km M: 2.9 静岡県 1 静岡葵区梅ヶ島*=0.6 川根本町東藤川*=0.6
5	3 12 35	熊本県球磨地方 32° 13.4' N 130° 42.4' E 7km M: 2.3 熊本県 1 球磨村渡*=0.7
6	3 12 48	熊本県球磨地方 32° 13.3' N 130° 42.5' E 8km M: 2.5 熊本県 1 球磨村渡*=0.9
7	3 14 22	熊本県球磨地方 32° 13.3' N 130° 42.4' E 7km M: 3.1 熊本県 2 球磨村渡*=1.7 八代市坂本町*=1.5 1 人吉市蟹作町*=1.2 山江村山田*=1.2 五木村甲*=0.8 人吉市西間下町=0.8 あさぎり町免田東*=0.8 錦町一武*=0.7 あさぎり町岡原*=0.6 鹿児島県 1 伊佐市大口島巣*=0.9
8	3 16 36	宮城県沖 38° 56.0' N 142° 22.2' E 52km M: 3.4 岩手県 1 一関市室根町*=0.5
9	4 00 02	岩手県沖 39° 56.2' N 142° 34.3' E 33km M: 3.8 岩手県 1 宮古市田老*=1.0 宮古市鯨ヶ崎=0.5
10	4 02 07	千葉県北西部 35° 39.0' N 140° 10.8' E 69km M: 4.2 茨城県 2 坂東市岩井=1.7 筑西市舟生=1.5 1 笠間市石井*=1.3 取手市井野*=1.2 つくば市小茎*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 常総市新石下*=1.2 常総市水海道諏訪町*=1.2 取手市寺田*=1.2 龍ヶ崎市役所*=1.1 牛久市城中町*=1.1 笠間市笠間*=1.1 河内町源清田*=1.1 桜川市羽田*=1.0 笠間市中央*=1.0 牛久市中央*=1.0 つくばみらい市福田*=1.0 稲敷市江戸崎甲*=1.0 稲敷市伊佐津*=1.0 土浦市常名=1.0 筑西市門井*=1.0 城里町小勝*=0.9 坂東市役所*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 桜川市真壁*=0.9 水戸市内原町*=0.9 石岡市柿岡=0.9 小美玉市上玉里*=0.8 かすみがうら市大和田*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 笠間市下郷*=0.7 利根町布川=0.7 土浦市藤沢*=0.7 つくば市天王台*=0.7 小美玉市小川*=0.7 美浦村受領*=0.7 石岡市若宮*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.6 埼玉県 2 さいたま緑区中尾*=1.9 草加市高砂*=1.8 春日部市粕壁*=1.6 川口市三ツ和*=1.5 三郷市中央*=1.5 1 八潮市中央*=1.4 宮代町笠原*=1.3 さいたま南区別所*=1.3 川口市青木*=1.3 さいたま大宮区天沼町*=1.2 久喜市青葉*=1.2 春日部市金崎*=1.1 春日部市谷原新田*=1.1 蕨市中央*=1.1 幸手市東*=1.1 吉川市吉川*=1.1 富士見市鶴馬*=1.0 加須市騎西*=1.0 さいたま浦和区高砂=1.0 久喜市下早見=1.0 さいたま北区宮原*=0.9 さいたま大宮区大門*=0.9 さいたま見沼区堀崎*=0.9 さいたま中央区下落合*=0.9 狭山市入間川*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 和光市広沢*=0.9 加須市大利根*=0.9 熊谷市大里*=0.8 久喜市菖蒲*=0.8 新座市野火止*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 さいたま西区指扇*=0.7 さいたま桜区道場*=0.7 志木市中宗岡*=0.7 越谷市越ヶ谷*=0.6 桶川市上日出谷*=0.6 朝霞市本町*=0.6 久喜市栗橋*=0.6 伊奈町小室*=0.6 久喜市鷺宮*=0.6 本庄市児玉町=0.5 東松山市松葉町*=0.5 鴻巣市中央*=0.5 上尾市本町*=0.5 千葉県 2 千葉中央区中央港=1.9 千葉美浜区ひび野=1.8 千葉中央区千葉市役所*=1.7 千葉中央区都町*=1.7 千葉花見川区花島町*=1.7 船橋市湊町*=1.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.6 千葉美浜区稲毛海岸*=1.6 長南町長南*=1.6 野田市鶴寿*=1.6 市原市姉崎*=1.6 浦安市日の出=1.5 千葉稲毛区園生町*=1.5 習志野市鷺沼*=1.5 千葉緑区おゆみ野*=1.5 1 君津市久留里市場*=1.4 市川市南八幡*=1.3 松戸市西馬橋*=1.3 市原市国分寺台中央*=1.3 八千代市大和田新田*=1.3 四街道市鹿渡*=1.3 白井市復*=1.3 木更津市富士見*=1.3

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京都 印西市大森＊=1.2 印西市笠神＊=1.2 袖ヶ浦市坂戸市場＊=1.2 東金市日吉台＊=1.2 流山市平和台＊=1.2 浦安市猫実＊=1.2 九十九里町片貝＊=1.1 栄町安食台＊=1.1 木更津市太田=1.1 柏市旭町=1.1 柏市柏＊=1.1 山武市埴谷＊=1.0 富津市下飯野＊=1.0 野田市東宝珠花＊=1.0 香取市役所＊=1.0 芝山町小池＊=0.9 一宮町一宮=0.9 長柄町大津倉=0.9 多古町多古=0.8 大網白里市大網＊=0.8 東金市東新宿=0.8 香取市佐原諏訪台＊=0.7 富里市七栄＊=0.7 山武市蓮沼ニ＊=0.7 成田国際空港=0.6 香取市佐原平田=0.6 山武市松尾町富士見台=0.6 2 東京北区神谷＊=2.0 東京足立区神明南＊=1.8 東京葛飾区金町＊=1.8 東京練馬区豊玉北＊=1.7 東京北区西ヶ原＊=1.7 東京江戸川区鹿骨＊=1.6 町田市本町田＊=1.6 八王子市堀之内＊=1.5 調布市西つつじヶ丘＊=1.5 東京中央区勝どき＊=1.5 東京国際空港=1.5 東京世田谷区成城＊=1.5 東京杉並区桃井＊=1.5 東京板橋区相生町＊=1.5 東京葛飾区立石＊=1.5 1 東京江東区越中島＊=1.4 東京大田区多摩川＊=1.4 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.4 東京荒川区東尾久＊=1.4 東京江戸川区中央=1.4 東京品川区平塚＊=1.3 東京大田区本羽田＊=1.3 東京渋谷区本町＊=1.3 東京足立区伊興＊=1.3 東京江戸川区船堀＊=1.3 小平市小川町＊=1.3 東京千代田区大手町=1.3 東京中央区築地＊=1.3 東京新宿区上落合＊=1.3 東京中野区中野＊=1.2 東京杉並区高井戸＊=1.2 東京足立区千住中居町＊=1.2 町田市森野＊=1.2 稲城市東長沼＊=1.2 東京台東区千束＊=1.2 東京墨田区東向島＊=1.2 東京江東区森下＊=1.2 西東京市中町＊=1.1 多摩市関戸＊=1.1 東京江東区亀戸＊=1.1 東京目黒区中央町＊=1.1 東京世田谷区世田谷＊=1.1 東京荒川区荒川＊=1.1 東京新宿区百人町＊=1.1 東京文京区大塚＊=1.1 東京墨田区吾妻橋＊=1.1 東京千代田区富士見＊=1.0 東京板橋区板橋＊=1.0 東京墨田区横川=1.0 町田市忠生＊=1.0 国分寺市戸倉=1.0 狛江市和泉本町＊=1.0 東京江東区枝川＊=1.0 東京豊島区南池袋＊=0.9 東京江東区青海=0.9 東京品川区北品川＊=0.9 東大和市中央＊=0.9 東京渋谷区宇田川町＊=0.9 東京中野区江古田＊=0.9 東京板橋区高島平＊=0.8 東京練馬区東大泉＊=0.8 東京世田谷区中町＊=0.8 東京江東区東陽＊=0.8 三鷹市野崎＊=0.8 調布市小島町＊=0.8 多摩市鶴牧＊=0.7 東京府中市朝日町＊=0.7 東京中央区日本橋兜町＊=0.7 小金井市本町＊=0.7 東京港区海岸=0.7 日野市神明＊=0.7 東京港区白金＊=0.7 国分寺市本多＊=0.7 東京足立区中央本町＊=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 東京練馬区光が丘＊=0.6 東京港区芝公園＊=0.5 東京品川区広町＊=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺＊=2.0 横浜神奈川区広台太田町＊=1.8 川崎川崎区宮前町＊=1.8 横浜中区山下町＊=1.7 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.7 横浜磯子区磯子＊=1.7 横浜緑区十日市場町＊=1.7 横浜青葉区市ケ尾町＊=1.7 横浜鶴見区末広町＊=1.6 横浜中区山手町=1.6 横浜旭区今宿東町＊=1.6 横浜港北区日吉本町＊=1.5 1 横浜中区山吹町＊=1.4 横浜港南区丸山台東部＊=1.4 横浜旭区川井宿町＊=1.4 横浜緑区鴨居＊=1.4 横浜青葉区榎が丘＊=1.4 川崎川崎区千鳥町＊=1.4 川崎中原区小杉町＊=1.4 川崎麻生区片平＊=1.4 相模原中央区上溝＊=1.4 横浜鶴見区馬場＊=1.3 横浜西区浜松町＊=1.3 横浜都筑区池辺町＊=1.3 横浜磯子区洋光台＊=1.2 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.2 横浜旭区大池町＊=1.2 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.2 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.2 藤沢市辻堂東海岸＊=1.2 大和市下鶴間＊=1.2 横浜鶴見区鶴見＊=1.1 横浜金沢区白帆＊=1.1 川崎川崎区中島＊=1.1 川崎宮前区宮前平＊=1.1 清川村煤ヶ谷＊=1.1 相模原南区磯部＊=1.1 横浜中区日本大通＊=1.0 横浜戸塚区平戸町＊=1.0 横浜旭区上白根町＊=1.0 三浦市城山町＊=1.0 相模原緑区橋本＊=1.0 横浜金沢区釜利谷南＊=0.9 横浜栄区小菅ヶ谷＊=0.9 川崎幸区戸手本町＊=0.9 川崎多摩区登戸＊=0.9 川崎宮前区野川＊=0.9 横須賀市光の丘=0.9 藤沢市長後＊=0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.9 箱根町湯本＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.9 中井町比奈窪＊=0.8 神奈川大井町金子＊=0.8 横浜泉区岡津町＊=0.8 相模原南区相模大野＊=0.8 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=0.8 川崎中原区小杉陣屋町=0.8 川崎高津区下作延＊=0.8 横須賀市坂本町＊=0.7 横浜港北区綱島西＊=0.7 湯河原町中央=0.7 相模原中央区水郷田名＊=0.7 相模原緑区久保沢＊=0.7 横浜栄区桂台南＊=0.6 南足柄市関本＊=0.6 秦野市平沢＊=0.5 栃木県 1 市貝町市塙＊=1.4 真岡市石島＊=1.2 益子町益子=1.0 宇都宮市明保野町=0.9 芳賀町祖母井＊=0.7 下野市笹原＊=0.7 真岡市田町＊=0.7 栃木市旭町=0.5 佐野市高砂町＊=0.5 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町＊=0.9 伊勢崎市西久保町＊=0.7 千代田町赤岩＊=0.7 邑楽町中野＊=0.7 桐生市元宿町＊=0.5 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.9 静岡県 1 富士宮市野中＊=1.2 東伊豆町奈良本＊=1.0 伊豆市中伊豆グラウンド=0.9 函南町平井＊=0.7 伊豆の国市長岡＊=0.6 富士市大淵＊=0.6 熱海市網代=0.5 熱海市泉＊=0.5 富士宮市弓沢町=0.5				
11	4 02 17	千葉県北西部 千葉県 2 千葉中央区中央港=1.5 1 千葉中央区都町＊=1.4 千葉花見川区花島町＊=1.4 君津市久留里市場＊=1.4 千葉中央区千葉市役所＊=1.3 千葉稲毛区園生町＊=1.3 船橋市湊町＊=1.3 市原市姉崎＊=1.3 千葉緑区おゆみ野＊=1.2 白井市復＊=1.2 長南町長南＊=1.2 市川市南八幡＊=1.1 木更津市富士見＊=1.1 東金市日吉台＊=1.1 富津市下飯野＊=1.1 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.1 四街道市鹿渡＊=1.0 習志野市鷺沼＊=1.0 千葉美浜区ひび野=1.0 八千代市大和田新田＊=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=1.0 山武市埴谷＊=0.9 木更津市太田=0.9 浦安市日の出=0.8 東金市東新宿=0.7 野田市鶴奉＊=0.7 長柄町大津倉=0.7 一宮町一宮=0.5 柏市旭町=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺＊=2.0 横浜神奈川区広台太田町＊=1.8 横浜中区山手町=1.7 横浜港南区丸山台東部＊=1.7 横浜旭区川井宿町＊=1.7 横浜中区山下町＊=1.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.6 横浜旭区今宿東町＊=1.5 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.5 1 横浜中区山吹町＊=1.4 横浜磯子区洋光台＊=1.4 横浜金沢区釜利谷南＊=1.4 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.4 横浜緑区十日市場町＊=1.4 横浜緑区鴨居＊=1.4 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.4 横浜青葉区市ケ尾町＊=1.4 川崎中原区小杉町＊=1.4 藤沢市辻堂東海岸＊=1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 大和市下鶴間＊=1.4 川崎川崎区宮前町＊=1.3 横浜鶴見区末広町＊=1.3 横浜磯子区磯子＊=1.3 箱根町湯本＊=1.3 川崎川崎区千鳥町＊=1.2 横浜港北区日吉本町＊=1.2 横須賀市光の丘=1.2 横浜鶴見区馬場＊=1.2 三浦市城山町＊=1.2 愛川町角田＊=1.2 相模原南区磯部＊=1.2 横浜泉区と泉町＊=1.1 横浜金沢区白帆＊=1.1 藤沢市長後＊=1.1 横浜戸塚区平戸町＊=1.1 横浜旭区上白根町＊=1.1	35° 38.8' N	140° 10.0' E	69km	M: 4.1

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		相模原中央区上溝＊=1.1 相模原南区相模大野＊=1.1 横浜栄区桂台南＊=1.1 横浜栄区小菅ヶ谷＊=1.1 横浜旭区大池町＊=1.0 清川村煤ヶ谷＊=1.0 横浜鶴見区鶴見＊=1.0 相模原緑区橋本＊=1.0 横浜中区日本大通＊=1.0 逗子市桜山＊=0.9 中井町比奈窪＊=0.9 横浜泉区岡津町＊=0.9 湯河原町中央=0.9 横浜戸塚区戸塚町＊=0.9 川崎川崎区中島＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.9 川崎宮前区宮前平＊=0.9 川崎宮前区野川＊=0.9 横須賀市坂本町＊=0.9 藤沢市大庭＊=0.8 相模原中央区水郷田名＊=0.8 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=0.8 南足柄市関本＊=0.8 神奈川大井町金子＊=0.8 川崎幸区戸手本町＊=0.7 平塚市浅間町＊=0.6 藤沢市朝日町＊=0.6 川崎多摩区登戸＊=0.5 茨城県 埼玉県 東京都 山梨県 静岡県				
12	4 07 33	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原=1.3 竹富町船浮=1.3 竹富町上原＊=0.6	24° 14.8' N	123° 47.9' E	15km	M: 3.4
13	4 20 40	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校＊=1.5 1 常陸太田市高柿町＊=1.3 那珂市瓜連＊=1.0 東海村東海＊=0.9 笠間市石井＊=0.9 水戸市千波町＊=0.7 水戸市内原町＊=0.6 日立市役所＊=0.6 水戸市金町=0.5 福島県 1 いわき市三和町=0.5	36° 29.0' N	141° 04.4' E	21km	M: 4.3
14	4 21 57	宮崎県南部平野部 宮崎県 2 西都市上の宮＊=1.9 1 川南町川南＊=1.0 宮崎市霧島=1.0 新富町上富田=0.8 宮崎市松橋＊=0.7 西都市聖陵町＊=0.6 宮崎市橘通東＊=0.5	32° 00.8' N	131° 26.1' E	17km	M: 2.6
15	5 00 42	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町＊=0.9 住田町世田米＊=0.7 一関市千厩町＊=0.6 宮城県 1 石巻市北上町＊=0.9 南三陸町歌津＊=0.6 登米市東和町＊=0.5	38° 40.5' N	141° 44.1' E	52km	M: 3.4
16	5 07 27	奄美大島近海 鹿児島県 1 喜界町滝川=1.4 喜界町湾＊=1.0	28° 22.6' N	130° 03.0' E	27km	M: 3.5
17	5 12 59	大隅半島東方沖 鹿児島県 1 中種子町野間＊=0.9 錦江町田代支所＊=0.7 鹿屋市新栄町=0.6 大崎町仮宿＊=0.5	30° 39.6' N	131° 31.7' E	31km	M: 4.3
18	5 15 43	福島県沖 福島県 3 川内村上川内早渡＊=2.8 いわき市三和町=2.5 2 福島広野町下北迫大谷地原＊=2.3 川内村上川内小山平＊=2.3 田村市都路町＊=2.1 田村市大越町＊=2.0 檜葉町北田＊=2.0 川内村下川内=2.0 白河市新白河＊=2.0 飯館村伊丹沢＊=2.0 いわき市平梅本＊=1.9 矢祭町戸塚＊=1.8 田村市常葉町＊=1.8 富岡町本岡＊=1.8 大熊町野上＊=1.7 小野町小野新町＊=1.7 白河市郭内=1.6 いわき市錦町＊=1.6 浪江町幾世橋=1.6 葛尾村落合落合＊=1.6 福島広野町下北迫苗代替＊=1.6 双葉町両竹＊=1.5 中島村滑津＊=1.5 玉川村小高＊=1.5 田村市滝根町＊=1.5 1 須賀川市岩瀬支所＊=1.3 川俣町五百田＊=1.3 泉崎村泉崎＊=1.3 古殿町松川新桑原＊=1.3 相馬市中村＊=1.3 南相馬市小高区＊=1.3 白河市表郷＊=1.2 白河市大信＊=1.2 石川町長久保＊=1.2 平田村永田＊=1.2 浅川町浅川＊=1.2 須賀川市八幡山＊=1.2 小野町中通＊=1.2 福島伊達市霊山町＊=1.2 いわき市小名浜=1.2 いわき市平四ツ波＊=1.2 郡山市開成＊=1.2 新地町谷地小屋＊=1.2 二本松市針道＊=1.2 西郷村熊倉＊=1.1 須賀川市八幡町＊=1.1 矢祭町東館＊=1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 田村市船引町=1.1 南相馬市原町区高見町＊=1.0 国見町藤田＊=1.0 鏡石町不時沼＊=1.0 天栄村下松本＊=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 大玉村南小屋=0.9 二本松市金色＊=0.9 南相馬市鹿島区西町＊=0.9 白河市東＊=0.9 郡山市朝日=0.9 福島伊達市梁川町＊=0.8 福島市飯野町＊=0.8 本宮市本宮＊=0.8 本宮市白岩＊=0.8 二本松市油井＊=0.8 郡山市湖南町＊=0.8 南相馬市鹿島区枌窪=0.7 大玉村玉井＊=0.6 古殿町松川横川=0.6 福島市五老内町＊=0.6 福島伊達市月館町＊=0.6 福島市松木町=0.5 宮城県 1 岩沼市桜＊=1.1 山元町浅生原＊=1.1 蔵王町円田＊=0.9 宮城川崎町前川＊=0.8 亘理町下小路＊=0.8 角田市角田＊=0.8 柴田町船岡=0.6 丸森町上滝=0.5	37° 04.9' N	141° 10.5' E	49km	M: 4.2

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
19	5 21 47	茨城県 1 北茨城市磯原町*=1.2 日立市助川小学校*=0.9 大子町池田*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 常陸大宮市北町*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 城里町小勝*=0.7 北茨城市中郷町*=0.7 日立市十王町友部*=0.7 笠間市石井*=0.6 日立市役所*=0.6 高萩市本町*=0.6 土浦市常名=0.5	41° 58.0' N	141° 00.4' E	12km	M: 3.1
		栃木県 1 大田原市湯津上*=1.1 那須烏山市中央=0.9 栃木那珂川町小川*=0.6				
20	5 23 46	内浦湾 3 函館市川汲町*=2.5 1 函館市尾札部町=1.2 函館市泊町*=1.1 七飯町本町*=1.1	36° 01.6' N	140° 05.1' E	60km	M: 3.7
		北海道 1 函館市尾札部町=1.2 函館市泊町*=1.1 七飯町本町*=1.1				
21	6 07 15 (注) 6 07 16	茨城県南部 茨城県 2 土浦市常名=1.6 城里町小勝*=1.5 取手市寺田*=1.5 つくば市小茎*=1.5 1 茨城古河市下大野*=1.3 坂東市役所*=1.3 筑西市門井*=1.3 桜川市真壁*=1.3 笠間市石井*=1.2 桜川市岩瀬*=1.2 石岡市若宮*=1.1 牛久市城中町*=1.1 境町旭町*=1.1 笠間市笠間*=1.1 石岡市柿岡=1.1 下妻市本城町*=1.0 水戸市内原町*=1.0 かすみがうら市上土田*=1.0 笠間市下郷*=1.0 桜川市羽田*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 筑西市舟生=0.9 小美玉市小川*=0.9 小美玉市上玉里*=0.8 土浦市田中*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 城里町石塚*=0.8 坂東市山*=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 常総市新石下*=0.7 常総市水海道諏訪町*=0.7 つくば市天王台*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 坂東市岩井=0.7 笠間市中央*=0.6 牛久市中央*=0.6 かすみがうら市大和田*=0.6 つくば市研究学園*=0.6 守谷市大柏*=0.5 利根町布川=0.5 下妻市鬼怒*=0.5 石岡市八郷*=0.5 小美玉市堅倉*=0.5	40° 02.4' N	140° 32.5' E	9km	M: 4.1
		栃木県 2 真岡市石島*=1.9 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市旭町=1.6 1 下野市笹原*=1.3 栃木市岩舟町静*=1.2 真岡市田町*=1.2 足利市大正町*=1.1 栃木市大平町富田*=1.1 鹿沼市晃望台*=1.1 鹿沼市口栗野*=1.0 鹿沼市今宮町*=0.9 宇都宮市中里町*=0.9 下野市田中*=0.9 佐野市高砂町*=0.9 真岡市荒町*=0.8 下野市石橋*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 小山市中央町*=0.7 栃木市西方町本城*=0.7 佐野市葛生東*=0.7 芳賀町祖母井*=0.6 栃木市万町*=0.5 日光市鬼怒川温泉大原*=0.5 茂木町茂木*=0.5 日光市今市本町*=0.5				
22	6 07 17	群馬県 1 邑楽町中野*=0.9 館林市美園町*=0.7 桐生市元宿町*=0.6 桐生市黒保根町*=0.6 太田市西本町*=0.6 桐生市新里町*=0.5	40° 02.6' N	140° 32.9' E	9km	M: 3.1
		埼玉県 1 宮代町笠原*=1.1 春日部市粕壁*=1.0 春日部市金崎*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 加須市騎西*=0.7 東松山市松葉町*=0.7 加須市大利根*=0.6 久喜市下早見=0.6 白岡市千駄野*=0.5				
23	6 08 15	千葉県 1 野田市鶴奉*=1.0 柏市柏*=0.9 柏市旭町=0.8 野田市東宝珠花*=0.6 柏市大島田*=0.6 八千代市大和田新田*=0.6 白井市復*=0.6 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.5 印西市大森*=0.5	40° 03.2' N	140° 32.4' E	7km	M: 3.8
		秋田県 3 北秋田市新田目*=2.8 北秋田市米内沢*=2.5 2 大館市比内町扇田*=2.3 大館市桜町*=2.2 能代市二ツ井町上台*=2.0 北秋田市花園町=1.9 北秋田市阿仁水無*=1.9 大館市早口*=1.5				
24	6 11 05	青森県 1 藤里町藤琴*=1.3 大館市比内町味噌内=1.3 鹿角市花輪*=1.3 上小阿仁村小沢田*=1.3 小坂町小坂砂森*=1.2 三種町豊岡*=1.1 潟上市昭和久保*=0.9 井川町北川尻*=0.9 仙北市西木町上桧木内*=0.9 能代市常盤山谷=0.8 能代市追分町*=0.8 能代市緑町=0.7 五城目町西磯ノ目=0.6 仙北市田沢湖田沢*=0.5	28° 41.3' N	128° 47.0' E	13km	M: 4.2
		岩手県 1 平川市碓ヶ関*=1.3 弘前市賀田*=1.2 大鰐町大鰐*=1.1 弘前市城東中央*=1.1 階上町道仏*=0.8 つがる市稲垣町*=0.8 青森南部町平*=0.7 五所川原市金木町*=0.7 弘前市和田町=0.6 田舎館村田舎館*=0.6 弘前市弥生=0.6 八戸市湊町=0.6 八戸市内丸*=0.5 藤崎町西豊田*=0.5				
25	6 21 13	鹿児島県 1 二戸市浄法寺町*=0.7 八幡平市叭田*=0.6	32° 39.4' N	130° 40.1' E	11km	M: 3.9
		熊本県 4 宇城市豊野町*=3.7 宇城市不知火町*=3.6 3 宇土市新小路町=3.0 宇城市松橋町=2.9 宇城市小川町*=2.9 熊本西区春日=2.5 2 嘉島町上島*=2.4 甲佐町豊内*=2.4 熊本美里町永富*=2.4 熊本美里町馬場*=2.4 氷川町島地*=2.4 熊本南区城南町*=2.4 熊本南区富合町*=2.4 氷川町宮原*=2.3 八代市鏡町*=2.2 八代市東陽町*=2.1 八代市松江城町*=2.0 菊池市旭志*=1.9 合志市竹迫*=1.9 八代市坂本町*=1.8 八代市千丁町*=1.8 御船町御船*=1.8 八代市泉支所*=1.8 熊本中央区大江*=1.7 益城町木山=1.6 上天草市松島町*=1.6 西原村小森*=1.5 熊本北区植木町*=1.5 山鹿市鹿史町*=1.5 1 八代市平山新町=1.4 八代市泉町=1.4 熊本東区佐土原*=1.4 玉名市天水町*=1.3 水上村岩野*=1.3 上天草市大矢野町=1.3 上天草市姫戸町*=1.3 合志市御代志*=1.2 球磨村渡*=1.2 熊本高森町高森*=1.1 山鹿市鹿本町*=1.1 大津町引水*=1.1 菊陽町久保田*=1.1 天草市五和町*=1.1 宇城市三角町*=1.1 五木村甲*=1.0 山鹿市鹿鹿町*=1.0 玉名市横島町*=0.9 天草市河浦町*=0.9 芦北町芦北=0.9 菊池市隈府*=0.8 あさぎり町須恵*=0.8 あさぎり町岡原*=0.7 水俣市陣内*=0.7 南阿蘇村河陰*=0.7 人吉市蟹作町*=0.6 南阿蘇村中松=0.6 人吉市西間下町=0.6 天草市牛深町=0.5 芦北町田浦町*=0.5 水俣市牧ノ内*=0.5				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		福岡県 佐賀県 長崎県 宮崎県	1 朝倉市杷木池田*=1.1 みやま市高田町*=0.9 大牟田市昭和町*=0.5 1 佐賀市駅前中央=0.5 1 雲仙市小浜町雲仙=1.1			
		宮崎県	1 西都市上の宮*=1.2 椎葉村総合運動公園*=1.0 椎葉村下福良*=0.7 高千穂町三田井=0.7 国富町本庄*=0.7 小林市真方=0.5 小林市中原*=0.5 川南町川南*=0.5 宮崎都農町役場*=0.5 諸塚村家代*=0.5			
		鹿児島県	1 長島町獅子島*=1.0 長島町伊唐島*=1.0 霧島市横川町中ノ*=0.8 長島町鷹巣*=0.7 伊佐市大口鳥巣*=0.6			
26	6 21 20	熊本県熊本地方 熊本県	32° 39.3' N 1 宇城市不知火町*=1.0	130° 40.2' E	11km	M: 2.4
27	6 22 59	茨城県北部 福島県 茨城県	36° 48.4' N 1 矢祭町戸塚*=1.3 浅川町浅川*=0.6 1 常陸太田市大中町*=1.3 日立市助川小学校*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=0.9 日立市十王町友部*=0.7	140° 34.4' E	7km	M: 3.4
28	7 05 00	岩手県内陸北部 岩手県	39° 35.7' N 4 盛岡市薮川*=3.5 3 盛岡市浅民*=3.3 野田村野田*=2.9 一関市千厩町*=2.8 軽米町軽米*=2.7 普代村銅屋*=2.7 岩手町五日市*=2.6 花巻市東和町*=2.5 一戸町高善寺*=2.5 花巻市材木町*=2.5 2 大船渡市大船渡町=2.4 一関市室根町*=2.4 釜石市中妻町*=2.3 住田町世田米*=2.3 盛岡市山王町=2.3 八幡平市田頭*=2.3 久慈市川崎町=2.3 一関市藤沢町*=2.3 奥州市前沢*=2.2 宮古市五月町*=2.2 八幡平市野駄*=2.2 矢巾町南矢幅*=2.2 滝沢市鶴飼*=2.2 岩手洋野町種市=2.2 宮古市田老*=2.2 奥州市江刺*=2.2 遠野市宮守町*=2.1 一関市大東町=2.1 一関市花泉町*=2.1 久慈市長内町*=2.1 久慈市枝成沢=2.1 平泉町平泉*=2.1 九戸村伊保内*=2.1 葛巻町葛巻元木=2.1 八幡平市大更=2.1 二戸市浄法寺町*=2.0 山田町大沢*=2.0 遠野市青笹町*=2.0 奥州市水沢佐倉河*=2.0 陸前高田市高田町*=2.0 二戸市福岡=2.0 花巻市大迫町=1.9 花巻市石鳥谷町*=1.9 宮古市区界*=1.9 金ヶ崎町西根*=1.9 西和賀町沢内川舟*=1.9 奥州市水沢大鐘町=1.9 岩泉町岩泉*=1.9 西和賀町川尻*=1.8 二戸市石切所*=1.8 岩手洋野町大野*=1.8 奥州市胆沢*=1.8 奥州市衣川*=1.7 宮古市茂市*=1.7 葛巻町消防分署*=1.7 葛巻町役場*=1.7 北上市相去町*=1.7 田野畑村田野畑=1.7 宮古市鉄ヶ崎=1.7 一関市竹山町*=1.7 釜石市只越町=1.6 山田町八幡町=1.6 大船渡市猪川町=1.6 宮古市川井*=1.6 盛岡市馬場町*=1.6 一関市東山町*=1.6 北上市柳原町=1.5 紫波町紫波中央駅前*=1.5 八幡平市叭田*=1.5 雫石町千刈田=1.5 大船渡市盛町*=1.5	141° 09.6' E	98km	M: 5.1
		青森県	1 花巻市大迫総合支所*=1.4 雫石町西根上駒木野=1.3 一関市川崎町*=1.3 久慈市山形町*=1.2 田野畑村役場*=1.2 大槌町小鎚*=1.2 岩泉町大川*=1.1 西和賀町沢内太田*=1.0 宮古市長沢=1.0 3 階上町道仏*=3.2 青森南部町平*=3.1 八戸市南郷*=2.9 青森南部町苫米地*=2.8 八戸市内丸*=2.8 五戸町古館=2.7 2 八戸市湊町=2.4 六戸町犬落瀬*=2.4 三戸町在府小路町*=2.3 おいらせ町中下田*=2.0 東北町上北南*=1.9 青森南部町沖田面*=1.8 七戸町森ノ上*=1.8 八戸市島守=1.8 おいらせ町上明堂*=1.7 三沢市桜町*=1.7 五戸町倉石中市*=1.7 十和田市西十二番町*=1.5 1 野辺地町田狭沢*=1.4 田子町田子*=1.4 東通村砂子又沢内*=1.3 七戸町七戸*=1.3 十和田市西二番町*=1.3 東北町塔ノ沢山*=1.1 野辺地町野辺地*=1.1 弘前市弥生=1.0 新郷村戸来*=1.0 十和田市奥瀬*=1.0 黒石市市ノ町*=1.0 西目屋村田代*=1.0 藤崎町水木*=1.0 平川市猿賀*=1.0 大間町大間*=0.9 東通村砂子又蒲谷地=0.9 板柳町板柳*=0.9 藤崎町西豊田*=0.9 鶴田町鶴田*=0.9 つがる市市柏*=0.9 青森市浪岡*=0.9 五所川原市敷島町*=0.9 横浜町林ノ脇*=0.8 深浦町岩崎*=0.8 弘前市五所*=0.8 田舎館村田舎館*=0.8 むつ市金曲=0.8 むつ市川内町*=0.8 平川市柏木町*=0.7 外ヶ浜町蟹田*=0.7 六ヶ所村尾駁=0.7 東通村白糠*=0.7 むつ市金谷*=0.7 弘前市賀田*=0.6 つがる市木造*=0.5 佐井村長後*=0.5 六ヶ所村出戸=0.5			
		宮城県	3 気仙沼市笹が陣*=2.9 気仙沼市唐桑町*=2.7 気仙沼市赤岩=2.6 涌谷町新町裏=2.6 石巻市桃生町*=2.5 2 栗原市築館*=2.4 栗原市志波姫*=2.3 栗原市若柳*=2.3 登米市中田町=2.3 南三陸町志津川=2.3 大崎市古川北町*=2.3 大崎市松山*=2.3 大崎市古川三日町=2.2 大崎市市尻*=2.1 石巻市大街道南*=2.1 石巻市相野谷*=2.1 石巻市前谷地*=2.1 栗原市花山*=2.1 登米市南方町*=2.0 宮城美里町木間塚*=2.0 栗原市鶯沢*=1.9 栗原市一迫*=1.9 松島町高城=1.9 登米市登米町*=1.9 登米市米山町*=1.9 登米市迫町*=1.9 宮城加美町中新田*=1.8 色麻町四竈*=1.8 東松島市矢本*=1.8 登米市石越町*=1.8 大衡村大衡*=1.8 宮城美里町北浦*=1.8 登米市豊里町*=1.7 女川町女川浜*=1.7 栗原市栗駒=1.7 登米市東和町*=1.7 石巻市北上町*=1.7 大崎市鹿島台*=1.6 気仙沼市本吉町西川内=1.5 大崎市三本木*=1.5 大崎市岩出山*=1.5 宮城加美町小野田*=1.5 岩沼市桜*=1.5 1 気仙沼市本吉町津谷*=1.4 栗原市高清水*=1.4 栗原市金成*=1.4 大崎市古川大崎=1.4 名取市増田*=1.4 仙台青葉区作並*=1.4 南三陸町歌津*=1.3 石巻市泉町=1.3 塩竈市旭町*=1.3 大郷町粕川*=1.3 丸森町鳥屋*=1.2 登米市津山町*=1.2 仙台宮城野区苦竹*=1.1 仙台太白区山田*=1.1 大河原町新南*=1.1 利府町利府*=1.1 白石市亘理町*=1.0 角田市角田*=1.0 蔵王町円田*=1.0 亘理町下小路*=1.0 仙台宮城野区五輪=1.0 宮城加美町宮崎*=1.0 栗原市瀬峰*=1.0 東松島市小野*=0.9 七ヶ浜町東宮浜*=0.9 宮城川崎町前川*=0.9 山元町浅生原*=0.9 仙台青葉区雨宮*=0.9 仙台空港=0.9 仙台若林区遠見塚*=0.9 石巻市雄勝町*=0.9 石巻市大瓜=0.8 仙台泉区将監*=0.8 大和町吉岡*=0.7 石巻市鮎川浜*=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 富谷市富谷*=0.6			
		秋田県	2 湯沢市川連町*=2.2 由利本荘市前郷*=2.0 井川町北川尻*=1.9 秋田美郷町六郷東根=1.9 湯沢市沖鶴=1.8 大仙市南外*=1.8 潟上市昭和久保*=1.7 三種町豊岡*=1.7 東成瀬村椿川*=1.7 大仙市高梨*=1.7 湯沢市佐竹町*=1.6 由利本荘市西目町沼田*=1.6 由利本荘市東由利老方*=1.6 横手市大森町*=1.5 横手市大雄*=1.5 湯沢市寺沢*=1.5 羽後町西馬音内*=1.5 横手市中央町*=1.5			

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 横手市雄物川町今宿=1.4 横手市増田町増田*=1.4 東成瀬村田子内*=1.4 大仙市刈和野*=1.4 仙北市田沢湖生保内上清水*=1.4 由利本荘市岩城内道川*=1.3 由利本荘市岩谷町*=1.3 大館市桜町*=1.3 鹿角市花輪*=1.3 横手市十文字町*=1.3 大仙市大曲花園町*=1.3 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=1.2 秋田市雄和女米木=1.2 秋田市河辺和田*=1.2 横手市山内土淵*=1.2 湯沢市皆瀬*=1.2 秋田市雄和新波*=1.2 大仙市協和境唐松岳*=1.2 能代市二ツ井町上台*=1.1 横手市安田柳堤地内*=1.1 由利本荘市石脇=1.1 にかほ市平沢*=1.1 仙北市西木町上桧木内*=1.1 大館市比内町扇田*=1.1 男鹿市角間崎*=1.0 秋田美郷町土崎*=1.0 八郎潟町大道*=1.0 潟上市飯田川下虻川*=1.0 大仙市北長野*=1.0 三種町鶴川*=1.0 大仙市神宮寺*=1.0 にかほ市象潟町浜ノ田*=1.0 北秋田市花園町=1.0 北秋田市新田目*=1.0 横手市平鹿町浅舞*=1.0 大館市比内町味噌内=0.9 大館市早口*=0.9 五城目町西磯ノ目=0.9 大潟村中央*=0.9 湯沢市横堀*=0.9 にかほ市金浦*=0.9 小坂町小坂砂森*=0.8 上小阿仁村小沢田*=0.8 北秋田市米内沢*=0.8 藤里町藤琴*=0.8 由利本荘市矢島町矢島町*=0.8 潟上市天王*=0.8 能代市上町*=0.8 三種町鹿渡*=0.7 大仙市太田町太田*=0.7 仙北市角館町東勝楽丁=0.6 仙北市角館町小勝田*=0.6 仙北市田沢湖田沢*=0.5 由利本荘市鳥海町伏見*=0.5 2 酒田市亀ヶ崎=2.2 酒田市飛鳥*=2.2 酒田市山田*=1.8 三川町横山*=1.8 庄内町狩川*=1.7 庄内町余目*=1.5 1 鶴岡市道田町*=1.4 鶴岡市藤島*=1.4 真室川町新町*=1.4 中山町長崎*=1.4 酒田市本町*=1.3 遊佐町遊佐=1.3 山形金山町中田=1.3 大石町緑町*=1.3 山形金山町金山*=1.2 最上町向町*=1.2 村山市中央*=1.2 遊佐町舞鶴*=1.1 舟形町舟形*=1.1 西川町大井沢*=1.1 大蔵村清水*=1.0 鮭川村佐渡*=1.0 新庄市東谷地田町=0.9 新庄市沖の町*=0.9 上山市河崎*=0.9 大蔵村肘折*=0.8 河北町谷地=0.8 河北町役場*=0.8 山辺町緑ヶ丘*=0.7 酒田市観音寺*=0.7 東根市中央*=0.6 南陽市三間通*=0.6 新庄市堀端町*=0.6 鶴岡市温海川=0.6 戸沢村古口*=0.5 北海道 1 標津町北2条*=0.6 別海町常盤=0.6 函館市泊町*=0.5 標茶町塘路*=0.5 根室市瑤瑯瑁*=0.5 福島県 1 双葉町両竹*=1.1 浪江町幾世橋=0.7 新潟県 1 村上市岩船駅前*=1.2				
29	7 17 17	トカラ列島近海 鹿児島県 2 奄美市名瀬港町=1.8 瀬戸内町加計呂麻島*=1.5 瀬戸内町西古見=1.5 1 瀬戸内町請島*=1.4 宇検村湯湾*=1.3 大和村思勝*=1.2 奄美市名瀬幸町*=1.2 奄美市笠利町里*=1.1 喜界町滝川=1.0 瀬戸内町古仁屋*=1.0 瀬戸内町与路島*=1.0 奄美市住用町西仲間*=1.0 天城町平土野*=0.8 伊仙町伊仙*=0.7	28° 41.1' N	129° 08.0' E	78km	M: 4.1
30	7 18 44	秋田県内陸北部 秋田県 1 北秋田市阿仁水無*=0.7 北秋田市米内沢*=0.7 北秋田市新田目*=0.5	40° 02.4' N	140° 31.9' E	7km	M: 3.1
31	7 22 12	長野県中部 長野県 1 松本市安曇*=1.0	36° 11.3' N	137° 40.8' E	5km	M: 2.5
32	7 23 43	島根県西部 島根県 1 大田市大田町*=0.9	35° 12.0' N	132° 33.9' E	11km	M: 2.8
33	8 02 00	和歌山県北部 和歌山県 2 日高川町土生*=2.1 御坊市菌=2.0 湯浅町青木*=1.7 和歌山日高町高家*=1.6 1 和歌山美浜町和田*=1.3 有田川町下津野*=1.2 由良町里*=1.1 紀美野町下佐々*=0.9 みなべ町芝*=0.9 和歌山広川町広*=0.8 有田市初島町*=0.8 日高川町高津尾*=0.7 みなべ町土井=0.6	33° 55.2' N	135° 07.2' E	11km	M: 3.6
34	8 06 46	島根県西部 島根県 1 大田市大田町*=0.6	35° 12.0' N	132° 34.0' E	11km	M: 2.5
35	8 14 33	福島県沖 福島県 1 檜葉町北田*=1.3 相馬市中村*=1.1 田村市都路町*=1.0 双葉町両竹*=0.9 浪江町幾世橋=0.7 いわき市三和町=0.5	37° 30.7' N	141° 45.2' E	38km	M: 4.0
36	8 14 46	長野県中部 長野県 1 朝日村小野沢*=0.8	36° 05.8' N	137° 53.1' E	3km	M: 2.5
37	8 16 58	長野県中部 長野県 1 朝日村小野沢*=0.9	36° 05.8' N	137° 53.1' E	3km	M: 2.6
38	9 07 01	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才*=0.6	36° 38.6' N	139° 27.2' E	3km	M: 1.9
39	10 03 13	新潟県上中越沖 新潟県 2 佐渡市小木町*=1.6 1 阿賀町鹿瀬中学校*=1.2 上越市大島区岡*=1.1 上越市清里区荒牧*=0.6 佐渡市羽茂本郷*=0.6 十日町市上山*=0.5 上越市木田*=0.5 新潟西蒲区巻甲*=0.5 佐渡市千種*=0.5 上越市安塚区安塚*=0.5 山形県 1 飯豊町上原*=1.4 石川県 1 能登町宇出津=0.5	37° 36.0' N	138° 14.7' E	24km	M: 3.8
40	10 10 17	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.7	36° 18.4' N	140° 57.4' E	38km	M: 3.4

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
41	10 19 57	福島県沖 宮城県 福島県 岩手県 茨城県	37° 49.1' N	141° 45.5' E	41km	M: 4.7 1 ひたちなか市南神敷台*=1.3 東海村東海*=1.3 日立役所*=1.2 水戸市内原町*=0.8 笠間市石井*=0.7 水戸市金町=0.5 銚田市汲上*=0.5 2 石巻市北上町*=2.0 女川町女川浜*=1.8 1 石巻市桃生町*=1.4 東松島市小野*=1.3 石巻市大街道南*=1.2 涌谷町新町裏=1.2 東松島市矢本*=1.2 塩竈市旭町*=1.1 石巻市泉町=1.1 大崎市鹿島台*=1.1 宮城川崎町前川*=1.0 山元町浅生原*=1.0 角田市角田*=0.9 岩沼市桜*=0.9 登米市中田町=0.9 名取市増田*=0.9 大崎市田尻*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8 亙理町下小路*=0.8 登米市東和町*=0.7 石巻市雄勝町*=0.7 南三陸町志津川=0.7 丸森町上滝=0.7 松島町高城=0.7 利府町利府*=0.7 栗原市築館*=0.7 栗原市一迫*=0.7 石巻市鮎川浜*=0.7 仙台空港=0.6 大崎市古川三日町=0.6 丸森町鳥屋*=0.6 栗原市栗駒=0.6 気仙沼市笹が陣*=0.6 柴田町船岡=0.5 仙台青葉区大倉=0.5 大崎市古川大崎=0.5 栗原市高清水*=0.5 南三陸町歌津*=0.5 2 飯館村伊丹沢*=2.0 檜葉町北田*=1.9 南相馬市原町区高見町*=1.9 川内村下川内=1.7 双葉町両竹*=1.7 いわき市三和町=1.6 田村市都路町*=1.6 南相馬市原町区三島町=1.5 浪江町幾世橋=1.5 1 鏡石町不時沼*=1.4 田村市船引町=1.4 南相馬市小高区*=1.4 田村市常葉町*=1.3 福島伊達市霊山町*=1.3 いわき市平梅本*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 富岡町本岡*=1.3 南相馬市鹿島区西町*=1.3 田村市滝根町*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 小野町小野新町*=1.1 田村市大越町*=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 須賀川市八幡町*=1.1 相馬市中村*=1.1 二本松市油井*=1.1 福島広野町下北迫苗代替*=1.1 二本松市針道*=1.1 川俣町五百田*=1.1 泉崎村泉崎*=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 郡山市朝日=1.0 白河市新白河*=1.0 福島伊達市梁川町*=1.0 葛尾村落合落合*=1.0 福島伊達市月舘町*=1.0 天栄村下松本*=1.0 郡山市開成*=0.9 白河市東*=0.9 玉川村小高*=0.9 浅川町浅川*=0.9 小野町中通*=0.9 須賀川市岩瀬支所*=0.9 南相馬市原町区本町*=0.9 福島市桜木町*=0.9 国見町藤田*=0.9 川内村上川内小山平*=0.8 本宮市本宮*=0.8 大熊町野上*=0.8 いわき市平四ツ波*=0.8 古殿町松川新桑原*=0.8 二本松市金色*=0.7 福島伊達市保原町*=0.7 南相馬市鹿島区栃窪=0.7 郡山市湖南町*=0.7 本宮市白岩*=0.7 桑折町東大隅*=0.6 福島市松木町=0.6 大玉村南小屋=0.6 福島市五老内町*=0.6 いわき市錦町*=0.6 福島伊達市前川原*=0.6 福島市飯野町*=0.5 三春町大町*=0.5 大玉村玉井*=0.5 いわき市小名浜=0.5 白河市郭内=0.5 石川町長久保*=0.5 1 一関市室根町*=1.1 一関市千厩町*=0.9 住田町世田米*=0.8 一関市藤沢町*=0.7 一関市東山町*=0.7 一関市大東町=0.5 1 笠間市石井*=0.9 日立市助川小学校*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 石岡市柿岡=0.5
42	11 08 34	沖縄本島近海 沖縄県 鹿児島県	26° 47.7' N	128° 24.9' E	31km	M: 3.9 2 国頭村奥=1.5 1 国頭村辺土名*=1.3 1 与論町茶花*=1.3 与論町麦屋=1.0
43	11 16 06	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 09.4' N	129° 13.6' E	10km	M: 2.6 1 鹿児島十島村小宝島*=1.3
44	11 19 34	父島近海 東京都	27° 25.1' N	141° 45.2' E	61km	M: 4.1 1 小笠原村父島三日月山=0.9 小笠原村父島西町=0.8
45	11 20 21	福島県沖 福島県	37° 08.2' N	141° 03.7' E	54km	M: 3.7 2 白河市新白河*=1.8 田村市都路町*=1.6 檜葉町北田*=1.5 1 小野町小野新町*=1.3 田村市船引町*=1.3 小野町中通*=1.2 田村市滝根町*=1.2 川内村上川内早渡*=1.2 田村市常葉町*=1.0 いわき市三和町=1.0 白河市郭内=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 玉川村小高*=0.9 浅川町浅川*=0.9 浪江町幾世橋=0.8 天栄村下松本*=0.7 富岡町本岡*=0.6 郡山市開成*=0.6 鏡石町不時沼*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 大熊町野上*=0.5 川内村上川内小山平*=0.5
46	11 21 07	宮古島近海 沖縄県	24° 17.5' N	125° 16.1' E	43km	M: 4.2 1 宮古島市城辺福北=0.6
47	12 06 21	茨城県南部 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県	35° 59.7' N	140° 05.6' E	61km	M: 3.5 1 土浦市常名=1.3 筑西市門井*=1.3 城里町小勝*=1.1 笠間市下郷*=1.0 つくば市小茎*=1.0 筑西市舟生=1.0 桜川市真壁*=0.9 石岡市若宮*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 取手市寺田*=0.8 牛久市城中町*=0.7 石岡市柿岡=0.7 つくばみらい市福田*=0.7 笠間市笠間*=0.7 土浦市藤沢*=0.7 桜川市岩瀬*=0.6 小美玉市小川*=0.6 桜川市羽田*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 城里町石塚*=0.5 笠間市石井*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 1 栃木市旭町=1.3 真岡市石島*=1.2 真岡市田町*=0.5 茂木町茂木*=0.5 1 宮代町笠原*=0.6 1 野田市鶴泰*=0.7
48	12 10 29	長野県北部 長野県	36° 37.9' N	137° 54.0' E	11km	M: 5.2 5弱 小川村高府*=4.7 大町市美麻*=4.6 長野市信州新町新町*=4.5 長野市中条*=4.5 4 大町市八坂*=3.9 長野市鬼無里*=3.8 小谷村中小谷*=3.8 長野市箱清水=3.7 長野市戸隠*=3.5 3 大町市大町図書館*=3.4 白馬村北城*=3.4 生坂村役場*=3.4 大町市役所=3.3 長野市大岡*=3.3 飯綱町牟礼*=3.2 信濃町柏原東裏*=3.1 長野市豊野町豊野*=3.0 飯綱町芋川*=3.0 中野市豊津*=2.8 長野市鶴賀緑町*=2.7 長野市池田町池田*=2.6 松本市丸の内*=2.6 松本市寿*=2.6 青木村田沢青木*=2.6 安曇野市明科*=2.6 筑北村西条*=2.6 筑北村坂北*=2.6 麻績村麻*=2.5

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		松川村役場＊=2.5 千曲市杭瀬下＊=2.5 安曇野市豊科＊=2.5 筑北村坂井=2.5 諏訪市高島＊=2.5 松本市会田＊=2.5 2 上田市上武石＊=2.4 諏訪市湖岸通り=2.4 安曇野市穂高支所=2.4 安曇野市穂高福祉センター＊=2.4 松本市美須々＊=2.3 佐久市下小田切=2.3 上田市上田古戦場公園=2.3 松本市沢村=2.3 安曇野市堀金＊=2.3 千曲市上山田温泉＊=2.2 立科町芦田＊=2.1 小海町豊里＊=2.1 長和町古町＊=2.0 岡谷市幸町＊=2.0 坂城町坂城＊=2.0 下諏訪町役場＊=1.9 山形村役場＊=1.9 須坂市須坂＊=1.9 千曲市戸倉＊=1.9 飯山市飯山福寿町＊=1.9 上田市真田町長＊=1.8 松本市梓川梓＊=1.8 長野高森町下市田＊=1.8 木曽町三岳＊=1.8 松本市安曇＊=1.7 上田市役所＊=1.7 長和町和田＊=1.7 上田市上丸子＊=1.7 小布施町小布施＊=1.7 安曇野市三郷＊=1.7 辰野町中央=1.7 箕輪町中箕輪＊=1.7 小諸市文化センター＊=1.6 茅野市葛井公園＊=1.6 佐久市甲＊=1.6 木島平村往郷＊=1.6 中川村大草＊=1.6 東御市県＊=1.6 佐久穂町畑＊=1.6 佐久市中込＊=1.5 軽井沢町追分=1.5 飯田市高羽町=1.5 大鹿村大河原＊=1.5 1 長野高山村高井＊=1.4 山ノ内町消防署＊=1.4 塩尻市楡川保育園＊=1.4 塩尻市広丘高出＊=1.4 佐久市臼田＊=1.4 長野南牧村海ノ口＊=1.4 南箕輪村役場＊=1.4 阿智村清内路＊=1.4 木曽町開田高原西野＊=1.4 長野市松代=1.3 山ノ内町平穂=1.3 小諸市小諸消防署＊=1.3 東御市大日向＊=1.3 佐久穂町高野町＊=1.3 飯田市上郷黒田＊=1.3 平谷村役場＊=1.3 泰阜村役場＊=1.3 木曽町新開＊=1.3 佐久市望月＊=1.2 軽井沢町長倉＊=1.2 飯島町飯島=1.2 木曽町日義＊=1.2 松本市奈川＊=1.2 長野川上村大深山＊=1.1 富士見町落合＊=1.1 飯田市南信濃＊=1.1 松川町元大島＊=1.1 下條村睦沢＊=1.1 木祖村藪原＊=1.1 王滝村役場＊=1.1 野沢温泉村豊郷＊=1.1 塩尻市木曽平沢＊=1.1 宮田村役場＊=1.0 北相木村役場＊=1.0 喬木村役場＊=1.0 栄村北信＊=1.0 飯田市大久保町＊=1.0 伊那市下新田＊=1.0 伊那市長谷溝口＊=1.0 伊那市高遠町荊口=0.9 大桑村長野＊=0.9 駒ヶ根市赤須町＊=0.9 木曽町福島＊=0.9 阿智村駒場＊=0.9 伊那市高遠町西高遠＊=0.8 南相木村見上＊=0.8 阿南町東条＊=0.8 根羽村役場＊=0.8 売木村役場＊=0.8 泰阜村梨久保=0.8 豊丘村神稲＊=0.8 南木曽町役場＊=0.8 上松町駅前通り ＊=0.7 南木曽町読書小学校＊=0.7 王滝村鈴ヶ沢＊=0.7 原村役場＊=0.7 天龍村平岡＊=0.7 3 糸魚川市大野＊=3.1 糸魚川市能生＊=3.0 糸魚川市一の宮=2.8 糸魚川市青海＊=2.8 妙高市関川＊=2.6 2 上越市中ノ俣=2.0 上越市三和区井ノ口＊=1.9 十日町市松代＊=1.8 上越市中郷区藤沢＊=1.8 上越市木田＊=1.8 長岡市小島谷＊=1.7 柏崎市高柳町岡野町＊=1.7 上越市牧区柳島＊=1.7 新潟西蒲区巻甲＊=1.7 上越市板倉区針＊=1.7 燕市秋葉町＊=1.6 上越市名立区名立大町＊=1.6 刈羽村割町新田＊=1.5 南魚沼市六日町=1.5 妙高市田町＊=1.5 燕市分水桜町＊=1.5 新潟西蒲区役所=1.5 十日町市上山＊=1.5 上越市頸城区百間町＊=1.5 1 上越市大手町=1.4 上越市安塚区安塚＊=1.3 長岡市山古志竹沢＊=1.3 長岡市寺泊敦ヶ曾根＊=1.3 長岡市中之島＊=1.3 柏崎市中央町＊=1.3 加茂市幸町＊=1.3 十日町市松之山＊=1.3 弥彦村矢作＊=1.3 阿賀野市姥ヶ橋＊=1.3 佐渡市小町＊=1.2 三条市新堀＊=1.2 上越市柿崎区柿崎＊=1.2 上越市吉川区原之町＊=1.2 上越市大島区岡＊=1.2 南魚沼市塩沢庁舎＊=1.2 五泉市太田＊=1.2 妙高市栄町＊=1.2 長岡市小国町法坂＊=1.2 阿賀町鹿瀬中学校＊=1.1 見附市昭和町＊=1.1 上越市清里区荒牧＊=1.1 長岡市上岩井＊=1.1 上越市浦川原区釜淵＊=1.1 阿賀野市岡山町＊=1.1 三条市西裏館＊=1.1 燕市吉田西太田＊=1.0 十日町市千歳町＊=1.0 長岡市浦＊=1.0 長岡市与板町与板＊=1.0 出雲崎町米田=1.0 十日町市下条＊=1.0 新潟西区寺尾東＊=1.0 佐渡市千種＊=1.0 上越市大潟区土底浜＊=0.9 新潟中央区美咲町=0.9 新潟南区白根＊=0.9 出雲崎町川西＊=0.9 南魚沼市塩沢小学校＊=0.9 佐渡市赤泊＊=0.8 佐渡市両津支所＊=0.8 小千谷市旭町＊=0.8 魚沼市須原＊=0.8 阿賀町津川＊=0.8 新潟北区葛塚＊=0.8 長岡市東川口＊=0.8 小千谷市城内=0.7 十日町市水口沢＊=0.7 田上町原ヶ崎新田＊=0.7 阿賀野市山崎＊=0.6 佐渡市相川三町目=0.6 柏崎市西山町池浦＊=0.6 五泉市村松乙=0.6 湯沢町神立＊=0.6 佐渡市真野新町＊=0.5 2 中之条町日影=1.6 1 神流町生利＊=1.3 安中市松井田町＊=1.2 嬭恋村大前＊=1.2 群馬上野村川和＊=1.2 長野原町長野原＊=0.9 高崎市箕郷町＊=0.9 渋川市赤城町＊=0.8 草津町草津＊=0.8 高崎市足門町＊=0.8 神流町神ヶ原＊=0.7 安中市安中＊=0.6 富岡市妙義町＊=0.6 高崎市下室田＊=0.6 富岡市七日市=0.5 沼田市西倉内町=0.5 甘楽町小幡＊=0.5 渋川市村上＊=0.5 前橋市富士見町＊=0.5 藤岡市鬼石＊=0.5 富山県 2 滑川市寺家町＊=1.8 氷見市加納＊=1.6 1 舟橋村仏生寺＊=1.4 射水市加茂中部＊=1.4 上町町稗田＊=1.3 立山町吉峰=1.3 射水市橋下条＊=1.3 富山市八尾町福島=1.3 富山市石坂=1.1 富山市新桜町＊=1.1 射水市小島＊=1.1 射水市本町＊=1.1 射水市二口＊=1.1 入善町入膳＊=1.0 富山朝日町道下=0.9 富山市花崎＊=0.9 立山町芦峯寺＊=0.9 高岡市伏木=0.7 小矢部市泉町=0.7 魚津市釈迦堂=0.7 黒部市宇奈月町下立＊=0.7 石川県 2 珠洲市正院町＊=1.7 輪島市鳳至町=1.5 中能登町末坂＊=1.5 1 能登町宇出津=1.2 加賀市大聖寺南町＊=1.0 七尾市本府中町=0.7 輪島市河井町＊=0.6 珠洲市大谷町＊=0.6 山梨県 2 山梨北杜市長坂町＊=1.8 富士川町鯉沢＊=1.7 1 大月市大月=1.2 山梨市牧丘町窪平＊=1.1 山梨北杜市大泉町＊=1.1 小菅村小菅小学校＊=1.1 丹波山村丹波＊=1.1 甲州市勝沼町勝沼＊=1.0 山梨北杜市明野町＊=0.9 山梨北杜市高根町＊=0.9 富士吉田市上吉田＊=0.8 山梨北杜市健康ランド須玉＊=0.8 大月市御太刀＊=0.7 富士河口湖町船津=0.7 身延町大磯小磯=0.7 甲州市塩山上於曽＊=0.7 甲州市塩山下於曽=0.6 甲府市飯田=0.6 笛吹市春日居町寺本＊=0.5 静岡県 2 富士市吉永＊=1.6 浜松天竜区佐久間町＊=1.6 牧之原市静波＊=1.5 1 富士宮市弓沢町=1.3 静岡菊川市赤土＊=1.3 静岡清水区千歳町=1.2 袋井市浅名＊=1.2 伊豆の国市長岡＊=1.1 藤枝市岡部町岡部＊=1.1 御殿場市萩原=1.0 浜松北区三ヶ日町=1.0 伊豆の国市四日町＊=0.9 吉田町住吉＊=0.9 牧之原市鬼女新田=0.9 磐田市福田＊=0.9 沼津市御幸町＊=0.8 沼津市高島本町＊=0.8 富士宮市野中＊=0.8 静岡葵区追手町県庁＊=0.8 静岡清水区蒲原新栄＊=0.8 袋井市新屋=0.8 湖西市吉美＊=0.8 浜松北区細江町＊=0.8 焼津市宗高＊=0.7 焼津市本町＊=0.7 静岡葵区追手町市役所＊=0.7 御前崎市池新田＊=0.7 西伊豆町宇久須＊=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7 西伊豆町仁科＊=0.6 富士市岩渕＊=0.6				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		静岡清水町堂庭※=0.6 静岡駿河区曲金=0.6 浜松南区江之島町※=0.5 磐田市森岡※=0.5 埼玉県 1 秩父市中津川※=1.4 さいたま宮区天沼町※=0.8 秩父市近戸町※=0.8 秩父市上町=0.7 神奈川県 1 綾瀬市深谷※=0.7 岐阜県 1 中津川市本町※=0.9 中津川市川上※=0.9 恵那市上矢作町※=0.9 中津川市かやの木町=0.8 中津川市坂下※=0.8 中津川市山口※=0.6 高山市上宝町本郷※=0.6 中津川市加子母※=0.6 恵那市長島町※=0.5 高山市奥飛騨温泉郷栃尾※=0.5 中津川市福岡※=0.5 中津川市付知町※=0.5 恵那市山岡町※=0.5 愛知県 1 新城市作手高里松風呂※=0.8 豊田市小坂町※=0.8 新城市矢部=0.7 豊根村富山※=0.7 名古屋北区萩野通※=0.7 清須市春日振形※=0.7 豊橋市向山=0.6 名古屋瑞穂区塩入町※=0.6 名古屋熱田区一番※=0.6 名古屋西区八筋町※=0.5 豊田市小坂本町=0.5 豊田市長興寺※=0.5 岩倉市川井町※=0.5 幸田町菱池※=0.5				
49	12 10 32	長野県北部 長野県	36° 38.8' N	137° 54.4' E	11km	M: 2.3
		1 小川村高府※=0.8				
50	12 10 35	長野県北部 長野県	36° 38.2' N	137° 54.1' E	11km	M: 2.2
		1 小川村高府※=0.9				
51	12 10 41	長野県北部 長野県	36° 38.0' N	137° 54.1' E	11km	M: 3.1
		3 小川村高府※=2.6				
		2 長野市信州新町新町※=1.9 大町市美麻※=1.9				
		1 長野市中条※=1.2 大町市役所=1.1 白馬村北城※=0.7 大町市大町図書館※=0.5				
52	12 11 10	長野県北部 長野県	36° 38.5' N	137° 54.1' E	10km	M: 2.8
		2 小川村高府※=1.7				
		1 長野市信州新町新町※=1.2 大町市美麻※=1.0 大町市役所=0.7 長野市中条※=0.6				
53	12 12 40	伊勢湾 愛知県	34° 44.5' N	136° 42.2' E	40km	M: 3.8
		2 名古屋守山区下志段味※=1.8 名古屋港区金城ふ頭※=1.5				
		1 一宮市千秋=1.3 豊田市坂上町※=1.3 常滑市新開町=1.3 西尾市矢曾根町※=1.2				
		名古屋守山区西新※=1.2 長久手市岩作城の内※=1.2 田原市赤羽根町※=1.2 名古屋瑞穂区塩入町※=1.2				
		愛知美浜町河和※=1.1 名古屋南区鳴尾※=1.1 知多市緑町※=1.1 南知多町豊浜=1.1				
		豊田市長興寺※=1.0 名古屋港区春田野※=1.0 西尾市一色町=1.0 名古屋緑区有松町※=1.0				
		名古屋名東区名東本町※=1.0 中部国際空港=1.0 田原市福江町=1.0 西尾市西幡豆町※=0.9				
		あま市甚目寺※=0.9 新城市矢部=0.9 名古屋千種区日和町=0.8 一宮市西五城※=0.8				
		一宮市木曽川町※=0.8 一宮市緑※=0.8 大府市中央町※=0.8 名古屋港区善進本町※=0.8				
		豊田市大沼町※=0.8 豊田市小渡町※=0.8 愛西市石田町※=0.8 蒲郡市御幸町※=0.8				
		岡崎市樫山町※=0.8 豊田市小坂町※=0.7 名古屋西区八筋町※=0.7 東郷町春木※=0.7				
		名古屋中区県庁※=0.7 愛知みよし市三好町※=0.7 新城市作手高里松風呂※=0.7 名古屋東区筒井※=0.7				
		名古屋北区萩野通※=0.7 刈谷市寿町※=0.7 豊田市大洞町=0.7 豊田市足助町※=0.6				
		稲沢市祖父江町※=0.6 東海市加木屋町※=0.6 豊田市小原町※=0.6 尾張旭市東大道町※=0.6				
		名古屋昭和区阿由知通※=0.6 飛島村竹之郷※=0.6 豊田市駒場町※=0.6 豊川市小坂井町※=0.6				
		豊田市小坂本町=0.6 清須市清洲※=0.6 田原市古田町※=0.6 犬山市五郎丸※=0.6 田原市田原町※=0.6				
		弥富市前ヶ須町※=0.5 阿久比町卯坂※=0.5 西尾市吉良町※=0.5 日進市蟹甲町※=0.5				
		武豊町長尾山※=0.5 小牧市安田町※=0.5 蟹江町蟹江本町※=0.5 清須市春日振形※=0.5				
		三重県 2 四日市市新浜町※=1.6				
		1 鈴鹿市西条=1.3 松阪市魚町※=1.3 松阪市上川町=1.2 伊勢市楠部町※=0.7 伊賀市小田町※=0.6				
		龜山市椿世町※=0.6 四日市市日永=0.5				
		岐阜県 1 羽島市竹鼻町※=1.1 恵那市上矢作町※=0.9 各務原市川島河田町※=0.9 瑞穂市別府※=0.9				
		川辺町中川辺※=0.7 土岐市肥田※=0.7 大垣市丸の内※=0.6 大野町大野※=0.6 輪之内町四郷※=0.5				
		滋賀県 1 竜王町小口※=1.1 東近江市市子川原町※=1.0 大津市南郷※=0.9 湖南市中央森北公園※=0.9				
		湖南市石部中央西庁舎※=0.8 高島市勝野※=0.7 野洲市西河原※=0.7 彦根市西今町※=0.6				
		滋賀日野町河原※=0.6 湖南市中央東庁舎※=0.6 大津市国分※=0.5				
		京都府 1 宇治田原町荒木※=1.0 宇治市宇治琵琶=0.9 京都伏見区向島※=0.8 宇治市折居台※=0.8				
		精華町南稲八妻※=0.8 南山城村北大河原※=0.6 京都西京区大枝※=0.5 城陽市寺田※=0.5				
		木津川市加茂町里※=0.5				
		奈良県 1 山添村大西※=1.0 高取町観覧寺※=1.0 桜井市初瀬=0.6 宇陀市菟田野松井※=0.6				
		奈良市月ヶ瀬山※=0.5 曾爾村今井※=0.5 宇陀市大宇陀迫間※=0.5				
54	12 12 48	釧路沖 北海道	42° 32.3' N	144° 17.7' E	70km	M: 4.0
		1 十勝大樹町生花※=0.9 標茶町塘路※=0.9 弟子屈町弟子屈※=0.8 標津町北2条※=0.6				
		釧路市音別町尺別=0.5 別海町常盤=0.5				
55	12 17 47	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 07.0' N	129° 08.5' E	7km	M: 2.8
		1 鹿児島十島村宝島※=1.0				
56	12 18 21	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 07.3' N	129° 07.6' E	7km	M: 2.9
		1 鹿児島十島村宝島※=0.9				
57	12 18 27	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 09.0' N	129° 10.2' E	10km	M: 2.8
		1 鹿児島十島村宝島※=0.8				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
58	12 19 17	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島*=1.3 鹿児島十島村小宝島*=1.2	29° 08.1' N	129° 08.9' E	9km	M: 3.3
59	12 21 52	東京湾 千葉県 1 千葉中央区都町*=0.6 東京都 1 東京千代田区大手町=0.6 調布市西つつじヶ丘*=0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町*=0.9 川崎中原区小杉町*=0.7	35° 35.9' N	140° 04.8' E	69km	M: 3.2
60	13 01 49	宮城県沖 宮城県 4 南三陸町志津川=3.5 3 石巻市桃生町*=3.0 女川町女川浜*=3.0 東松島市矢本*=2.7 岩沼市桜*=2.7 涌谷町新町裏=2.5 登米市豊里町*=2.5 2 登米市迫町*=2.4 大崎市田尻*=2.4 石巻市相野谷*=2.4 松島町高城=2.4 大崎市古川三日町=2.3 石巻市大街道南*=2.3 名取市増田*=2.2 登米市米山町*=2.2 大崎市古川北町*=2.2 石巻市前谷地*=2.2 仙台宮城野区五輪=2.1 石巻市鮎川浜*=2.1 栗原市若柳*=2.1 石巻市北上町*=2.1 登米市中田町=2.1 気仙沼市唐桑町*=2.1 大崎市鹿島台*=2.0 宮城美里町木間塚*=2.0 気仙沼市赤岩=2.0 宮城美里町北浦*=2.0 仙台若林区遠見塚*=2.0 石巻市泉町=2.0 登米市登米町*=1.9 石巻市大瓜=1.9 気仙沼市笹が陣*=1.9 角田市角田*=1.9 南三陸町歌津*=1.9 仙台宮城野区苦竹*=1.9 塩竈市旭町*=1.9 東松島市小野*=1.9 大崎市松山*=1.9 大崎市古川大崎=1.8 山元町浅生原*=1.8 仙台空港=1.8 登米市東和町*=1.8 大郷町粕川*=1.6 宮城川崎町前川*=1.5 亘理町下小路*=1.5 仙台青葉区作並*=1.5 石巻市雄勝町*=1.5 登米市津山町*=1.5 栗原市志波姫*=1.5 蔵王町円田*=1.5 大河原町新南*=1.5 1 宮城加美町中新田*=1.4 栗原市築館*=1.4 栗原市瀬峰*=1.4 栗原市高清水*=1.4 柴田町船岡=1.4 仙台青葉区雨宮*=1.4 利府町利府*=1.4 登米市石越町*=1.3 気仙沼市本吉町津谷*=1.3 仙台太白区山田*=1.3 七ヶ浜町東宮浜*=1.3 栗原市一迫*=1.3 仙台青葉区落合*=1.2 仙台区将監*=1.2 多賀城市中央*=1.2 色麻町四竈*=1.2 栗原市栗駒=1.2 大衡村大衡*=1.2 気仙沼市本吉町西川内=1.2 丸森町鳥屋*=1.2 栗原市金成*=1.1 仙台青葉区大倉=1.1 富谷市富谷*=1.1 栗原市鶯沢*=1.0 大和町吉岡*=1.0 村田町村田*=0.9 宮城加美町小野田*=0.9 大崎市鳴子*=0.9 大崎市三本木*=0.9 大崎市岩出山*=0.9 白石市亘理町*=0.9 岩手県 3 一関市千厩町*=2.6 2 一関市室根町*=2.2 釜石市中妻町*=2.1 一関市藤沢町*=1.9 一関市花泉町*=1.7 一関市大東町=1.6 大船渡市猪川町=1.6 大船渡市大船渡町=1.6 住田町世田米*=1.6 矢巾町南矢幅*=1.6 盛岡市薮川*=1.5 奥州市江刺*=1.5 1 宮古市田老*=1.4 一関市東山町*=1.4 奥州市前沢*=1.4 北上市相去町*=1.3 大船渡市盛町*=1.3 花巻市東和町*=1.3 奥州市衣川*=1.3 一関市竹山町*=1.2 釜石市只越町=1.2 一関市川崎町*=1.2 平泉町平泉*=1.2 盛岡市山王町=1.2 普代村銅屋*=1.2 陸前高田市高田町*=1.2 山田町八幡町=1.1 奥州市水沢佐倉河*=1.0 盛岡市洪民*=1.0 奥州市胆沢*=1.0 遠野市青笹町*=1.0 北上市柳原町=1.0 花巻市石鳥谷町*=0.9 金ヶ崎町西根*=0.9 遠野市宮守町*=0.8 山田町大沢*=0.8 奥州市水沢大鐘町=0.8 久慈市枝成沢=0.7 八幡平市田頭*=0.7 花巻市大迫町=0.6 宮古市区界*=0.6 宮古市鉄ヶ崎=0.5 青森県 2 階上町道仏*=1.5 1 八戸市南郷*=1.1 五戸町古館=0.8 青森南部町平*=0.8 青森南部町苫米地*=0.7 おひらせ町中下田*=0.6 福島県 2 相馬市中村*=1.9 南相馬市鹿島区西町*=1.6 1 田村市大越町*=1.4 田村市滝根町*=1.4 双葉町両竹*=1.4 国見町藤田*=1.3 川俣町五百田*=1.3 玉川村小高*=1.3 田村市都路町*=1.3 楡葉町北田*=1.3 田村市船引町=1.2 福島伊達市保原町*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 飯館村伊丹沢*=1.2 南相馬市小高区*=1.2 福島伊達市梁川町*=1.1 福島伊達市霊山町*=1.1 本宮市本宮*=1.1 本宮市白岩*=1.1 いわき市三和町=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 二本松市針道*=1.0 天栄村下松本*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 田村市常葉町*=1.0 南相馬市原町区高見町*=1.0 桑折町東大隅*=0.9 富岡町本岡*=0.9 葛尾村落合落合*=0.9 福島市松木町=0.9 福島市桜木町*=0.9 南相馬市原町区三島町=0.9 福島市五老内町*=0.9 鏡石町不時沼*=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.8 平田村永田*=0.8 小野町中通*=0.8 小野町小野新町*=0.8 白河市新白河*=0.8 須賀川市岩瀬支所*=0.8 南相馬市鹿島区栢窪=0.8 二本松市油井*=0.8 川内村上川内早渡*=0.7 郡山市朝日=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 川内村下川内=0.7 浅川町浅川*=0.6 福島伊達市月館町*=0.6 大熊町野上*=0.6 石川町長久保*=0.6 郡山市湖南町*=0.5 秋田県 1 大仙市高梨*=0.8 大仙市刈和野*=0.8 横手市大雄*=0.7 秋田市河辺和田*=0.6 山形県 1 中山町長崎*=1.0 米沢市林泉寺*=0.8 河北町谷地=0.7 尾花沢市若葉町*=0.7 天童市老野森*=0.6 大石田町緑町*=0.5 山辺町緑ヶ丘*=0.5 河北町役場*=0.5 西川町大井沢*=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.7 笠間市石井*=0.7	38° 31.8' N	141° 48.9' E	50km	M: 4.8
61	13 02 28	岩手県内陸南部 岩手県 1 宮古市区界*=0.6	39° 28.1' N	141° 32.0' E	16km	M: 3.0
62	13 04 23	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村役場*=0.7 神津島村金長=0.6	34° 14.7' N	139° 09.4' E	9km	M: 2.0
63	13 05 02	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本中央区大江*=0.6 熊本東区佐土原*=0.5	32° 46.7' N	130° 48.0' E	7km	M: 2.2
64	13 07 22	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=1.1 岩手県 1 九戸村伊保内*=0.7	40° 21.3' N	142° 04.6' E	51km	M: 3.5

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
65	13 11 24	長野県南部 長野県 1 木曽町新開※=0.6	35° 56.6' N	137° 38.9' E	8km	M: 2.2
66	13 17 53	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村宝島※=0.6	29° 07.3' N	129° 09.8' E	9km	M: 2.7
67	13 22 35	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市東陽町※=0.9 宇城市小川町※=0.9 氷川町島地※=0.9 氷川町宮原※=0.7	32° 33.6' N	130° 41.1' E	2km	M: 2.0
68	14 03 12	和歌山県南部 三重県 1 尾鷲市南浦※=0.5 和歌山県 1 湯浅町青木※=0.5	34° 00.8' N	135° 37.4' E	55km	M: 3.3
69	14 03 21	長野県北部 長野県 1 小川村高府※=1.2 大町市美麻※=0.5	36° 38.4' N	137° 54.1' E	10km	M: 2.3
70	14 09 03	長野県北部 長野県 1 小川村高府※=0.8	36° 38.3' N	137° 54.0' E	10km	M: 2.1
71	14 16 22	宮城県沖 岩手県 1 一関市藤沢町※=0.8 一関市千厩町※=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町※=1.1 石巻市北上町※=1.0 女川町女川浜※=0.9 石巻市大街道南※=0.6 南三陸町志津川=0.6 南三陸町歌津※=0.5 石巻市泉町=0.5	38° 20.1' N	142° 17.3' E	33km	M: 4.0
72	14 19 31	岩手県沖 岩手県 3 盛岡市薮川※=2.8 2 普代村銅屋※=2.3 盛岡市浜民※=2.3 野田村野田※=2.0 八幡平市田頭※=2.0 八幡平市野駄※=2.0 滝沢市鶴飼※=2.0 宮古市田老※=1.9 矢巾町南矢幅※=1.9 二戸市浄法寺町※=1.8 岩手町五日市※=1.8 軽米町軽米※=1.8 盛岡市山王町=1.8 八幡平市大更=1.7 宮古市五月町※=1.7 紫波町紫波中央駅前※=1.7 一戸町高善寺※=1.7 八幡平市吠田※=1.5 1 釜石市中妻町※=1.4 北上市相去町※=1.4 雫石町千刈田=1.3 葛巻町葛巻元木=1.3 花巻市材木町※=1.3 北上市柳原町=1.3 九戸村伊保内※=1.2 花巻市石鳥谷町※=1.2 花巻市東和町※=1.2 宮古市鉏ヶ崎=1.2 岩手洋野町種市=1.2 奥州市江刺※=1.2 雫石町西根上駒木野=1.1 奥州市胆沢※=1.1 久慈市枝成沢=1.1 盛岡市馬場町※=1.1 遠野市青笹町※=1.1 金ヶ崎町西根※=1.1 二戸市福岡=1.0 一関市千厩町※=1.0 一関市室根町※=1.0 平泉町平泉※=1.0 花巻市大迫町=1.0 久慈市川崎町=1.0 宮古市区界※=0.9 住田町世田米※=0.9 奥州市水沢大鐘町=0.9 宮古市川井※=0.9 久慈市長内町※=0.9 二戸市石切所※=0.9 山田町大沢※=0.9 田野畑村田野畑=0.9 田野畑村役場※=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 釜石市只越町=0.8 山田町八幡町=0.8 奥州市水沢佐倉河※=0.8 遠野市宮守町※=0.8 花巻市大迫総合支所※=0.7 西和賀町沢内川舟※=0.7 西和賀町川尻※=0.6 宮古市茂市※=0.6 岩手洋野町大野※=0.6 葛巻町消防分署※=0.6 北海道 2 函館市新浜町※=1.6 函館市泊町※=1.5 青森県 1 厚真町鹿沼=0.8 様似町栄町※=0.6 木古内町木古内※=0.6 2 青森南部町苫米地※=2.4 五戸町古館=2.3 八戸市南郷※=2.3 青森南部町平※=2.3 階上町道仏※=2.3 野辺地町野辺地※=2.1 七戸町森ノ上※=2.1 おひらせ町中下田※=2.1 平内町小湊=2.1 野辺地町田狭沢※=2.1 六戸町大落瀬※=1.9 東北町上北南※=1.9 八戸市内丸※=1.9 三沢市桜町※=1.8 東通村砂子又沢内※=1.8 八戸市湊町=1.8 五戸町倉石中市※=1.7 おひらせ町上明堂※=1.7 七戸町七戸※=1.7 外ヶ浜町蟹田※=1.6 青森市花園=1.6 むつ市大畑町中島※=1.6 三戸町在府小路町※=1.6 十和田市西十二番町※=1.5 十和田市西二番町※=1.5 1 青森市中央※=1.4 横浜町林ノ脇※=1.4 東北町塔ノ沢山※=1.4 むつ市金曲=1.4 横浜町寺下※=1.3 むつ市金谷※=1.3 十和田市奥瀬※=1.3 青森南部町沖田面※=1.3 東通村砂子又蒲谷地=1.2 田子町田子※=1.2 六ヶ所村尾駁=1.2 むつ市川内町※=1.2 平内町東田沢※=1.1 むつ市脇野沢※=1.0 六ヶ所村出戸=0.9 蓬田村蓬田※=0.8 佐井村長後※=0.8 五所川原市金木町※=0.8 新郷村戸来※=0.8 大間町大間※=0.8 藤崎町西豊田※=0.7 東通村白糠※=0.7 青森市浪岡※=0.7 中泊町中里※=0.7 八戸市島守=0.6 宮城県 1 登米市迫町※=1.3 石巻市桃生町※=1.2 栗原市若柳※=1.1 登米市米山町※=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 登米市中田町=1.0 登米市登米町※=1.0 宮城美里町木間塚※=1.0 大崎市松山※=0.9 大崎市田尻※=0.9 大崎市古川三日町=0.8 大崎市古川北町※=0.8 丸森町鳥屋※=0.8 石巻市大街道南※=0.8 石巻市前谷地※=0.8 松島町高城=0.8 気仙沼市唐桑町※=0.8 栗原市栗駒=0.8 栗原市築館※=0.8 栗原市志波姫※=0.7 栗原市一迫※=0.7 石巻市相野谷※=0.7 気仙沼市笹が陣※=0.7 東松島市矢本※=0.7 大河原町新南※=0.6 南三陸町志津川=0.6 栗原市花山※=0.6 栗原市高清水※=0.6 横手市大雄※=1.3 大仙市高梨※=1.3 北秋田市花園町=1.2 大館市桜町※=1.0 大館市早口※=1.0 北秋田市新田目※=1.0 大仙市刈和野※=0.9 能代市二ツ井町上台※=0.8 大館市比内町扇田※=0.8 鹿角市花輪※=0.8 大仙市大曲花園町※=0.8 由利本荘市前郷※=0.7 小坂町小坂砂森※=0.7 仙北市田沢湖生保内宮ノ後※=0.6 仙北市田沢湖生保内上清水※=0.5	40° 03.5' N	142° 41.1' E	29km	M: 5.1
73	15 07 46	岩手県沖 岩手県 2 山田町大沢※=1.8 宮古市田老※=1.6 宮古市五月町※=1.6 1 宮古市鉏ヶ崎=1.3 山田町八幡町=1.3 宮古市川井※=1.0 釜石市中妻町※=0.9 住田町世田米※=0.9 宮古市茂市※=0.8 釜石市只越町=0.8 宮古市長沢=0.5 青森県 1 階上町道仏※=0.6	39° 38.2' N	142° 06.4' E	49km	M: 3.7

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
74	15 14 00	山梨県東部・富士五湖 35° 29.5' N 139° 01.2' E 27km M: 4.3 神奈川県 3 三浦市城山町*=2.8 中井町比奈窪*=2.6 山北町山北*=2.6 2 秦野市曾屋=2.4 厚木市中町*=2.4 海老名市大谷*=2.3 秦野市平沢*=2.3 小田原市荻窪*=2.2 藤沢市打戻*=2.0 綾瀬市深谷*=2.0 湯河原町中央=1.9 相模原中央区上溝*=1.9 相模原緑区中野*=1.9 寒川町宮山*=1.9 大磯町月京*=1.9 二宮町中里*=1.9 平塚市浅間町*=1.9 横浜中区山手町=1.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.9 横浜戸塚区鳥が丘*=1.9 厚木市下津古久*=1.9 松田町松田惣領*=1.9 藤沢市辻堂東海岸*=1.8 藤沢市大庭*=1.8 伊勢原市伊勢原*=1.8 神奈川大井町金子*=1.8 横浜泉区岡津町*=1.8 真鶴町岩*=1.8 座間市相武台*=1.7 相模原中央区水郷田名*=1.7 相模原南区磯部*=1.7 横浜旭区上白根町*=1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 横浜瀬谷区三ツ境*=1.7 箱根町湯本*=1.6 川崎中原区小杉町*=1.6 横浜金沢区白帆*=1.6 横浜港北区綱島西*=1.6 横浜港南区丸山台東部*=1.6 横浜中区山下町*=1.6 横浜瀬谷区中屋敷*=1.6 南足柄市関本*=1.6 横浜磯子区磯子*=1.6 横浜青葉区市ケ尾町*=1.6 横浜旭区今宿東町*=1.5 藤沢市長後*=1.5 清川村煤ヶ谷*=1.5 1 横浜鶴見区末広町*=1.4 横浜西区浜松町*=1.4 横浜中区山吹町*=1.4 横浜港北区大倉山*=1.4 横浜港北区日吉本町*=1.4 横浜泉区和泉町*=1.4 愛川町角田*=1.4 相模原中央区中央=1.4 相模原緑区大島*=1.4 横浜緑区十日市場町*=1.3 横浜神奈川区広台太田町*=1.3 横浜青葉区榎が丘*=1.2 川崎川崎区宮前町*=1.2 大和市下鶴間*=1.2 小田原市久野=1.2 開成町延沢*=1.2 横浜南区大岡*=1.2 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.2 相模原緑区橋本*=1.2 横浜戸塚区戸塚町*=1.2 横浜緑区鴨居*=1.2 横浜鶴見区馬場*=1.2 鎌倉市御成町*=1.1 横浜中区日本大通*=1.1 相模原南区相模大野*=1.1 横須賀市坂本町*=1.1 横浜金沢区寺前*=1.0 相模原緑区久保沢*=1.0 横浜金沢区釜利谷南*=1.0 川崎宮前区宮前平*=1.0 川崎宮前区野川*=1.0 横須賀市光の丘=1.0 相模原緑区小淵*=0.9 横浜栄区小菅ヶ谷*=0.9 川崎麻生区片平*=0.9 藤沢市朝日町*=0.8 川崎川崎区中島*=0.7 川崎幸区戸手本町*=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.6 相模原緑区若柳=0.6 山梨県 3 大月市御太刀*=2.5 富士河口湖町船津=2.5 富士河口湖町長浜*=2.5 2 山中湖村山中*=2.4 富士川町鯉沢*=2.2 上野原市役所*=2.2 道志村役場*=2.1 忍野村忍草*=2.1 大月市大月=2.1 富士吉田市上吉田*=2.0 西桂町小沼*=2.0 都留市上谷*=2.0 甲府市古閑町*=1.8 鳴沢村役場*=1.8 富士吉田市下吉田*=1.8 富士河口湖町勝山*=1.6 甲州市大和町初鹿野*=1.5 富士河口湖町役場*=1.5 1 甲府市相生*=1.4 身延町大磯小磯=1.4 笛吹市八代町南*=1.3 笛吹市境川町藤袋*=1.2 甲州市勝沼町勝沼*=1.2 中央市大鳥居*=1.2 中央市成島*=1.2 上野原市秋山*=1.2 丹波山村丹波*=1.2 山梨北杜市長坂町*=1.1 富士河口湖町本栖*=1.1 甲府市飯田=0.9 笛吹市芦川町中芦川*=0.8 富士川町天神中条*=0.8 甲州市塩山上於曽*=0.7 笛吹市春日居町寺本*=0.7 甲州市役所*=0.6 山梨市三富川浦*=0.6 笛吹市御坂町夏目原*=0.6 山梨市牧丘町窪平*=0.5 東京都 2 国分寺市戸倉=1.7 日野市神明*=1.6 東京渋谷区宇田川町*=1.6 東京世田谷区三軒茶屋*=1.5 町田市本町田*=1.5 1 小平市小川町*=1.4 東大和市中中央*=1.4 国分寺市本多*=1.3 町田市忠生*=1.3 東京中央区勝どき*=1.2 八王子市堀之内*=1.2 青梅市日向和田*=1.2 東京渋谷区本町*=1.1 西東京市中町*=1.1 東京杉並区高井戸*=1.1 東京千代田区大手町=1.1 町田市森野*=1.0 小金井市本町*=1.0 東京世田谷区世田谷*=1.0 八王子市石川町*=0.9 清瀬市中里*=0.9 調布市西つつじヶ丘*=0.9 伊豆大島町元町=0.9 東京大田区多摩川*=0.8 三鷹市野崎*=0.8 東京府中市寿町*=0.8 東京中野区中野*=0.7 東京利島村東山=0.7 東京港区海岸=0.7 東京品川区平塚*=0.7 東京世田谷区中町*=0.7 多摩市関戸*=0.7 青梅市東青梅=0.7 東京練馬区東大泉*=0.6 狛江市和泉本町*=0.6 東京府中市朝日町*=0.6 東京足立区神明南*=0.6 武蔵村山市本町*=0.6 東京葛飾区立石*=0.6 八王子市大横町=0.6 日の出町平井*=0.6 東京目黒区中央町*=0.6 東京文京区大塚*=0.5 東京世田谷区成城*=0.5 東京千代田区麹町*=0.5 東京中野区江古田*=0.5 東京大田区本羽田*=0.5 東京練馬区光が丘*=0.5 東京足立区千住中居町*=0.5 静岡県 2 熱海市泉*=1.9 伊豆市中伊豆グラウンド=1.9 東伊豆町奈良本*=1.8 富士宮市弓沢町=1.8 富士宮市野中*=1.8 松崎町江奈*=1.6 三島市東本町=1.6 1 御殿場市茱萸沢*=1.4 静岡清水区蒲原新栄*=1.3 御殿場市萩原=1.1 裾野市石脇*=1.1 西伊豆町一色*=1.0 熱海市網代=0.9 伊東市大原=0.6 群馬県 1 神流町生利*=0.5 埼玉県 1 川越市旭町=1.1 川島町下八ツ林*=0.8 さいたま大宮区天沼町*=0.8 埼玉美里町木部*=0.8 富士見市鶴馬*=0.7 秩父市中津川*=0.7 本庄市児玉町=0.7 草加市高砂*=0.6 さいたま緑区中尾*=0.5 さいたま北区宮原*=0.5 千葉県 1 南房総市富浦町青木*=1.1 館山市長須賀=0.7 市原市姉崎*=0.6 長野県 1 小海町豊里*=1.0 佐久穂町畑*=0.7				
75	15 19 48	茨城県北部 36° 41.7' N 140° 38.6' E 10km M: 3.2 茨城県 1 日立市十王町友部*=0.9 日立市助川小学校*=0.8 北茨城市中郷町*=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.6				
76	16 00 18	岐阜県美濃東部 35° 17.8' N 137° 27.9' E 11km M: 2.6 岐阜県 2 恵那市上矢作町*=1.5 1 恵那市山岡町*=0.5				
77	16 03 47	青森県東方沖 40° 43.3' N 142° 38.7' E 27km M: 4.0 青森県 1 五戸町古館=0.6 岩手県 1 軽米町軽米*=0.6 盛岡市薮川*=0.5				
78	16 08 55	長野県北部 36° 38.4' N 137° 53.7' E 9km M: 2.9 長野県 3 小川村高府*=2.5				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
79	16 10 14	長野県北部 長野県	36° 38.4' N	137° 54.1' E	10km	M: 1.9
80	16 14 43	熊本県熊本地方 熊本県	32° 44.2' N	130° 48.4' E	13km	M: 3.4
81	16 19 26	長野県北部 長野県	36° 38.3' N	137° 53.3' E	9km	M: 3.0
82	16 20 17	青森県三八上北地方 青森県	40° 45.4' N	141° 15.3' E	15km	M: 2.6
83	17 07 00	奄美大島北西沖 鹿児島県	28° 19.5' N	128° 09.3' E	125km	M: 4.2
84	17 07 27	熊本県熊本地方 熊本県	32° 49.4' N	130° 37.2' E	4km	M: 2.3
85	17 10 47	宮城県沖 宮城県	38° 12.2' N	142° 34.2' E	35km	M: 3.8
86	17 12 12	千葉県北東部 千葉県	35° 42.9' N	140° 43.8' E	52km	M: 5.3
		茨城県				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		五霞町小福田＊=1.5 1 常陸太田市高柿町＊=1.4 常陸大宮市山方＊=1.4 茨城古河市下大野＊=1.4 坂東市役所＊=1.4 常陸大宮市野口＊=1.3 日立市十王町友部＊=1.3 大洗町磯浜町＊=1.2 常陸大宮市北町＊=1.2 城里町阿波山＊=1.2 城里町小勝＊=1.2 茨城古河市長谷町＊=1.2 北茨城市中郷町＊=1.2 日立市役所＊=1.1 大子町池田＊=1.0 常陸大宮市中富町=1.0 常陸太田市町屋町=0.8 常陸大宮市上小瀬＊=0.6 3 真岡市石島＊=2.7 2 下野市田中＊=2.3 真岡市田町＊=2.1 高根沢町石末＊=2.1 真岡市荒町＊=2.0 益子町益子=2.0 市貝町市塙＊=2.0 佐野市葛生東＊=1.9 大田原市湯津上＊=1.8 下野市笹原＊=1.7 鹿沼市晃望台＊=1.7 上三川町しらさぎ＊=1.6 芳賀町祖母井＊=1.6 栃木市旭町=1.6 日光市芹沼＊=1.5 足利市大正町＊=1.5 野木町丸林＊=1.5 那須烏山市中央=1.5 小山市中央町＊=1.5 1 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.4 宇都宮市明保野町=1.4 栃木市大平町富田＊=1.4 栃木市岩舟町静＊=1.4 鹿沼市今宮町＊=1.4 下野市石橋＊=1.4 那須塩原市塩原庁舎＊=1.3 佐野市高砂町＊=1.3 鹿沼市口栗野＊=1.3 壬生町通町＊=1.3 日光市今市本町＊=1.3 栃木市藤岡町藤岡＊=1.2 栃木市万町＊=1.2 茂木町茂木＊=1.2 日光市湯元＊=1.2 佐野市田沼町＊=1.1 日光市日蔭＊=1.1 那須烏山市大金＊=1.1 那須町寺子＊=1.1 日光市瀬川=1.1 茂木町北高岡天矢場＊=1.0 日光市足尾町中才＊=1.0 宇都宮市中里町＊=0.9 那須塩原市あたご町＊=0.9 日光市藤原＊=0.9 佐野市中町＊=0.8 宇都宮市塙田＊=0.8 那須塩原市中塩原＊=0.6 2 玉川村小高＊=1.7 須賀川市八幡山＊=1.5 1 白河市東＊=1.4 鏡石町不時沼＊=1.4 泉崎村泉崎＊=1.3 古殿町松川新桑原＊=1.3 須賀川市八幡町＊=1.3 田村市大越町＊=1.2 田村市滝根町＊=1.2 いわき市錦町＊=1.2 矢吹町一本木＊=1.2 郡山市朝日=1.2 矢祭町東館＊=1.1 いわき市小名浜=1.0 郡山市開成＊=1.0 浅川町浅川＊=1.0 郡山市湖南町＊=1.0 白河市新白河＊=1.0 天栄村下松本＊=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 石川町長久保＊=0.8 白河市郭内=0.7 福島市松木町=0.7 田村市常葉町＊=0.6 浪江町幾世橋=0.6 矢祭町戸塚＊=0.6 福島市桜木町＊=0.6 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.5 いわき市三和町=0.5 南会津町田島=0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘＊=0.5 2 沼田市白沢町＊=2.1 渋川市赤城町＊=2.0 邑楽町中野＊=1.9 太田市西本町＊=1.9 千代田町赤岩＊=1.8 桐生市元宿町＊=1.6 沼田市西倉内町=1.5 大泉町日の出＊=1.5 1 片品村東小川=1.4 前橋市粕川町＊=1.4 桐生市新里町＊=1.4 太田市粕川町＊=1.4 館林市城町＊=1.4 みどり市笠懸町＊=1.4 前橋市堀越町＊=1.3 渋川市吹屋＊=1.3 みどり市大間々町＊=1.3 桐生市織姫町=1.2 桐生市黒保根町＊=1.2 伊勢崎市西久保町＊=1.2 前橋市富士見町＊=1.2 前橋市鼻毛石町＊=1.2 館林市美園町＊=1.1 群馬明和町新里＊=1.1 伊勢崎市東町＊=1.1 太田市浜町＊=1.1 渋川市伊香保町＊=1.0 板倉町板倉=1.0 沼田市下久屋町＊=1.0 安中市安中＊=0.9 吉岡町下野田＊=0.9 沼田市利根町＊=0.9 太田市大原町＊=0.9 伊勢崎市境＊=0.8 伊勢崎市今泉町＊=0.8 群馬昭和村糸井＊=0.7 太田市新田金井町＊=0.7 高崎市高松町＊=0.7 みどり市東町＊=0.7 渋川市北橘町＊=0.7 高崎市吉井町吉井川＊=0.6 富岡市妙義町＊=0.5 安中市松井田町＊=0.5 甘楽町小幡＊=0.5 渋川市有馬＊=0.5 渋川市石原＊=0.5 前橋市大手町＊=0.5 2 春日部市粕壁＊=2.2 春日部市谷原新田＊=2.1 宮代町笠原＊=2.1 春日部市金崎＊=2.0 さいたま緑区中尾＊=2.0 川口市三ツ和＊=1.9 草加市高砂＊=1.9 八潮市中央＊=1.9 吉川市吉川＊=1.9 さいたま南区別所＊=1.9 和光市広沢＊=1.8 三郷市中央＊=1.8 幸手市東＊=1.8 加須市大利根＊=1.8 さいたま中央区下落合＊=1.8 さいたま浦和区高砂=1.8 久喜市下早見=1.8 川口市中青木分室＊=1.8 越谷市越ヶ谷＊=1.8 伊奈町小室＊=1.7 さいたま北区宮原＊=1.7 さいたま大宮区天沼町＊=1.7 加須市騎西＊=1.7 鴻巣市吹上富士見＊=1.7 鴻巣市中央＊=1.6 蓮田市黒浜＊=1.6 久喜市青葉＊=1.6 川島町下八ツ林＊=1.6 川口市青木＊=1.6 さいたま見沼区堀崎＊=1.6 白岡市千駄野＊=1.6 蕨市中央＊=1.6 戸田市上戸田＊=1.6 新座市野火止＊=1.5 桶川市上日出谷＊=1.5 富士見市鶴馬＊=1.5 久喜市菖蒲＊=1.5 松伏町松伏＊=1.5 狭山市入間川＊=1.5 熊谷市大里＊=1.5 熊谷市妻沼＊=1.5 志木市中宗岡＊=1.5 1 行田市南河原＊=1.4 鴻巣市川里＊=1.4 久喜市栗橋＊=1.4 久喜市鷲宮＊=1.4 埼玉美里町木部＊=1.4 上尾市本町＊=1.4 朝霞市本町＊=1.4 さいたま西区指扇＊=1.4 所沢市北有楽町＊=1.3 さいたま大宮区大門＊=1.3 加須市北川辺＊=1.3 さいたま浦和区常盤＊=1.2 行田市本丸＊=1.2 加須市三俣＊=1.2 本庄市児玉町=1.2 吉見町下細谷＊=1.2 東松山市松葉町＊=1.1 羽生市東＊=1.1 北本市本町＊=1.1 埼玉三芳町藤久保＊=1.1 さいたま桜区道場＊=1.1 ふじみ野市福岡＊=1.0 ふじみ野市大井＊=0.9 坂戸市千代田＊=0.9 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.9 毛呂山町中央＊=0.9 熊谷市桜町=0.8 深谷市川本＊=0.8 熊谷市宮町＊=0.8 熊谷市江南＊=0.8 ときがわ町桃木＊=0.8 東松山市市ノ川＊=0.8 越生町越生＊=0.7 川越市旭町=0.7 滑川町福田＊=0.7 日高市南平沢＊=0.6 嵐山町杉山＊=0.6 深谷市仲町＊=0.6 深谷市岡部＊=0.6 所沢市並木＊=0.6 深谷市花園＊=0.6 本庄市本庄＊=0.5 2 東京墨田区東向島＊=2.1 東京荒川区東尾久＊=2.1 町田市本町田＊=2.1 東京千代田区大手町=2.0 東京荒川区荒川＊=2.0 東京板橋区相生町＊=2.0 東京足立区伊興＊=2.0 東京江東区越中島＊=1.9 東京江東区亀戸＊=1.9 東京北区神谷＊=1.9 東京足立区神明南＊=1.9 東京足立区千住中居町＊=1.9 東京葛飾区立石＊=1.9 東京江戸川区中央=1.9 東京北区西ヶ原＊=1.8 東京江戸川区船堀＊=1.8 調布市西つつじヶ丘＊=1.8 東京墨田区横川=1.8 東京江東区森下＊=1.8 東京大田区本羽田＊=1.8 東京渋谷区本町＊=1.8 東京江戸川区鹿骨＊=1.7 東京中央区勝どき＊=1.7 東京新宿区上落合＊=1.7 東京台東区千束＊=1.7 小平市小川町＊=1.7 東京墨田区吾妻橋＊=1.7 東京品川区平塚＊=1.7 東京板橋区高島平＊=1.7 東京葛飾区金町＊=1.6 八王子市堀之内＊=1.6 東京文京区本郷＊=1.6 東京品川区北品川＊=1.6 東京大田区多摩川＊=1.6 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.6 東京世田谷区成城＊=1.6 東京杉並区桃井＊=1.6 東京中野区高井戸＊=1.6 東京中野区中野＊=1.5 東京千代田区麴町＊=1.5 東京練馬区豊玉北＊=1.5 東京江東区青海=1.5 東京江東区東陽＊=1.5 国分寺市戸倉=1.5 東京国際空港=1.5 東京世田谷区世田谷＊=1.5 1 東京千代田区富士見＊=1.4 東京港区海岸=1.4 東京文京区大塚＊=1.4 東京江東区枝川＊=1.4 東京目黒区中央町＊=1.4 東京渋谷区宇田川町＊=1.4 東京中野区江古田＊=1.4 東京豊島区南池袋＊=1.4 東京板橋区板橋＊=1.4 東京練馬区東大泉＊=1.4 東京足立区中央本町＊=1.4 三鷹市野崎＊=1.4 町田市忠生＊=1.4 町田市森野＊=1.4 小金井市本町＊=1.4 日野市神明＊=1.4 東京練馬区光が丘＊=1.3				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震番号	震源時刻 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東村山市本町＊=1.3 国分寺市本多＊=1.3 西東京市中町＊=1.3 東大和市中央＊=1.3 清瀬市中里＊=1.3 東京中央区築地＊=1.3 東京港区白金＊=1.3 東京新宿区百人町＊=1.3 多摩市関戸＊=1.2 東京中央区日本橋兜町＊=1.2 八王子市石川町＊=1.2 東京新宿区西新宿=1.1 狛江市和泉本町＊=1.1 東京品川区広町＊=1.1 東京大田区蒲田＊=1.1 東京大田区大森東＊=1.1 東京世田谷区中町＊=1.1 武蔵野市緑町＊=1.0 武蔵野市吉祥寺東町＊=1.0 調布市小島町＊=1.0 武蔵村山市本町＊=1.0 東京港区芝公園＊=1.0 東京杉並区阿佐谷=0.9 青梅市日向和田＊=0.9 東京府中市朝日町＊=0.9 八王子市大横町=0.8 清瀬市中清戸＊=0.8 伊豆大島町波浮港＊=0.8 昭島市田中町＊=0.7 多摩市鶴牧＊=0.7 立川市泉町＊=0.7 伊豆大島町差木地=0.6 三宅村坪田=0.5 羽村市緑ヶ丘＊=0.5 横浜神奈川区広台太田町＊=2.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=2.1 横浜都筑区池辺町＊=2.1 横浜鶴見区末広町＊=2.0 横浜中区山手町=2.0 横浜港北区日吉本町＊=2.0 横浜瀬谷区中屋敷＊=2.0 横浜青葉区市ケ尾町＊=2.0 愛川町角田＊=2.0 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.9 川崎川崎区宮前町＊=1.9 川崎中原区小杉町＊=1.9 大和市下鶴間＊=1.9 横浜中区山下町＊=1.8 横浜中区山吹町＊=1.8 横浜緑区十日市場町＊=1.8 横浜緑区鴨居＊=1.8 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.8 清川村煤ヶ谷＊=1.8 横浜鶴見区鶴見＊=1.7 横浜西区浜松町＊=1.7 横浜青葉区榎が丘＊=1.7 寒川町宮山＊=1.7 厚木市中町＊=1.7 湯河原町中央=1.7 横浜鶴見区馬場＊=1.6 横浜港南区丸山台東部＊=1.6 川崎川崎区千鳥町＊=1.6 川崎宮前区宮前平＊=1.6 川崎宮前区野川＊=1.6 横須賀市光の丘=1.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.6 三浦市城山町＊=1.6 綾瀬市深谷＊=1.6 相模原緑区橋本＊=1.6 横浜磯子区磯子＊=1.5 横浜旭区今宿東町＊=1.5 横浜旭区上白根町＊=1.5 川崎川崎区中島＊=1.5 藤沢市辻堂東海岸＊=1.5 相模原中央区上溝＊=1.5 相模原南区相模大野＊=1.5 相模原南区磯部＊=1.5 相模原緑区久保沢＊=1.5 1 横浜金沢区白帆＊=1.4 横浜戸塚区戸塚町＊=1.4 横浜旭区大池町＊=1.4 藤沢市長後＊=1.4 座間市相武台＊=1.4 小田原市荻窪＊=1.4 中井町比奈窪＊=1.4 相模原緑区中野＊=1.4 横浜西区みなとみらい＊=1.3 横浜中区日本大通＊=1.3 横浜金沢区釜利谷南＊=1.3 横浜港北区綱島西＊=1.3 横浜栄区小菅ヶ谷＊=1.3 横浜泉区岡津町＊=1.3 川崎幸区戸手本町＊=1.3 藤沢市大庭＊=1.3 藤沢市打戻＊=1.3 海老名市大谷＊=1.3 厚木市下津古久＊=1.3 相模原中央区水郷田名＊=1.3 横浜金沢区寺前＊=1.2 横浜港北区大倉山＊=1.2 横浜戸塚区平戸町＊=1.2 横浜泉区和泉町＊=1.2 秦野市曽屋=1.2 神奈川大井町金子＊=1.2 相模原緑区大島＊=1.2 川崎中原区小杉陣屋町=1.1 平塚市浅間町＊=1.1 藤沢市朝日町＊=1.1 松田町松田惣領＊=1.1 箱根町湯本＊=1.1 横浜保土ヶ谷区神戸町＊=1.1 逗子市桜山＊=1.0 葉山町堀内＊=1.0 山北町山北＊=1.0 横浜栄区桂台南＊=1.0 横浜都筑区茅ヶ崎＊=1.0 川崎高津区下作延＊=1.0 川崎多摩区登戸＊=1.0 川崎麻生区片平＊=1.0 南足柄市関本＊=0.8 川崎麻生区万福寺＊=0.8 鎌倉市御成町＊=0.8 横須賀市坂本町＊=0.7 相模原緑区小淵＊=0.6 秦野市平沢＊=0.6 2 富士河口湖町長浜＊=1.5 1 山梨北杜市長坂町＊=1.4 甲府市飯田=1.3 富士川町鯉沢＊=1.3 笛吹市境川町藤袋＊=1.2 富士河口湖町船津=1.0 上野原市役所＊=0.9 大月市御太刀＊=0.8 甲州市塩山上於曽＊=0.7 甲州市塩山下於曽=0.5 2 東伊豆町奈良本＊=1.5 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.4 伊豆の国市長岡＊=1.4 富士宮市野中＊=1.3 富士市吉永＊=1.1 熱海市網代=1.0 河津町田中＊=1.0 富士宮市弓沢町=1.0 沼津市戸田＊=0.9 函南町平井＊=0.8 伊豆の国市四日町＊=0.8 御殿場市萩原=0.8 東伊豆町稲取＊=0.7 西伊豆町宇久須＊=0.7 静岡清水区蒲原新栄＊=0.5 1 丸森町鳥屋＊=1.1 角田市角田＊=1.0 大河原町新南＊=0.8 岩沼市桜＊=0.7 1 南魚沼市六日町=0.8 1 長野南牧村海ノ口＊=1.4 茅野市葛井公園＊=1.1 佐久市中込＊=0.9 佐久穂町畑＊=0.9 立科町芦田＊=0.6 諏訪市湖岸通り=0.6				
87	17 14 28	奄美大島近海 鹿児島県	27° 31.2' N	128° 49.0' E	14km	M: 2.9 1 伊仙町伊仙＊=0.6
88	17 14 50	有明海 熊本県	32° 46.4' N	130° 36.9' E	10km	M: 2.5 1 熊本西区春日=0.7
89	17 16 34	島根県西部 鳥取県 島根県	35° 11.7' N	132° 33.9' E	13km	M: 3.4 1 鳥取日野町根雨＊=0.5 1 大田市大田町＊=1.4 出雲市多伎町小田＊=1.3 島根美郷町粕淵＊=1.3 大田市温泉津町小浜＊=1.0 大田市仁摩町仁万＊=0.8 雲南市三刀屋町三刀屋＊=0.8 出雲市佐田町反辺＊=0.8 島根美郷町都賀本郷＊=0.8 飯南町頓原＊=0.7 出雲市湖陵町二部＊=0.7 出雲市塩冶有原町＊=0.7 邑南町瑞穂支所＊=0.6 1 安芸高田市向原町長田＊=0.5
90	17 18 34	栃木県北部 栃木県	36° 38.0' N	139° 27.7' E	4km	M: 2.7 2 日光市足尾町中才＊=1.6
91	18 00 10	紀伊水道 徳島県	33° 49.4' N	134° 45.1' E	17km	M: 3.0 1 美波町西の地＊=0.8 牟岐町中村＊=0.7
92	18 02 56	千葉県北東部 千葉県	35° 27.8' N	140° 23.1' E	28km	M: 2.9 2 一宮町一宮=1.7 1 長南町長南＊=1.2 茂原市道表＊=0.9 長生村本郷＊=0.8 市原市姉崎＊=0.8 いすみ市岬町長者＊=0.7 いすみ市国府台＊=0.6 大網白里市大網＊=0.5 長柄町桜谷＊=0.5
93	18 03 42	釧路沖 北海道	42° 43.5' N	145° 28.2' E	47km	M: 5.8 4 根室市厚床＊=3.9

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		3 根室市瑤瑤瑠* = 3.0 根室市牧の内* = 2.9 別海町本別海* = 2.8 釧路町別保* = 2.8 標津町北2条* = 2.8 別海町常盤 = 2.7 浜中町湯沸 = 2.6 根室市落石東* = 2.6 厚岸町尾幌 = 2.6 厚岸町真栄* = 2.5 浜中町霧多布* = 2.5 2 釧路市黒金町* = 2.4 標茶町塘路* = 2.4 更別村更別* = 2.3 十勝池田町西1条* = 2.3 浦幌町桜町* = 2.3 別海町西春別* = 2.3 十勝大樹町生花* = 2.2 標津町薫別* = 2.2 新冠町北星町* = 2.2 釧路市音別町中園* = 2.1 中標津町丸山* = 2.1 弟子屈町弟子屈* = 2.0 白糠町西1条* = 2.0 新得町2条* = 2.0 釧路市阿寒町中央* = 2.0 羅臼町岬町* = 2.0 幕別町忠類錦町* = 2.0 中札内村東2条* = 1.9 鹿追町東町* = 1.9 釧路市幸町 = 1.9 十勝大樹町東本通* = 1.9 根室市弥栄 = 1.9 標津町古多糠 = 1.8 幕別町本町* = 1.8 十勝清水町南4条 = 1.8 中標津町養老牛 = 1.8 清里町羽衣町* = 1.8 鶴居村鶴居東* = 1.7 弟子屈町美里 = 1.6 標茶町川上* = 1.6 新ひだか町静内山手町 = 1.6 安平町早来北進* = 1.6 函館市新浜町* = 1.6 広尾町並木通 = 1.6 羅臼町緑町* = 1.5 帯広市東4条 = 1.5 根室市豊里 = 1.5 1 南富良野町役場* = 1.4 斜里町本町 = 1.4 大空町東藻琴* = 1.4 浦河町潮見 = 1.4 様似町栄町* = 1.4 音更町元町* = 1.4 芽室町東2条* = 1.4 幕別町忠類明和 = 1.4 豊頃町茂岩本町* = 1.4 新ひだか町静内御幸町* = 1.3 足寄町上蝶湾 = 1.3 弟子屈町サワンチサップ* = 1.3 帯広市東6条* = 1.2 本別町北2丁目 = 1.2 本別町向陽町* = 1.2 小清水町小清水* = 1.2 釧路市音別町尺別 = 1.2 羅臼町春日 = 1.2 広尾町白樺通 = 1.1 厚真町鹿沼 = 1.1 浦河町野深 = 1.0 むかわ町穂別* = 1.0 浦河町築地* = 1.0 美幌町東3条 = 1.0 江別市緑町* = 0.9 白老町大町 = 0.9 土幌町土幌* = 0.9 新ひだか町三石旭町* = 0.9 えりも町えりも岬* = 0.9 千歳市支笏湖温泉* = 0.9 日高地方日高町門別* = 0.8 新ひだか町静内御園 = 0.8 斜里町ウトロ香川* = 0.8 えりも町目黒* = 0.8 南富良野町幾寅 = 0.8 新千歳空港 = 0.8 北見市留辺蘂町栄町* = 0.6 苫小牧市末広町 = 0.6 千歳市若草* = 0.6 青森県 1 東通村砂子又沢内* = 0.8 東北町上北南* = 0.7 五戸町古館 = 0.7 青森南部町平* = 0.7 八戸市南郷* = 0.7				
94	18 06 29	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町* = 0.5 1 石巻市桃生町* = 1.0	38° 18.9' N	141° 38.5' E	53km	M: 3.5
95	18 06 36	青森県西方沖 青森県 秋田県 1 深浦町岩崎* = 0.7 深浦町深浦岡町 = 0.5 1 鹿角市花輪* = 0.6	40° 43.8' N	139° 13.6' E	17km	M: 3.9
96	18 10 33	福島県沖 福島県 1 いわき市三和町 = 0.7 いわき市錦町* = 0.7	36° 56.6' N	141° 20.9' E	32km	M: 3.7
97	19 08 50	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 大月市御太刀* = 1.1 大月市大月 = 0.7	35° 31.4' N	138° 59.3' E	19km	M: 2.8
98	19 17 35	北海道北西沖 北海道 1 天塩町川口* = 0.5	44° 59.2' N	141° 36.3' E	23km	M: 2.5
99	20 17 47	茨城県北部 福島県 茨城県 1 矢祭町戸塚* = 0.7 1 日立市助川小学校* = 1.0 常陸太田市大中町* = 1.0 日立市十王町友部* = 0.7	36° 49.3' N	140° 35.0' E	7km	M: 3.4
100	21 16 48	岡山県北部 岡山県 1 真庭市禾津* = 1.1 新見市唐松* = 0.7 真庭市下方* = 0.5	35° 03.0' N	133° 31.4' E	16km	M: 2.9
101	21 21 50	愛媛県中予 広島県 愛媛県 1 大崎上島町中野* = 0.7 1 久万高原町久万* = 1.1 今治市菊間町* = 0.8 大洲市長浜* = 0.5	33° 50.3' N	132° 43.1' E	42km	M: 3.3
102	22 07 31	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校* = 0.7 常陸太田市大中町* = 0.7 北茨城市中郷町* = 0.7	36° 45.1' N	140° 34.2' E	9km	M: 3.3
103	22 11 35	茨城県南部 栃木県 茨城県 2 栃木市旭町 = 1.5 1 下野市笹原* = 1.4 真岡市石島* = 1.3 下野市田中* = 1.1 宇都宮市明保野町 = 0.7 下野市石橋* = 0.6 栃木市万町* = 0.6 野木町丸林* = 0.5 1 小美玉市上玉里* = 1.3 水戸市内原町* = 1.3 石岡市柿岡 = 1.2 笠間市下郷* = 1.2 土浦市藤沢* = 1.2 土浦市小川* = 1.1 笠間市石井* = 1.0 下妻市本城町* = 0.9 城里町小勝* = 0.9 桜川市羽田* = 0.8 土浦市常名 = 0.8 茨城古河市下大野* = 0.8 坂東市山* = 0.8 坂東市役所* = 0.8 筑西市門井* = 0.7 桜川市岩瀬* = 0.7 石岡市若宮* = 0.7 石岡市八郷* = 0.7 笠間市笠間* = 0.7 常陸大宮市北町* = 0.7 笠間市中央* = 0.7 下妻市鬼怒* = 0.6 常総市水海道諏訪町* = 0.6 かすみがうら市上土田* = 0.6 筑西市舟生 = 0.6 常総市新石下* = 0.5 坂東市岩井 = 0.5 つくばみらい市福田* = 0.5 城里町石塚* = 0.5 常陸大宮市山方* = 0.5 取手市寺田* = 0.5 埼玉県 1 久喜市下早見 = 0.9 春日部市粕壁* = 0.5 春日部市金崎* = 0.5 宮代町笠原* = 0.5 千葉県 1 野田市鶴奉* = 0.7 野田市東宝珠花* = 0.7	36° 02.4' N	139° 54.8' E	42km	M: 3.5
104	22 21 55	千葉県北東部 千葉県 2 多古町多古 = 1.7 山武市松尾町富士見台 = 1.6 芝山町小池* = 1.5 1 東金市日吉台* = 1.4 匝瑳市今泉* = 1.4 香取市仁良* = 1.4 横芝光町宮川* = 1.4 横芝光町栗山* = 1.4	35° 44.3' N	140° 37.3' E	51km	M: 3.9

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		旭市ニ＊=1.3 匠瑳市八日市場ハ＊=1.3 旭市南堀之内＊=1.3 山武市蓮沼ニ＊=1.3 旭市高生＊=1.2 九十九里町片貝＊=1.2 一宮町一宮=1.2 山武市殿台＊=1.2 山武市松尾町五反田＊=1.2 東金市東岩崎＊=1.1 香取市役所＊=1.1 旭市萩園＊=1.0 東金市東新宿=0.9 山武市埴谷＊=0.9 成田市松子＊=0.8 東庄町笹川＊=0.7 成田国際空港=0.7 香取市羽根川＊=0.7 香取市佐原諏訪台＊=0.6 香取市佐原平田=0.5 富里市七栄＊=0.5 茨城県 1 神栖市溝口＊=1.1 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 稲敷市結佐＊=0.7 茨城鹿嶋市宮中＊=0.6 潮来市堀之内=0.6 稲敷市須賀津＊=0.5 稲敷市江戸崎甲＊=0.5				
105	23 05 11	青森県津軽北部 青森県 1 八戸市湊町=0.5	41° 13.7' N	140° 22.6' E	148km	M: 4.3
106	23 10 09	茨城県北部 茨城県 1 日立市助川小学校＊=0.5	36° 49.2' N	140° 34.6' E	6km	M: 3.1
107	23 14 04	父島近海 東京都 1 小笠原村母島=0.6 小笠原村父島三日月山=0.5 小笠原村父島西町=0.5	27° 11.2' N	141° 52.0' E	81km	M: 3.9
108	24 01 25	福岡県筑後地方 福岡県 2 みやま市瀬高町＊=2.3 みやま市高田町＊=2.2 大木町八町牟田＊=2.2 久留米市三潁町＊=2.1 柳川市三橋町＊=2.1 筑後市山ノ井＊=2.1 筑前町下高場=2.0 大川市酒見＊=2.0 久留米市城島町＊=1.9 柳川市本町＊=1.8 久留米市津福本町=1.8 福岡空港=1.8 みやま市山川町＊=1.8 筑前町篠隈＊=1.7 大牟田市昭和町＊=1.7 福岡広川町新代＊=1.7 柳川市大和町＊=1.7 大牟田市有明町＊=1.6 1 福岡早良区板屋=1.4 大牟田市笹林=1.4 久留米市小森野町＊=1.4 久留米市北野町＊=1.4 八女市吉田＊=1.4 小郡市小郡＊=1.4 福岡南区塩原＊=1.3 福岡那珂珂川町西隈＊=1.3 福岡城南区神松寺＊=1.2 八女市本町＊=1.1 太宰府市観世音寺＊=1.1 大刀洗町富多＊=1.1 朝倉市堤＊=1.1 筑前町新町＊=1.0 大野城市曙町＊=1.0 福岡西区今宿＊=1.0 宇美町宇美＊=0.9 飯塚市綱分＊=0.9 八女市立花町＊=0.9 小竹町勝野＊=0.9 春日市原町＊=0.9 福岡中央区大濠=0.9 筑紫野市二日市西＊=0.8 糸島市二丈深江＊=0.8 朝倉市菩提寺＊=0.8 八女市黒木町今＊=0.7 飯塚市長尾＊=0.7 嘉麻市上山田＊=0.7 福岡博多区博多駅前＊=0.7 宗像市江口神原＊=0.5 糸島市志摩初=0.5 八女市黒木町北木屋=0.5 糸島市前原東＊=0.5 佐賀県 2 佐賀市川副＊=2.3 白石町福富＊=2.2 江北町山口＊=2.1 武雄市山内＊=2.0 白石町有明＊=2.0 小城市芦刈＊=2.0 佐賀市久保田＊=2.0 白石町福田＊=1.9 佐賀市東与賀＊=1.8 嬉野市下宿乙＊=1.8 上峰町坊所＊=1.8 みやき町三根＊=1.7 唐津市肥前＊=1.7 神埼市千代田＊=1.6 伊万里市立花町＊=1.6 嬉野市塩田＊=1.6 武雄市武雄町武雄＊=1.6 みやき町北茂安＊=1.5 唐津市北波多＊=1.5 1 唐津市相知＊=1.4 有田町本町＊=1.4 佐賀市駅前中央=1.4 佐賀市栄町＊=1.4 佐賀市諸富＊=1.4 吉野ヶ里町三田川＊=1.3 みやき町中原＊=1.3 唐津市竹木場＊=1.2 唐津市巖木町＊=1.2 唐津市七山＊=1.2 太良町多良=1.2 小城市三日月＊=1.2 唐津市西城内=1.2 多久市北多久町＊=1.1 佐賀市富士町＊=1.1 神埼市神埼＊=1.1 唐津市浜玉＊=1.1 鳥栖市宿町＊=1.1 小城市小城＊=1.0 佐賀市三瀬＊=0.9 佐賀鹿島市納富分＊=0.9 基山町宮浦＊=0.9 大町町大町＊=0.9 吉野ヶ里町東脊振＊=0.8 有田町立部＊=0.8 玄海町諸浦＊=0.7 佐賀市大和＊=0.7 長崎県 2 平戸市志々伎町＊=1.8 川棚町中組＊=1.5 1 佐世保市鹿町町＊=1.4 佐世保市干尽町=1.3 雲仙市小浜町雲仙=1.3 平戸市鏡川町＊=1.2 西海市西海町＊=1.2 島原市下折橋町＊=1.2 雲仙市国見町=1.2 島原市有明町＊=1.1 佐世保市八幡町＊=1.1 松浦市志佐町＊=1.1 松浦市福島町＊=1.1 佐々町本田原＊=1.1 平戸市岩の上町=1.0 佐世保市吉井町＊=1.0 佐世保市世知原町＊=1.0 平戸市田平町＊=0.9 松浦市鷹島町＊=0.8 雲仙市瑞穂町＊=0.8 諫早市多良見町＊=0.8 大村市玖島＊=0.8 雲仙市愛野町＊=0.7 雲仙市小浜町北本町＊=0.7 新上五島町立串＊=0.7 東彼杵町蔵本＊=0.6 雲仙市雲仙出張所＊=0.6 諫早市森山町＊=0.6 壱岐市郷ノ浦町＊=0.5 南島原市口之津町＊=0.5 熊本県 2 和水町板橋＊=2.2 荒尾市宮内出目＊=1.8 南関町関町＊=1.7 和水町江田＊=1.5 1 玉名市岱明町＊=1.4 長洲町長洲＊=1.4 山鹿市菊鹿町＊=1.3 菊池市隈府＊=1.3 山鹿市鹿本町＊=1.2 山鹿市鹿央町＊=1.2 山鹿市鹿北町＊=1.2 菊池市旭志＊=1.2 熊本北区植木町＊=1.2 玉名市中尾＊=1.1 山鹿市老人福祉センター＊=1.1 菊池市七城町＊=1.0 玉名市横島町＊=1.0 玉東町木葉＊=0.8 玉名市築地=0.7 大津町引水＊=0.7				
109	24 20 12	沖縄本島北西沖 鹿児島県 1 知名町瀬利寛=0.9 伊仙町伊仙＊=0.7 知名町知名＊=0.6 与論町茶花＊=0.6 沖縄県 1 名護市港＊=0.5	27° 43.0' N	127° 45.9' E	110km	M: 4.6
110	25 00 46	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市泉支所＊=0.8	32° 33.2' N	130° 42.1' E	8km	M: 2.7
111	25 00 54	紀伊水道 和歌山県 2 湯浅町青木＊=1.6 1 日高川町土生＊=1.3 御坊市菌=1.2 和歌山日高町高家＊=0.9 和歌山美浜町和田＊=0.6	33° 50.7' N	134° 58.8' E	10km	M: 3.5
112	25 04 15	沖縄本島近海 沖縄県 1 久米島町謝名堂=0.6	25° 37.6' N	126° 27.6' E	71km	M: 4.5
113	25 16 13	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇土市新小路町=1.6 1 熊本美里町永富＊=0.7 宇城市不知火町＊=0.6	32° 38.6' N	130° 42.2' E	7km	M: 2.5

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
114	25 19 06	沖縄本島近海 沖縄県 3 渡名喜村渡名喜*=2.5 2 座間味村座間味*=1.8 久米島町謝名堂=1.8 久米島町仲泊*=1.6 西原町与那城*=1.5 うるま市石川石崎*=1.5 1 恩納村恩納*=1.3 中城村当間*=1.3 本部町役場*=1.2 名護市港*=1.2 栗国村役場*=1.2 那覇空港=1.2 宜野湾市野嵩*=1.2 沖縄市美里*=1.2 今帰仁村仲宗根*=1.2 豊見城市翁長*=1.2 与那原町上与那原*=1.2 南城市玉城富里*=1.2 南城市佐敷*=1.2 久米島町山城=1.2 渡嘉敷村渡嘉敷*=1.1 うるま市みどり町*=1.1 八重瀬町東風平*=1.1 栗国村浜=1.1 那覇市港町*=1.1 読谷村座喜味=1.1 南風原町兼城*=1.0 糸満市潮崎町*=1.0 南城市知念久手堅*=1.0 北谷町桑江*=0.9 国頭村辺土名*=0.9 南城市大里仲間*=0.8 嘉手納町嘉手納*=0.7 那覇市樋川=0.6 名護市豊原=0.6 宜野座村宜野座*=0.6 北中城村喜舎場*=0.5	26° 27.5' N	127° 14.4' E	61km	M: 4.4
115	25 20 01	熊本県天草・芦北地方 32° 21.0' N 130° 28.4' E 11km M: 2.7 熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町*=0.5	32° 21.0' N	130° 28.4' E	11km	M: 2.7
116	25 21 13	長野県北部 長野県 5強 栄村北信*=5.3 3 栄村小赤沢*=3.3 野沢温泉村豊郷*=3.1 飯山市飯山福寿町*=2.5 木島平村往郷*=2.5 2 中野市豊津*=2.4 長野市豊野町豊野*=1.9 飯綱町芋川*=1.9 長野市戸隠*=1.8 長野市箱清水=1.7 坂城町坂城*=1.7 山ノ内町消防署*=1.7 信濃町柏原東裏*=1.7 飯綱町牟礼*=1.7 長野高山村高井*=1.6 山ノ内町平穏=1.6 長野市信州新町新町*=1.5 1 長野市鬼無里*=1.4 上田市上田古戦場公園=1.4 青木村田沢青木*=1.4 長野市中条*=1.3 須坂市須坂*=1.3 上田市真田町長*=1.3 小川村高府*=1.2 諏訪市湖岸通り=1.1 諏訪市高島*=1.1 小布施町小布施*=1.0 上田市役所*=1.0 茅野市葛井公園*=1.0 千曲市上山田温泉*=0.9 松本市丸の内*=0.9 軽井沢町追分=0.9 軽井沢町長倉*=0.9 上田市上武石*=0.8 御代田町御代田*=0.8 長野市鶴賀緑町*=0.7 千曲市戸倉*=0.7 千曲市杭瀬下*=0.7 生坂村役場*=0.7 安曇野市豊科*=0.7 大町市八坂*=0.6 筑北村坂井=0.6 飯田市高羽町=0.6 大町市大町図書館*=0.5 下諏訪町役場*=0.5 安曇野市穂高支所=0.5 松川町元大島*=0.5 4 十日町市上山*=3.9 津南町下船渡*=3.8 十日町市松代*=3.5 上越市安塚区安塚*=3.5 3 十日町市千歳町*=3.4 十日町市松之山*=3.4 南魚沼市塩沢小学校*=3.3 南魚沼市塩沢庁舎*=3.2 南魚沼市六日町=3.2 上越市三和区井ノ口*=2.9 上越市牧区柳島*=2.8 湯沢町神立*=2.8 長岡市与板町与板*=2.8 刈羽村割町新田*=2.7 十日町市下条*=2.7 十日町市水口沢*=2.7 上越市清里区荒牧*=2.6 上越市蒲川原区釜淵*=2.6 長岡市小国町法坂*=2.6 長岡市山古志竹沢*=2.5 2 上越市大手町=2.4 上越市大島区岡*=2.4 上越市板倉区針*=2.4 長岡市浦*=2.4 上越市吉川区原之町*=2.3 妙高市田町*=2.3 上越市木田*=2.3 長岡市東川口*=2.3 柏崎市高柳町岡野町*=2.3 小千谷市旭町*=2.3 見附市昭和町*=2.3 出雲崎町米田=2.3 上越市頸城区百間町*=2.3 上越市柿崎区柿崎*=2.2 長岡市中之島*=2.2 上越市中郷区藤沢*=2.2 小千谷市城内=2.2 長岡市上岩井*=2.1 長岡市小島谷*=2.1 三条市新堀*=2.0 上越市大潟区土底浜*=2.0 上越市中ノ保=1.9 出雲崎町川西*=1.9 妙高市栄町*=1.9 阿賀野市姥ヶ橋*=1.8 上越市名立区名立大町*=1.8 加茂市幸町*=1.8 長岡市寺泊敦ヶ曾根*=1.7 燕市分水桜町*=1.7 三条市西裏館*=1.7 阿賀町鹿瀬中学校*=1.6 妙高市関川*=1.6 魚沼市下折立=1.6 魚沼市今泉*=1.6 魚沼市堀之内*=1.6 南魚沼市浦佐*=1.6 燕市秋葉町*=1.6 弥彦村矢作*=1.6 燕市吉田西太田*=1.5 長岡市幸町=1.5 柏崎市西山町池浦*=1.5 魚沼市須原*=1.5 糸魚川市大野*=1.5 1 長岡市千手*=1.4 柏崎市中央町*=1.4 田上町原ヶ崎新田*=1.4 魚沼市大沢*=1.4 五泉市太田*=1.4 新潟北区葛塚*=1.4 糸魚川市能生*=1.3 長岡市金町*=1.2 三条市荻堀*=1.2 新発田市乙次*=1.2 新潟江南区泉町*=1.2 新潟南区白根*=1.2 新潟西蒲区役所=1.2 新潟西蒲区巻甲*=1.2 佐渡市千種*=1.2 糸魚川市一の宮=1.2 聖籠町諏訪山*=1.1 阿賀野市岡山町*=1.1 新潟東区下木戸*=1.1 村上市岩船駅前*=1.1 新潟西区寺尾東*=1.0 新潟中央区美咲町=1.0 新潟秋葉区新津東町*=0.9 村上市寒川*=0.9 村上市府屋*=0.9 五泉市村松乙=0.9 関川村下関*=0.9 阿賀野市山崎*=0.9 阿賀野市かみぎやき*=0.9 糸魚川市青海*=0.8 新潟中央区新潟市役所*=0.8 佐渡市両津支所*=0.8 阿賀町豊川*=0.7 阿賀町津川*=0.7 魚沼市穴沢*=0.7 新潟空港=0.7 新発田市中央町*=0.7 新発田市真野原外*=0.7 村上市山口*=0.7 佐渡市両津湊*=0.7 佐渡市真野新町*=0.7 村上市岩沢*=0.6 新発田市住田*=0.6 佐渡市相川三町目=0.5 胎内市黒川*=0.5 五泉市愛宕甲*=0.5 群馬県 3 中之条町入山*=2.8 中之条町日影=2.5 2 草津町草津*=2.3 長野原町長野原*=2.3 沼田市西倉内町=2.0 東吾妻町本宿*=2.0 中之条町中之条町*=1.8 みなかみ町鹿野沢*=1.7 沼田市下久屋町*=1.6 1 沼田市利根町*=1.4 東吾妻町原町=1.4 群馬昭和村糸井*=1.4 桐生市黒保根町*=1.4 渋川市赤城町*=1.4 みなかみ町布施*=1.3 安中市安中*=1.3 片品村東小川=1.3 片品村鎌田*=1.3 沼田市白沢町*=1.2 東吾妻町奥田*=1.2 安中市松井田町*=1.2 嬭恋村大前*=1.1 前橋市粕川町*=1.1 渋川市吹屋*=1.0 群馬高山村中山*=1.0 渋川市伊香保町*=1.0 渋川市村上*=0.9 伊勢崎市西久保町*=0.8 伊勢崎市境*=0.8 みなかみ町後閑*=0.8 高崎市倉渕町*=0.7 前橋市富士見町*=0.6 渋川市北橋町*=0.6 神流町生利*=0.6 群馬明和町新里*=0.6 桐生市元宿町*=0.6 榛東村新井*=0.5 吉岡町下野田*=0.5 甘楽町小幡*=0.5 邑楽町中野*=0.5 川場村谷地*=0.5 前橋市鼻毛石町*=0.5 高崎市足門町*=0.5 富岡市七日市=0.5 福島県 2 会津美里町本郷庁舎*=2.0 只見町黒谷*=1.5 1 郡山市湖南町*=1.4 檜枝岐村上河原*=1.4 猪苗代町千代田*=1.4 下郷町塩生*=1.2 福島金山町川口*=1.2 南会津町界*=1.2 只見町只見*=1.2 西会津町登世島*=1.1 南会津町松戸原*=1.1 猪苗代町城南=1.1 浪江町幾世橋=1.1 三島町宮下*=1.1 白河市新白河*=1.1 南会津町田島=1.1 下郷町高崎*=1.0 会津若松市東栄町*=1.0 会津若松市材木町=0.9 会津若松市北会津町*=0.9 福島昭和村下津川*=0.9 天栄村湯本支所*=0.8 西会津町野沢=0.8 いわき市三和町=0.7 大玉村南小屋=0.7 郡山市朝日=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.5 浅川町浅川*=0.5	36° 56.4' N	138° 35.3' E	6km	M: 5.2

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		南会津町滝原*=0.5 茨城県 2 小美玉市上玉里*=1.6 茨城町小堤*=1.6 土浦市常名=1.5 1 土浦市藤沢*=1.3 笠間市中央*=1.2 小美玉市小川*=1.2 かすみがうら市大和田*=1.2 行方市玉造*=1.2 坂東市役所*=1.1 筑西市舟生=1.1 かすみがうら市上土田*=1.0 五霞町小福田*=1.0 境町旭町*=1.0 坂東市山*=1.0 笠間市石井*=1.0 坂東市岩井=0.9 笠間市下郷*=0.9 石岡市柿岡=0.9 石岡市若宮*=0.9 つくば市天王台*=0.9 桜川市岩瀬*=0.9 水戸市内原町*=0.7 桜川市羽田*=0.7 取手市寺田*=0.7 鉾田市鉾田=0.6 筑西市門井*=0.6 水戸市金町=0.5 石川県 2 珠洲市正院町*=1.5 1 輪島市鳳至町=1.2 能登町宇出津=0.9 志賀町富来領家町=0.7 七尾市本府中町=0.6 宮城県 1 丸森町鳥屋*=0.7 山形県 1 中山町長崎*=1.0 山形小国町小国小坂町*=0.9 酒田市亀ヶ崎=0.8 山形川西町上小松*=0.8 山形小国町岩井沢=0.8 山辺町緑ヶ丘*=0.7 栃木県 1 下野市田中*=1.2 那須塩原市塩原庁舎*=1.1 下野市笹原*=0.9 栃木市岩舟町静*=0.9 佐野市高砂町*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 日光市足尾町中才*=0.5 栃木市旭町=0.5 埼玉県 1 加須市大利根*=1.1 宮代町笠原*=1.1 久喜市下早見=1.0 久喜市栗橋*=0.9 加須市三俣*=0.8 春日部市金崎*=0.8 さいたま大宮区天沼町*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 加須市北川辺*=0.7 久喜市鷲宮*=0.7 千葉県 1 野田市東宝珠花*=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.7				
117	25 21 15	新潟県中越地方 36° 56.1' N 138° 36.0' E 5km M: 3.0 長野県 2 栄村北信*=2.0 新潟県 1 津南町下船渡*=0.9 十日町市上山*=0.7 上越市安塚区安塚*=0.5				
118	25 21 23	新潟県中越地方 36° 56.5' N 138° 36.7' E 3km M: 3.1 長野県 2 栄村北信*=2.4 新潟県 1 津南町下船渡*=1.4 十日町市上山*=1.2 湯沢町神立*=0.8 上越市安塚区安塚*=0.6 十日町市松之山*=0.6 南魚沼市塩沢庁舎*=0.5				
119 (注)	25 21 24 25 21 24	新潟県中越地方 36° 55.4' N 138° 36.3' E 0km M: 3.0 長野県北部 36° 56.4' N 138° 35.3' E 6km M: 3.0 長野県 2 栄村北信*=2.1 1 野沢温泉村豊郷*=1.1 栄村小赤沢*=1.1 新潟県 1 上越市安塚区安塚*=1.0 津南町下船渡*=0.7 十日町市上山*=0.5				
120	25 21 28	新潟県中越地方 36° 56.6' N 138° 36.5' E 5km M: 2.8 長野県 2 栄村北信*=1.7				
121	25 21 58	長野県北部 36° 56.4' N 138° 35.2' E 6km M: 2.2 長野県 1 栄村北信*=0.9				
122 (注)	25 22 00 25 22 00	長野県北部 36° 56.5' N 138° 35.1' E 5km M: 2.2 新潟県中越地方 36° 56.1' N 138° 36.6' E 2km M: 2.2 長野県 1 栄村北信*=1.4				
123	25 22 56	長野県北部 36° 55.9' N 138° 35.7' E 3km M: 2.8 長野県 3 栄村北信*=2.7 1 栄村小赤沢*=0.8 新潟県 1 津南町下船渡*=0.6				
124	26 01 34	長野県北部 36° 38.2' N 137° 54.1' E 10km M: 2.9 長野県 2 小川村高府*=2.2 長野市信州新町新町*=1.5 1 大町市美麻*=1.3 長野市中条*=0.9 大町市役所=0.8				
125	26 02 20	新潟県中越地方 36° 56.7' N 138° 36.2' E 4km M: 2.6 新潟県 1 津南町下船渡*=1.1 長野県 1 栄村北信*=1.1				
126	26 02 37	新潟県中越地方 36° 55.2' N 138° 36.3' E 0km M: 1.8 長野県 1 栄村北信*=0.7				
127	26 02 40	長野県北部 36° 56.7' N 138° 35.8' E 6km M: 2.6 新潟県 1 津南町下船渡*=0.5 長野県 1 栄村北信*=1.1				
128	26 04 30	長野県北部 36° 56.1' N 138° 35.6' E 6km M: 2.4 長野県 1 栄村北信*=0.6				
129	26 05 49	新潟県中越地方 36° 56.5' N 138° 36.8' E 3km M: 2.6 長野県 2 栄村北信*=1.7 新潟県 1 津南町下船渡*=0.5				

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
130	26 07 02	日向灘 宮崎県 3 高鍋町上江※=2.6 2 宮崎美郷町田代※=2.2 川南町川南※=1.9 西都市上の宮※=1.7 門川町本町※=1.6 西都市聖陵町※=1.6 国富町本庄※=1.6 1 延岡市北浦町古江※=1.4 日向市大王谷運動公園=1.4 宮崎市霧島=1.4 宮崎市松橋※=1.4 宮崎市佐土原町下田島※=1.4 小林市真方=1.4 延岡市天神小路=1.3 椎葉村総合運動公園※=1.3 宮崎都農町役場※=1.2 宮崎市高岡町内山※=1.2 延岡市北川町川内名白石※=1.2 宮崎市田野町体育館※=1.1 宮崎市橘通東※=1.1 高千穂町三田井=1.1 延岡市北方町卯※=1.1 新富町上富田=1.1 綾町南俣健康センター※=0.9 綾町役場※=0.9 日向市東郷町山陰※=0.9 小林市中原※=0.9 日向市亀崎=0.8 木城町高城※=0.8 小林市野尻町東麓※=0.8 椎葉村下福良※=0.7 日之影町岩井川※=0.6 延岡市東本小路※=0.6 延岡市北川町総合支所※=0.6 延岡市北方町末=0.5 熊本県 大分県 1 熊本美里町永富※=0.7 1 佐伯市蒲江蒲江浦=1.3	32° 04.9' N	132° 05.3' E	28km	M: 4.2
131	26 12 50	新潟県中越地方 長野県 1 栄村北信※=1.4	36° 57.6' N	138° 36.1' E	7km	M: 2.6
132	26 13 22	東京都23区 東京都 神奈川県 1 東京千代田区大手町=0.7 1 川崎中原区小杉陣屋町=0.5	35° 45.8' N	139° 49.0' E	31km	M: 2.8
133	26 13 22	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市泉支所※=0.9	32° 33.6' N	130° 41.9' E	10km	M: 2.8
134	26 17 20	新潟県中越地方 長野県 1 栄村北信※=1.0	36° 55.5' N	138° 36.8' E	0km	M: 2.0
135	26 20 18	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町※=0.8 一関市千厩町※=0.5 1 女川町女川浜※=0.8 南三陸町歌津※=0.6 気仙沼市笹が陣※=0.5	38° 32.2' N	141° 42.9' E	53km	M: 3.6
136	26 23 01	福島県沖 宮城県 2 女川町女川浜※=2.3 石巻市桃生町※=1.9 涌谷町新町裏=1.9 石巻市大街道南※=1.9 東松島市矢本※=1.8 宮城美里町木間塚※=1.8 角田市角田※=1.8 利府町利府※=1.6 山元町浅生原※=1.5 大崎市田尻※=1.5 石巻市北上町※=1.5 1 栗原市築館※=1.4 塩竈市旭町※=1.4 登米市迫町※=1.3 登米市石越町※=1.3 栗原市志波姫※=1.3 東松島市小野※=1.3 松島町高城=1.3 登米市米山町※=1.3 岩沼市桜※=1.2 宮城川崎町前川※=1.2 丸森町上滝=1.2 石巻市泉町=1.2 石巻市鮎川浜※=1.2 石巻市前谷地※=1.2 登米市中田町=1.2 登米市豊里町※=1.2 大崎市鹿島台※=1.2 名取市増田※=1.2 栗原市若柳※=1.1 丸森町鳥屋※=1.1 七ヶ浜町東宮浜※=1.1 大衡村大衡※=1.1 仙台空港=1.0 大崎市古川三日町=1.0 大崎市松山※=1.0 宮城美里町北浦※=0.9 亘理町下小路※=0.9 栗原市一迫※=0.9 石巻市相野谷※=0.9 登米市東和町※=0.9 石巻市雄勝町※=0.9 栗原市瀬峰※=0.9 多賀城市中央※=0.9 気仙沼市唐桑町※=0.9 栗原市金成※=0.9 栗原市栗駒=0.9 南三陸町志津川=0.9 仙台青葉区作並※=0.8 仙台宮城野区苦竹※=0.8 大郷町粕川※=0.8 蔵王町円田※=0.8 村田町村田※=0.8 柴田町船岡=0.8 色麻町四竈※=0.8 栗原市高清水※=0.8 宮城加美町中新田※=0.8 大崎市三本木※=0.8 仙台青葉区大倉=0.8 白石市亘理町※=0.7 登米市登米町※=0.7 大崎市古川大崎=0.7 気仙沼市笹が陣※=0.7 大河原町新南※=0.7 仙台青葉区落合※=0.7 大和町吉岡※=0.6 登米市津山町※=0.6 富谷市富谷※=0.6 石巻市大瓜=0.6 福島県 2 田村市大越町※=2.2 田村市船引町=2.1 二本松市金色※=2.0 田村市常葉町※=2.0 新地町谷地小屋※=2.0 相馬市中村※=1.9 玉川村小高※=1.9 飯館村伊丹沢※=1.9 南相馬市鹿島区西町※=1.9 二本松市油井※=1.8 田村市都路町※=1.8 田村市滝根町※=1.8 二本松市針道※=1.8 双葉町両竹※=1.8 白河市新白河※=1.7 檜葉町北田※=1.7 郡山市朝日=1.7 郡山市開成※=1.6 大玉村南小屋=1.6 小野町中通※=1.6 小野町小野新町※=1.6 南相馬市原町区高見町※=1.6 福島伊達市霊山町※=1.6 福島広野町下北迫大谷地原※=1.5 浅川町浅川※=1.5 川内村上川内早渡※=1.5 石川町長久保※=1.5 本宮市本宮※=1.5 1 須賀川市岩瀬支所※=1.4 国見町藤田※=1.4 川俣町五百田※=1.4 天栄村下松本※=1.4 泉崎村泉崎※=1.4 古殿町松川新桑原※=1.4 葛尾村落合落合※=1.4 南相馬市鹿島区柗窪=1.4 大玉村玉井※=1.3 平田村永田※=1.3 三春町大町※=1.3 本宮市白岩※=1.3 いわき市三和町=1.3 富岡町本岡※=1.3 川内村下川内=1.3 川内村上川内小山平※=1.3 浪江町幾世橋=1.3 須賀川市八幡町※=1.3 鏡石町不時沼※=1.2 矢吹町一本木※=1.2 棚倉町棚倉中居野=1.2 福島市飯野町※=1.2 郡山市湖南町※=1.2 白河市東※=1.2 白河市大信※=1.2 須賀川市八幡山※=1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 南相馬市小高区※=1.2 福島伊達市保原町※=1.1 福島伊達市月館町※=1.1 福島市松木町=1.1 福島市桜木町※=1.1 桑折町東大隅※=1.1 福島市五老内町※=1.1 福島伊達市梁川町※=1.1 大熊町野上※=1.0 福島伊達市前川原※=1.0 いわき市平四ツ波※=0.9 福島広野町下北迫苗代替※=0.9 猪苗代町千代田※=0.8 白河市郭内=0.8 矢祭町戸塚※=0.7 いわき市錦町※=0.7 矢祭町東館※=0.6 いわき市小名浜=0.5 岩手県 1 一関市千厩町※=1.2 一関市室根町※=1.1 一関市東山町※=1.0 住田町世田米※=1.0 一関市藤沢町※=1.0 一関市大東町=0.9 盛岡市藪川※=0.7 釜石市中妻町※=0.7 一関市花泉町※=0.7 奥州市前沢※=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 山形県 1 戸沢村古口※=0.5 茨城県 1 笠間市石井※=1.1 日立市助川小学校※=0.9 大子町池田※=0.8 水戸市内原町※=0.7 東海村東海※=0.7 常陸大宮市山方※=0.6 城里町小勝※=0.5 石岡市柿岡=0.5 栃木県 1 大田原市湯津上※=1.0 那須町寺子※=0.9 那須烏山市中央=0.6 宇都宮市明保野町=0.5	37° 48.3' N	141° 43.6' E	51km	M: 4.7

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
137	27 01 01	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.6	38° 17.8' N	141° 51.8' E	51km	M: 3.3
138	27 07 45	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=0.5	36° 55.4' N	138° 35.7' E	2km	M: 1.8
139	27 09 37	新潟県中越地方 長野県 2 栄村北信*=1.5	36° 57.7' N	138° 36.1' E	6km	M: 2.5
140	27 12 22	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.2 一関市千厩町*=1.0 住田町世田米*=0.9 釜石市只越町=0.8 大船渡市大船渡町=0.5 一関市室根町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市唐桑町*=0.7 南三陸町志津川=0.7 気仙沼市赤岩=0.6	39° 05.9' N	142° 12.7' E	43km	M: 3.8
141	28 01 17	長野県北部 長野県 1 栄村北信*=0.8	36° 55.5' N	138° 35.9' E	0km	M: 2.0
142	28 06 11	島根県西部 島根県 2 川本町川本*=1.5 1 邑南町下口羽*=1.1 島根美郷町都賀本郷*=1.0 大田市仁摩町仁万*=1.0 邑南町淀原*=0.8 邑南町瑞穂支所*=0.8 島根美郷町粕淵*=0.6 大田市温泉津町小浜*=0.5 雲南市掛合町掛合*=0.5 広島県 1 広島三次市君田町*=0.8 安芸高田市向原町長田*=0.7	34° 59.4' N	132° 33.8' E	13km	M: 3.2
143	28 13 49	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇土市新小路町=1.1 宇城市不知火町*=0.7	32° 38.6' N	130° 42.2' E	7km	M: 2.0
144	28 14 53	山形県置賜地方 山形県 1 飯豊町上原*=0.6	37° 51.5' N	139° 56.0' E	10km	M: 2.2
145	28 15 03	奈良県 三重県 奈良県 1 松阪市魚町*=0.7 1 御杖村菅野*=1.0 桜井市初瀬=0.7 曽爾村今井*=0.7	34° 13.5' N	136° 02.0' E	53km	M: 3.3
146	28 19 46	西表島付近 沖縄県 1 竹富町大原=0.7	24° 15.3' N	123° 46.9' E	16km	M: 2.9
147	28 20 52	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町田浦町*=2.3 芦北町芦北=2.0 球磨村渡*=2.0 八代市平山新町=1.5 1 八代市坂本町*=1.1 水俣市牧ノ内*=1.0 水俣市陣内*=1.0 津奈木町小津奈木*=1.0 あさぎり町須恵*=0.9 上天草市大矢野町=0.7 人吉市西間下町=0.6 人吉市蟹作町*=0.5 長崎県 1 南島原市加津佐町*=0.6 宮崎県 1 西都市上の宮*=0.5	32° 20.3' N	130° 29.7' E	6km	M: 3.4
148	28 22 26	和歌山県北部 和歌山県 2 和歌山市一番丁*=1.5 1 和歌山市男野芝丁=0.8 海南市下津*=0.7	34° 12.9' N	135° 09.4' E	5km	M: 2.8
149	29 00 47	宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.7 一関市室根町*=1.5 1 一関市藤沢町*=1.3 大船渡市猪川町=1.2 一関市大東町=1.1 大船渡市大船渡町=1.1 住田町世田米*=1.1 釜石市中妻町*=1.0 一関市東山町*=0.9 釜石市只越町=0.7 陸前高田市高田町*=0.7 一関市花泉町*=0.7 一関市川崎町*=0.6 奥州市前沢*=0.6 大船渡市盛町*=0.6 北上市柳原町=0.5 宮城県 2 女川町女川浜*=2.1 石巻市北上町*=1.9 石巻市鮎川浜*=1.6 1 南三陸町志津川=1.3 石巻市雄勝町*=1.3 登米市東和町*=1.2 石巻市大街道南*=1.2 石巻市桃生町*=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.2 登米市中田町=1.1 名取市増田*=1.1 石巻市泉町=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.1 涌谷町新町裏=1.1 東松島市矢本*=1.1 東松島市小野*=1.1 気仙沼市赤岩=1.0 登米市迫町*=0.9 岩沼市桜*=0.9 南三陸町歌津*=0.9 登米市津山町*=0.8 大崎市田尻*=0.8 登米市米山町*=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 松島町高城=0.7 登米市登米町*=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.7 石巻市相野谷*=0.6 大崎市古川三日町=0.6 福島県 1 相馬市中村*=0.9 南相馬市鹿島区西町*=0.9 田村市大越町*=0.8 双葉町両竹*=0.8 飯舘村伊丹沢*=0.8 田村市船引町=0.7 檜葉町北田*=0.7 新地町谷地小屋*=0.7 田村市都路町*=0.6 福島伊達市霊山町*=0.6 川俣町五百田*=0.6 田村市常葉町*=0.5 南相馬市原町区高見町*=0.5 浪江町幾世橋=0.5	38° 19.6' N	141° 52.3' E	46km	M: 4.2
150	29 07 11	有明海 熊本県 1 熊本西区春日=1.0 宇城市不知火町*=0.6	32° 43.2' N	130° 36.3' E	14km	M: 2.7
151	29 19 45	福島県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=0.6	36° 52.1' N	141° 19.4' E	32km	M: 3.6

平成30年5月 地震・火山月報 (防災編)

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
152	29 21 01	茨城県沖 茨城県 2 笠間市石井※=1.6 東海村東海※=1.6 1 城里町小勝※=1.3 土浦市常名※=1.2 桜川市羽田※=1.2 城里町石塚※=1.2 桜川市岩瀬※=1.1 小美玉市堅倉※=1.1 ひたちなか市南神敷台※=1.1 石岡市柿岡※=1.1 筑西市門井※=1.0 小美玉市小川※=0.9 鉾田市汲上※=0.9 笠間市笠間※=0.9 日立市助川小学校※=0.9 石岡市若宮※=0.8 水戸市内原町※=0.8 かすみがうら市上土田※=0.8 水戸市千波町※=0.8 大子町池田※=0.7 稲敷市江戸崎甲※=0.7 常陸大宮市北町※=0.7 行方市玉造※=0.6 石岡市八郷※=0.6 鉾田市造谷※=0.6 茨城鹿嶋市鉢形※=0.6 小美玉市上玉里※=0.6 笠間市下郷※=0.6 水戸市金町※=0.6 かすみがうら市大和田※=0.5 常陸大宮市山方※=0.5 大洗町磯浜町※=0.5 桜川市真壁※=0.5 福島県 1 浅川町浅川※=0.6 栃木県 1 真岡市石島※=1.3 宇都宮市明保野町※=1.2 真岡市田町※=0.7 益子町益子※=0.6 茂木町茂木※=0.6	36° 24.4' N	140° 40.0' E	76km	M: 3.7
153	30 06 10	徳島県南部 徳島県 2 那賀町和食※=2.2 那賀町横石※=2.1 那賀町延野※=2.0 美波町西の地※=1.8 神山町神領※=1.7 勝浦町久国※=1.7 美馬市木屋平※=1.5 阿南市富岡町※=1.5 阿南市那賀川町※=1.5 吉野川市川島町※=1.5 1 徳島市津田町※=1.4 石井町高川原※=1.4 上勝町旭※=1.4 吉野川市鴨島町※=1.3 吉野川市美郷※=1.2 阿南市山口町※=1.1 徳島市大和町※=0.9 阿南市羽ノ浦町※=0.9 牟岐町中村※=0.8 小松島市横須町※=0.8 佐那河内村下※=0.8 那賀町木頭和無田※=0.7 那賀町木沢※=0.7 美波町奥河内※=0.7 海陽町穴喰浦※=0.6 つるぎ町貞光※=0.6 阿波市吉野町※=0.6 吉野川市山川町※=0.6 海陽町大里※=0.6 鳴門市鳴門町※=0.5 兵庫県 1 南あわじ市福良※=0.5 香川県 1 さぬき市寒川町※=0.8 高知県 1 東洋町生見※=1.0 馬路村馬路※=0.9 安田町安田※=0.7	33° 54.1' N	134° 28.3' E	11km	M: 3.8
154	30 13 21	岩手県内陸南部 岩手県 2 奥州市衣川※=1.7 1 奥州市胆沢※=1.1 奥州市前沢※=0.7 金ヶ崎町西根※=0.6 北上市相去町※=0.5	39° 04.1' N	140° 57.7' E	9km	M: 3.2
155	30 17 34	福島県中通り 福島県 1 白河市郭内※=1.0	36° 52.9' N	140° 34.3' E	6km	M: 3.1
156	30 21 27	十勝地方北部 北海道 3 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=2.6	43° 26.9' N	144° 00.3' E	0km	M: 2.9
157	30 21 48	岩手県沖 岩手県 1 山田町大沢※=0.5	39° 19.7' N	142° 30.4' E	52km	M: 3.6
158	30 23 27	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏※=0.8	40° 09.6' N	141° 58.4' E	18km	M: 3.0
159	31 06 15	釧路沖 北海道 2 十勝大樹町生花※=1.6 別海町西春別※=1.5 1 標茶町塘路※=1.4 別海町常盤※=1.4 標津町北2条※=1.3 釧路市阿寒町中央※=1.2 本別町向陽町※=1.2 中標津町養老牛※=1.2 弟子屈町弟子屈※=1.2 釧路市黒金町※=1.2 足寄町南1条※=1.1 標茶町川上※=1.0 釧路市音別町尺別※=1.0 鶴居村鶴居東※=1.0 白糠町西1条※=0.9 足寄町上螺湾※=0.9 釧路市音別町中園※=0.9 厚岸町尾幌※=0.9 えりも町目黒※=0.8 本別町北2丁目※=0.8 釧路市幸町※=0.7 幕別町忠類錦町※=0.6 広尾町並木通※=0.6 釧路町別保※=0.5 陸別町陸別※=0.5 弟子屈町美里※=0.5	42° 45.5' N	144° 13.3' E	53km	M: 4.1
160	31 16 20	十勝地方北部 北海道 1 釧路市阿寒町阿寒湖温泉※=1.4	43° 27.2' N	144° 00.0' E	0km	M: 2.0
161	31 23 42	岐阜県飛騨地方 岐阜県 1 高山市高根町※=0.6	36° 03.5' N	137° 33.8' E	9km	M: 2.4

●付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成29年(2017年)6月～平成30年(2018年)5月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成29年(2017年)											
6月	153	42	18	3		2				218	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:10回) 伊豆大島近海の地震活動 (震度1以上合計:11回) 20日 豊後水道(震度5強) 25日 長野県南部(震度5強) 地震活動(震度4:2回、震度3:6回、 震度2:13回、震度1:46回)
7月	115	48	9	2	2	1				177	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度5弱:1回、震度1以上合計:17回) 長野県南部の地震活動 (震度1以上合計:10回) 1日 胆振地方中東部(震度5弱) 11日 鹿児島湾(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度3:2回、震度1: 18回)
8月	136	56	15	3						210	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:19回) 鹿児島湾の地震活動 (震度1以上合計:21回) 茨城県北部の地震活動 (震度1以上合計:13回)
9月	118	52	13	4		1				188	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:20回) 8日 秋田県内陸南部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度4:1回、震度3: 2回、震度2:12回、震度1:33回)
10月	92	41	9		1					143	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:22回) 6日 福島県沖(震度5弱) 福島県中通りから茨城県北部にかけての地震活動 (震度1以上合計:13回)
11月	95	34	11	4						144	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:15回) 鹿児島湾の地震活動 (震度1以上合計:10回)
12月	96	34	9	3						142	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:14回)
平成30年(2018年)											
1月	80	37	11	3						131	
2月	72	24	8	3						107	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度1以上合計:11回)
3月	108	46	12	2	1					169	1日 西表島付近(震度5弱) 地震活動(震度5弱:1回、震度3:3回、震度2: 8回、震度1:29回)
4月	111	48	14	6	1	1				181	9日 島根県西部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度4:4、震度3:4 回、震度2:14回、震度1:24回) 14日 根室半島南東沖(震度5弱) トカラ列島近海の地震活動 (震度1以上合計:19回)
5月	100	42	12	5	1	1				161	「平成28年(2016年)熊本地震」の地震活動 (震度4:1回、震度2:3回、震度1:10回) 12日 長野県北部(震度5弱) 地震活動(震度5弱:1回、震度3:3回、震度2: 2回、震度1:5回) 25日 長野県北部(震度5強) 地震活動(震度5強:1回、震度3:1回、震度2: 6回、震度1:10回)
平成30年計	471	197	57	19	3	2	0	0	0	749	
過去1年計	1276	504	141	38	6	6	0	0	0	1971	(平成29年6月～平成30年5月)

注)「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 <平成29年 (2017年) 6月～平成30年 (2018年) 5月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成29年 (2017年)								
6月	336	64	10			410	74	
7月	383	65	12	1		461	78	13日 日本海西部 (M6.3)
8月	371	54	8			433	62	
9月	388	63	13	3		467	79	8日 小笠原諸島西方沖 (M6.1) 21日 三陸沖 (M6.3) 27日 岩手県沖 (M6.1)
10月	415	76	7	1		499	84	6日 福島県沖 (M6.3)
11月	395	72	10	2		479	84	13日 三陸沖 (M6.0) 16日 八丈島東方沖 (M6.0)
12月	354	79	10	1		444	90	21日 鳥島近海 (M6.0)
平成30年 (2018年)								
1月	385	80	9	1		475	90	24日 青森県東方沖 (M6.3)
2月	436	85	18	4		543	107	4日 台湾付近 (M6.5) 7日 台湾付近 (M6.7) 7日 台湾付近 (M6.1) 8日 台湾付近 (M6.2)
3月	344	63	11			418	74	
4月	349	72	11	1		433	84	9日 島根県西部 (M6.1)
5月	337	56	11			404	67	
平成30年計	1851	356	60	6	0	2273	422	
過去1年計	4493	829	130	14	0	5466	973	(平成29年6月～平成30年5月)

注) 日本及びその周辺: 原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

●付録4. 緊急地震速報の提供状況

平成30年5月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は52回であった。

平成30年5月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間 (秒)
平成30年05月12日10時29分	長野県北部	5.2	5弱	5弱	5.4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

震度5弱以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大震度	予想最大震度
平成30年05月25日21時13分	長野県北部	5.2	5強	4

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予想震度の最大値を示す。

平成19年10月～平成30年5月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年(2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年(2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年(2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年(2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年(2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年(2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年(2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年(2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年(2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年(2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年(2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年(2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)								6(333)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、()内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 平成30年5月12日10時29分 長野県北部の地震

発生した地震の概要（暫定値）

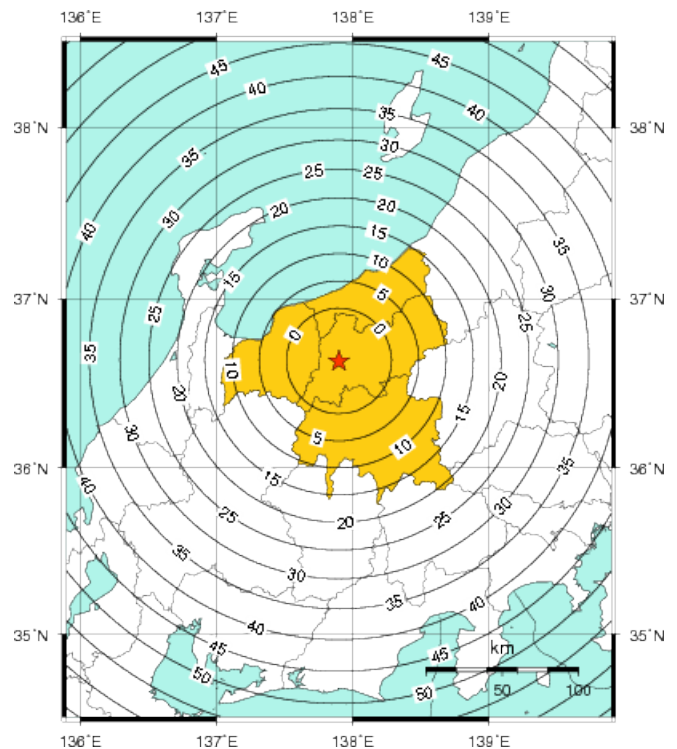
地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成30年05月12日 10時29分30.0秒	長野県北部	36° 37.9′	137° 54.0′	11km	5.2	5弱

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	10時29分35.4秒	2.3	長野県北部	36.6	137.9	10km	4.1	最大震度3程度以上
第2報	10時29分38.5秒	3.1	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第3報	10時29分40.8秒	5.4	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.6	※2
第4報	10時29分41.1秒	5.7	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.3	※3
第5報	10時29分41.6秒	6.2	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.4	※4
第6報	10時29分45.3秒	9.9	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第7報	10時29分45.6秒	10.2	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第8報	10時29分52.4秒	17.0	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第9報	10時29分53.3秒	17.9	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第10報	10時29分57.6秒	22.2	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.0	※3
第11報	10時30分05.7秒	30.3	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第12報	10時30分25.3秒	49.9	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1
第13報	10時30分28.2秒	52.8	長野県北部	36.6	137.9	10km	5.1	※1

- ※1 震度4程度 長野県北部
震度3から4程度 長野県中部
- ※2 震度4から5弱程度 長野県北部
震度4程度 長野県中部
震度3から4程度 新潟県上越、富山県東部
- ※3 震度4程度 長野県北部、長野県中部
- ※4 震度4から5弱程度 長野県北部
震度4程度 長野県中部

警報第1報発表から主要動到達までの
時間及び警報発表対象地域の分布図



★ : 震源

■ : 緊急地震速報(警報)を発表した地域

●付録5. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

平成30年5月に、長周期地震動階級※1以上を観測した地震の回数は1回であった。

平成25年3月～平成30年5月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
(平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報(試行)※※の提供開始以降)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1								4

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物に掴まりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成29年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
 ※※ 長周期地震動に関する観測情報(試行)に関する詳細は、地震・火山月報(防災編)平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報(試行)について」を参照。

1. 平成 30 年 5 月 12 日 10 時 29 分 長野県北部の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2018 年 5 月 12 日 10 時 29 分 長野県北部 北緯 36 度 37.9 分 東経 137 度 54.0 分 深さ 11km M5.2			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
長野県	長野県北部	長野市箱清水	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4